

西東京市
次世代育成支援行動計画
二一ズ調査報告書

平成21年3月

西 東 京 市

目 次

第1章	調査の概要	1
	調査の目的	3
	調査内容	3
	回収結果	3
	調査項目	4
	調査結果の見方	4
	居住地区の5ブロックによる分類	5
第2章	就学前児童調査集計結果	7
1	調査対象者の属性と家族の状況	9
2	保護者の就労状況について	13
3	保育サービスの利用について	17
4	病児・病後児保育について	26
5	一時預かりについて	29
6	宿泊を伴う一時預かりについて	30
7	学童クラブの利用意向	32
8	ベビーシッターの利用について	33
9	ファミリーサポートセンターの利用について	34
10	地域子育て支援センターについて	36
11	育児休業制度について	40
12	子育てについての不安感や負担感	42
13	保育サービスの利便性について	44
14	子育ての相談について	45
15	妊娠・出産・子育ての感想	46
第3章	小学校児童調査集計結果	49
1	調査対象者の属性と家族の状況	51
2	保護者の就労状況について	55
3	学童クラブの利用について	58
4	病児・病後児保育について	62
5	一時預かりについて	65
6	宿泊を伴う一時預かりについて	65
7	ベビーシッターの利用について	67
8	ファミリーサポートセンターの利用について	68
9	児童館・児童センターについて	69
10	子育てについての不安感や負担感	72
11	保育サービスの利便性について	74
12	子育ての相談について	74
13	妊娠・出産・子育ての感想	76

第4章	意識調査（25～29歳）結果.....	79
1	生活のこと	81
2	結婚のこと	84
3	子育てのことについて	86
4	少子高齢化について	94
5	仕事や生活のこと	97
6	あなた自身のこと	100
第5章	自由意見.....	103
	就学前児童調査	105
	小学生児童調査	107
	意識調査（25～29歳）	109
資料編	111
	用語解説	113
	アンケート票	115

第 1 章 調査の概要

調査の目的

本調査は、市民が安心して子どもを生み育てることができ、子どもたちが希望を持って健やかに育つことができる環境の形成に向けた平成 22～26 年度の「西東京市次世代育成支援行動計画（後期計画）」策定の資料とするために、地域における子育ての実態や保護者の意向、若者の意識、今後の施策づくりに対するニーズなどを把握することを目的として実施した。

また、定量的目標設定の資料としても活用する。

調査内容

(1) 調査地域 西東京市全域

(2) 調査対象

本調査においては、対象者別に次の3種類のアンケート調査を実施した。

調査の種類	対象者	実施方法
就学前児童調査	市内在住の就学前児童（0～5歳）のいる保護者を対象に、住民基本台帳より無作為抽出（1,500人）	郵送により配布・回収
小学生調査	市内在住の小学生（1～6年生）のいる保護者を対象に、住民基本台帳より無作為抽出（1,500人）	郵送により配布・回収
意識調査	市内在住の市民（25～29歳）を対象に、住民基本台帳より無作為抽出（1,000人）	郵送により配布・回収

(3) 調査期間 平成 21 年 1 月 16 日（金）～ 1 月 26 日（月）

回収結果

調査票の配布・回収状況は次のとおりである。

調査の種類	配布数	回収数		回収率	有効回収率
		有効票	無効票		
就学前児童調査	1,500	715	8	48.2%	47.7%
小学生調査	1,500	656	3	43.9%	43.7%
意識調査	1,000	274	8	28.2%	27.4%
計	4,000	1,645	19	41.6%	41.1%

調査項目

主な調査項目は次のとおりである。

主な調査項目	調査の種類		
	就学前児童	小学生	意識調査
調査対象者の属性と家族の状況			
保護者の就労状況について			
保育サービス利用について			
学童クラブの利用について			
病児・病後児保育について			
一時預かりについて			
ベビーシッターについて			
ファミリーサポートセンターについて			
地域子育て支援センターについて			
育児休業などの状況			
児童館・児童センターについて			
子育てに関する不安感や負担感について			
保育サービスの利便性について			
相談状況について			
妊娠・出産・子育ての感想について			
日常生活について			
結婚・子育てについて			
少子化社会について			
仕事や生活について			
意見や要望などの自由回答			

調査結果の見方

(1) 本報告書の構成

第1章では、“調査結果の概要”を掲載している。

第2章～第4章では、“調査集計結果”として、設問順に集計結果を掲載している。

第5章では、主な自由意見を分類別に掲載している。

資料編では、用語説明とアンケート票を掲載している。

(2) 報告書の見方

各設問のカテゴリー（選択肢）等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合がある。

第2～4章では、各設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けている。

第2～4章では、タイトルの横には、次の2つのデータを並べている。

- ・当該設問の回答対象者（限定設問である場合のみ）[例：問2「1」]

- ・単数回答（SA）、複数回答（MA）、数量回答（NA）、自由記述（FA）の別。
- 第2～4章では、各設問ごとにその集計結果のコメントを付けている。
- 集計結果のグラフ・表における“不明”とは、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示している。
- 「非該当」は、限定設問において回答対象者でない者の数である。
- 数表やグラフにおいては、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しているが、単数回答設問であっても、四捨五入の関係等により必ずしも合計と内訳は一致しない。

居住地区の5ブロックによる分類

居住地区は、アンケートでは現在22地区による分類をしているが、定量的目標設定の基礎資料とするため、ニーズ量に関する設問については、5ブロックに統合して検討をおこなっている。

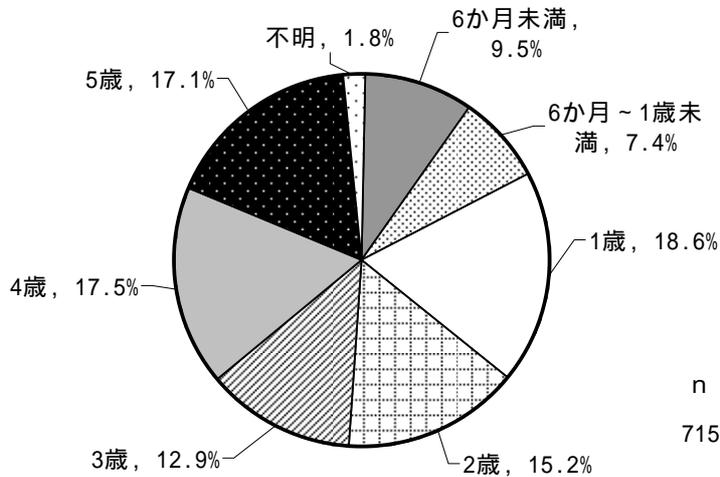
ブロック	町名
Aブロック	北町、下保谷、東町、栄町、泉町
Bブロック	中町、富士町、保谷町
Cブロック	東伏見、柳沢、新町、向台町、南町
Dブロック	ひばりが丘北、ひばりが丘、住吉町、谷戸町、緑町、北原町
Eブロック	田無町、芝久保町、西原町

第 2 章 就学前兒童調查集計結果

1 調査対象者の属性と家族の状況

問1 年齢

【SA】



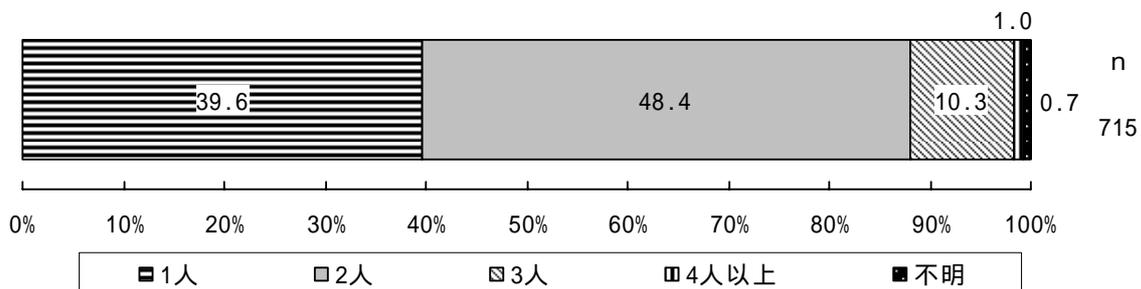
No.	カテゴリー名	n	%
1	6か月未満	68	9.5
2	6か月～1歳未満	53	7.4
3	1歳	133	18.6
4	2歳	109	15.2
5	3歳	92	12.9
6	4歳	125	17.5
7	5歳	122	17.1
	不明	13	1.8
	全体	715	100.0

n
715

問2 子どもの人数

【SA】

子どもの数は「2人」が48.4%で最も多く、次いで、「1人」39.6%、「3人」10.3%、「4人以上」1.0%の順となっている。



n
715

未子の年齢は、「0～3歳未満」が42.5%、「3～6歳未満」が29.4%である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	0～3歳未満	217	42.5
2	3～6歳未満	150	29.4
	不明	144	28.2
	全体	511	100.0

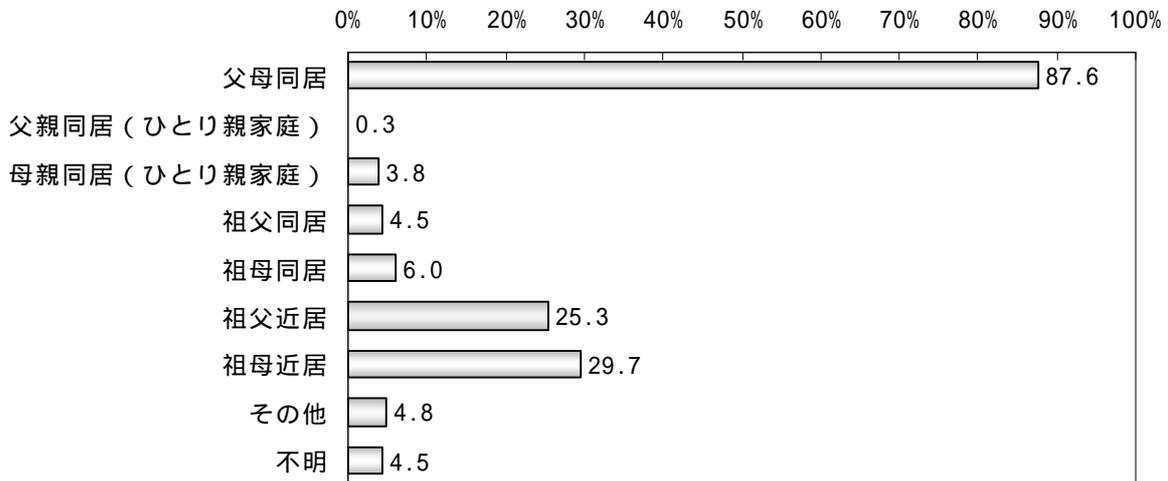
問3 同居・近居の家族の状況

【MA】

同居者は「父母同居」が87.6%で最も多く、次いで「祖母近居」29.7%、「祖父近居」25.3%の順となっている。

ひとり親家庭は、「父親同居（ひとり親家庭）」0.3%、「母親同居（ひとり親家庭）」3.8%で合わせると4.1%となっている。

n=715

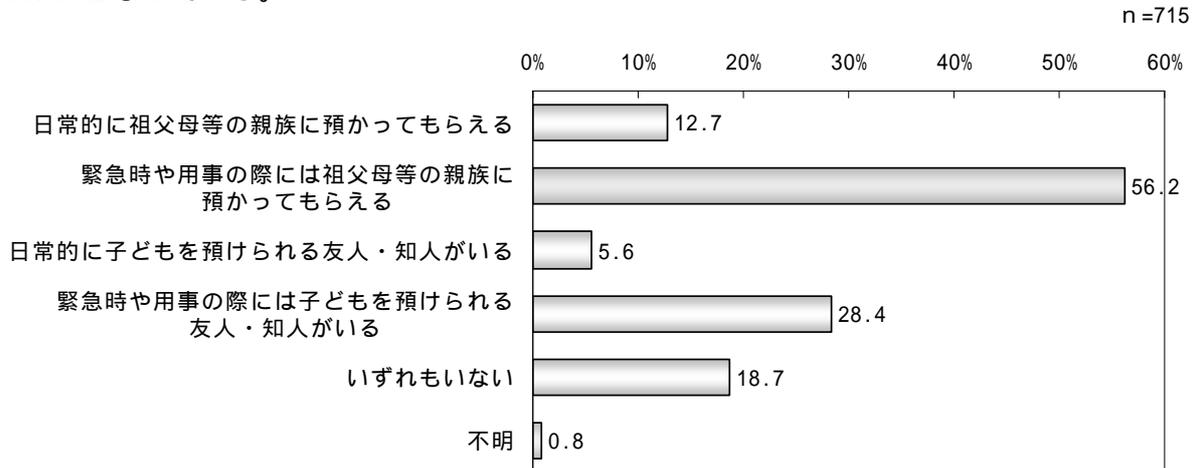


	全体	問1 生年月								
		6か月未満	6か月～1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	不明	
合計	715	68	53	133	109	92	125	122	13	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問3 家族の状況	父母同居	626	62	46	119	98	79	106	110	6
		87.6	91.2	86.8	89.5	89.9	85.9	84.8	90.2	46.2
	父親同居（ひとり親家庭）	2	0	0	0	1	0	1	0	0
		0.3	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.8	0.0	0.0
	母親同居（ひとり親家庭）	27	1	2	5	4	4	9	1	1
		3.8	1.5	3.8	3.8	3.7	4.3	7.2	0.8	7.7
	祖父同居	32	1	1	8	4	7	5	6	0
		4.5	1.5	1.9	6.0	3.7	7.6	4.0	4.9	0.0
	祖母同居	43	4	2	9	5	6	8	9	0
		6.0	5.9	3.8	6.8	4.6	6.5	6.4	7.4	0.0
祖父近居	181	21	18	34	29	20	32	25	2	
	25.3	30.9	34.0	25.6	26.6	21.7	25.6	20.5	15.4	
祖母近居	212	24	20	41	36	23	34	32	2	
	29.7	35.3	37.7	30.8	33.0	25.0	27.2	26.2	15.4	
その他	34	2	3	8	5	3	6	6	1	
	4.8	2.9	5.7	6.0	4.6	3.3	4.8	4.9	7.7	
不明	32	2	5	4	1	6	3	6	5	
	4.5	2.9	9.4	3.0	0.9	6.5	2.4	4.9	38.5	

問4 子どもを預かってもらえる人の状況

【MA】

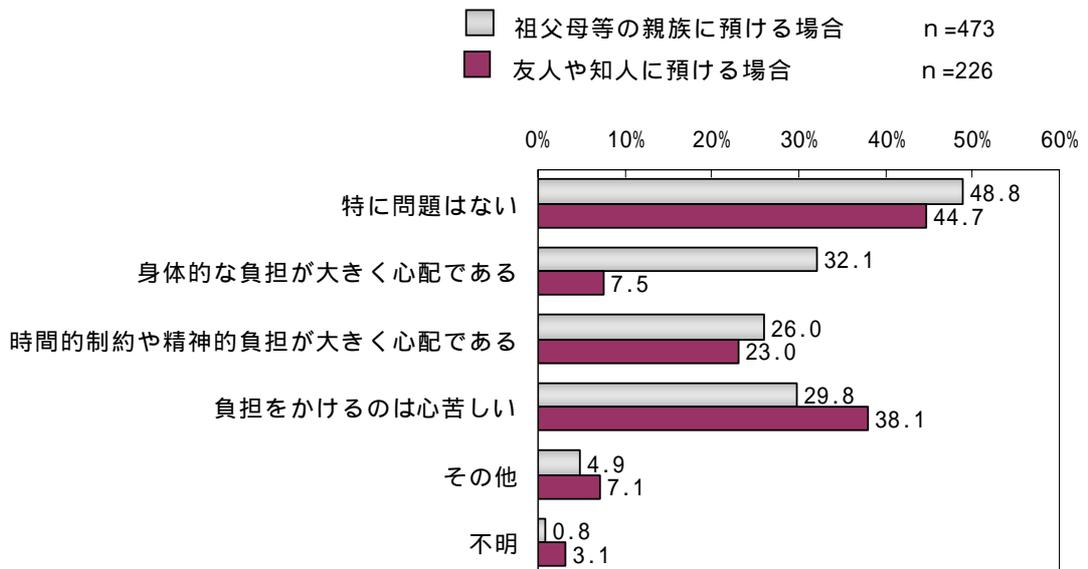
子どもを預かってもらえる人の状況については、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が56.2%と最も多く、次いで「緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」28.4%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」12.7%、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」5.6%の順で、預かってもらえるあてがない方は18.7%となっている。



問4-1,2 預ける場合の困難度

問4「1」「2」 SA

預ける場合の困難度については、「祖父母等の親族」、「友人・知人」とともに「特に問題はない」が4割以上と最も多いが、「友人・知人」に対しては「負担をかけるのは心苦しい」が第2位の38.1%を占める。



問5 主に子どもの世話をする人 SA

子どもの世話をする人は「主に母親」が94.1%で圧倒的に多く、「主に父親」や「主に祖父母」は1%以下に過ぎない。

No.	カテゴリー名	n	%
1	主に父親	7	1.0
2	主に母親	673	94.1
3	主に祖父母	3	0.4
4	その他	4	0.6
	不明	28	3.9
	全体	715	100.0

問6 居住地区 SA

居住地区は、「谷戸町」が12.7%で最も多く、次いで、「芝久保町」11.7%、「南町」6.2%の順である。

なお、5ブロック別にみると、Dブロックが189人(26.4%)で最も多く、Bブロックが97人(13.6%)で最も少ない。

各ブロックの年齢別児童の割合は、「1歳未満」がAブロックで最も多く、Cブロックで最も少ない。

No.	カテゴリー名	n	%
1	田無町	31	4.3
2	南町	44	6.2
3	西原町	22	3.1
4	緑町	18	2.5
5	谷戸町	91	12.7
6	北原町	17	2.4
7	向台町	32	4.5
8	芝久保町	84	11.7
9	新町	24	3.4
10	柳沢	25	3.5
11	東伏見	19	2.7
12	保谷町	40	5.6
13	富士町	40	5.6
14	中町	17	2.4
15	東町	32	4.5
16	泉町	28	3.9
17	住吉町	18	2.5
18	ひばりが丘	30	4.2
19	ひばりが丘北	15	2.1
20	栄町	22	3.1
21	北町	18	2.5
22	下保谷	23	3.2
	不明	25	3.5
	全体	715	100.0

No.	カテゴリー名	n	%
1	Aブロック	123	17.2
2	Bブロック	97	13.6
3	Cブロック	144	20.1
4	Dブロック	189	26.4
5	Eブロック	137	19.2
	不明	25	3.5
	全体	715	100.0

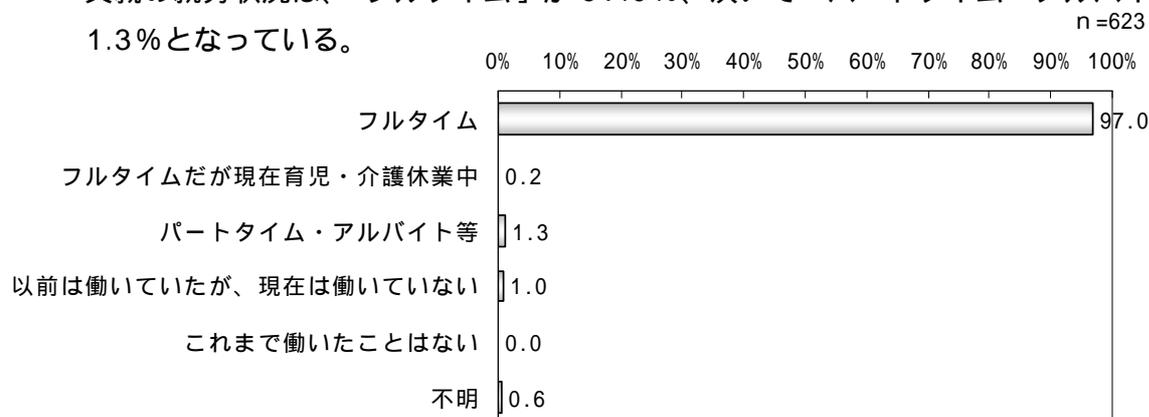
		問6 居住地区(統合)						
		全体	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明
合計		715	123	97	144	189	137	25
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年齢	0～6ヶ月未満	68	15	12	12	17	11	1
		9.5	12.2	12.4	8.3	9.0	8.0	4.0
	6ヶ月～1歳未満	53	10	6	8	15	13	1
		7.4	8.1	6.2	5.6	7.9	9.5	4.0
	1歳	134	18	20	26	41	21	8
		18.7	14.6	20.6	18.1	21.7	15.3	32.0
	2歳	109	13	13	24	30	27	2
		15.2	10.6	13.4	16.7	15.9	19.7	8.0
	3歳	92	18	14	27	20	11	2
	12.9	14.6	14.4	18.8	10.6	8.0	8.0	
4歳	125	24	13	21	31	34	2	
	17.5	19.5	13.4	14.6	16.4	24.8	8.0	
5歳	122	23	19	24	34	19	3	
	17.1	18.7	19.6	16.7	18.0	13.9	12.0	
不明	12	2	0	2	1	1	6	
	1.7	1.6	0.0	1.4	0.5	0.7	24.0	

2 保護者の就労状況について

問7 現在の就労状況

(1) 父親の就労状況

父親の就労状況は、「フルタイム」が97.0%、次いで「パートタイム・アルバイト等」1.3%となっている。



“フルタイム”の父親の週あたりの就労時間は、「60時間以上」が28.7%、次いで「49～60時間未満」26.6%で、平均では52.0時間となっている。また、帰宅時間は、「20～22時」が28.2%と最も多く、次いで「22～24時」25.2%、「18～20時」12.1%の順である。

父親の就労時間 / 週

No.	カテゴリー名	n	%
1	30時間未満	30	4.8
2	30～43時間未満	93	14.8
3	43～49時間未満	73	11.6
4	49～60時間未満	167	26.6
5	60時間以上	180	28.7
	不明	85	13.5
	非該当	87	
	全体	628	100.0

父親の帰宅時間

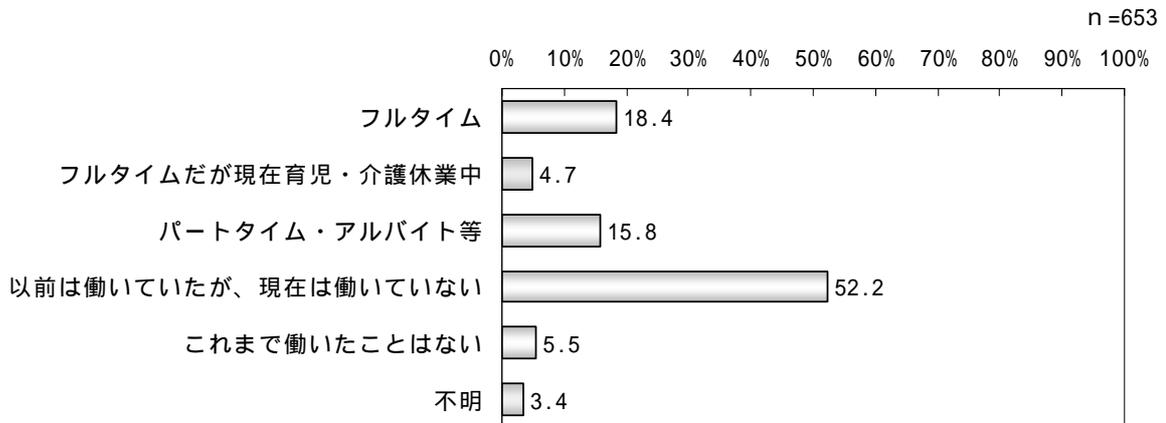
No.	カテゴリー名	n	%
1	8～16時	71	11.3
2	16～18時	2	0.3
3	18～20時	76	12.1
4	20～22時	177	28.2
5	22～24時	158	25.2
6	0～8時	50	8.0
	不明	94	15.0
	非該当	87	
	全体	628	100.0

“パートタイム・アルバイト等”の父親の週あたりの就労日数は、「5日」が50.0%と最も多く、平均5.0日、また、1日当たりの就労時間は、「8時間以上」が37.5%で最も多く、平均6.7時間である。

“パートタイム・アルバイト等”の父親のフルタイムへの転換希望は、対象となる8人中、「希望がある」が3人、「希望はない」が2人、「不明」が3人である。

(2) 母親の就労状況 (SA)

母親の就労状況は、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が52.2%で過半数を占めて最も多く、次いで「フルタイム」18.4%となっている。



“フルタイム”の母親の週あたりの就労時間は、「30～43時間未満」が58.3%、次いで「43～49時間未満」17.5%で、平均では39.4時間となっている。また、帰宅時間は、「18～20時」が71.7%と最も多く、次いで「16～18時」が8.3%の順である。

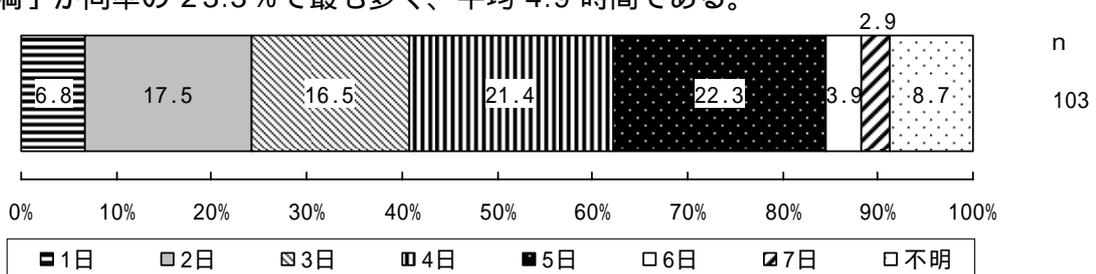
母親の就労時間 / 週

No.	カテゴリー名	n	%
1	30時間未満	10	8.3
2	30～43時間未満	70	58.3
3	43～49時間未満	21	17.5
4	49～60時間未満	9	7.5
5	60時間以上	4	3.3
	不明	6	5.0
	非該当	595	
	全体	120	100.0

母親の帰宅時間

No.	カテゴリー名	n	%
1	8～16時	0	0.0
2	16～18時	10	8.3
3	18～20時	86	71.7
4	20～22時	9	7.5
5	22～24時	0	0.0
6	0～8時	9	7.5
	不明	6	5.0
	非該当	595	
	全体	120	100.0

“パートタイム・アルバイト等”の母親の週あたりの就労日数は、「5日」が22.3%と最も多く、平均4.0日、1日当たりの就労時間は、「4～5時間未満」と「5～6時間未満」が同率の23.3%で最も多く、平均4.9時間である。



「パートタイム・アルバイト等」の母親のフルタイムへの転換希望は、「希望はない」が33.0%、「希望はあるが予定はない」が32.0%、「希望がある」が11.7%である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	希望がある	12	11.7
2	希望はあるが予定はない	33	32.0
3	希望はない	34	33.0
	不明	24	23.3
	非該当	612	
	全体	103	100.0

問8 未就労の母親の就労希望

問7(2)「4」「5」 SA

現在未就労の母親の今後の就労希望については、「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」が62.1%で最も多く、次いで、「有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」が20.2%、「無」が15.6%である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)	76	20.2
2	有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)	234	62.1
3	無	59	15.6
	不明	8	2.1
	非該当	338	
	全体	377	100.0

問8-1 希望する就労形態

問8「1」「2」 SA

就労希望のある方が望む就労形態としては、「パートタイム、アルバイト等」が87.4%、「フルタイム」が11.3%である。

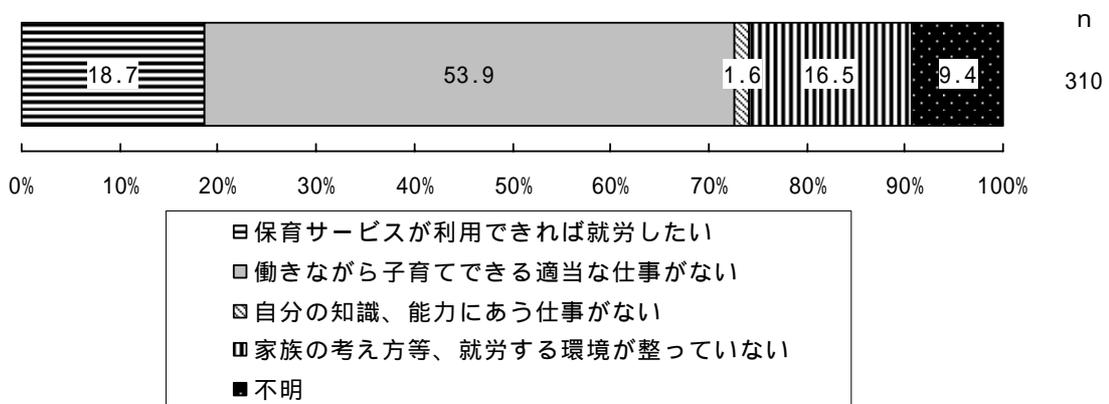
No.	カテゴリー名	n	%
1	フルタイムによる就労	35	11.3
2	パートタイム、アルバイト等による就労	271	87.4
	不明	4	1.3
	非該当	405	
	全体	310	100.0

パートタイム・アルバイト等を望む人の、希望する労働日数は、3.5日/週、4.8時間/日である。

問8-2 未就労の理由

問8「1」「2」 SA

就労を希望しながら現在は働いていない理由については、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が53.9%で最も多く、次いで「保育サービスが利用できれば就労したい」が18.7%である。

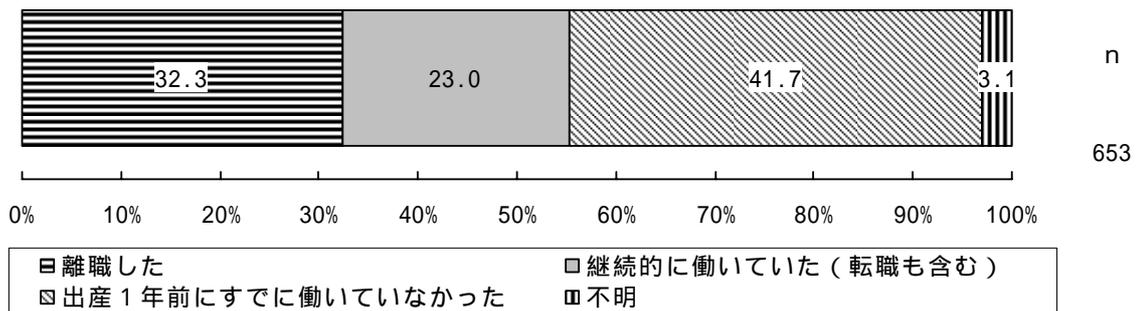


問 8-3 一番小さい子が何歳になったときに就労を希望するか 問 8 「2」 NA

就労を希望する時期について末子の到達年齢として聞いたところ、「7歳」が24.8%で最も多く、また、「6歳」までには就労したい方が44.0%で、平均では6.6歳となっている。

問 9 出産前後（前後それぞれ1年以内）の離職状況 SA

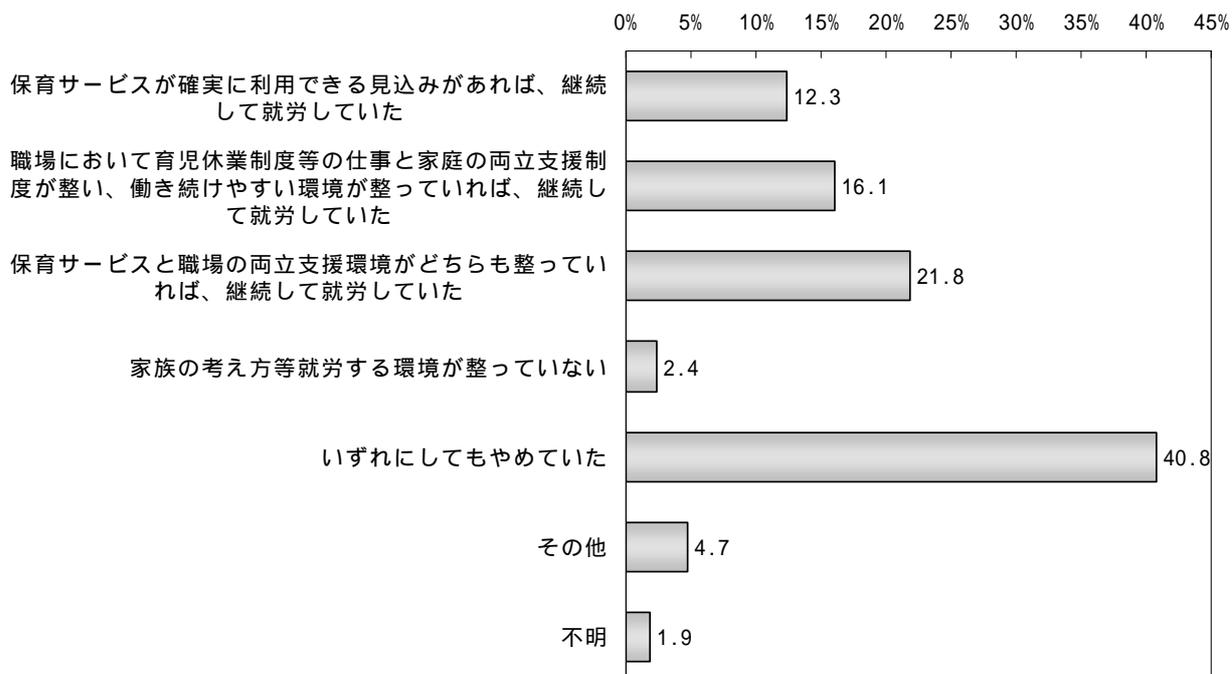
出産前後の離職の状況は、「出産1年前にすでに働いていなかった」が41.7%で最も多く、次いで「離職した」32.3%、「継続的に働いていた（転職も含む）」23.0%である。



問 9-1 保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続したか 問 9 「1」 SA

出産前後に離職した方は、「いずれにしてもやめていた」が40.8%で最も多く、次いで「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」が21.8%である。

n=211



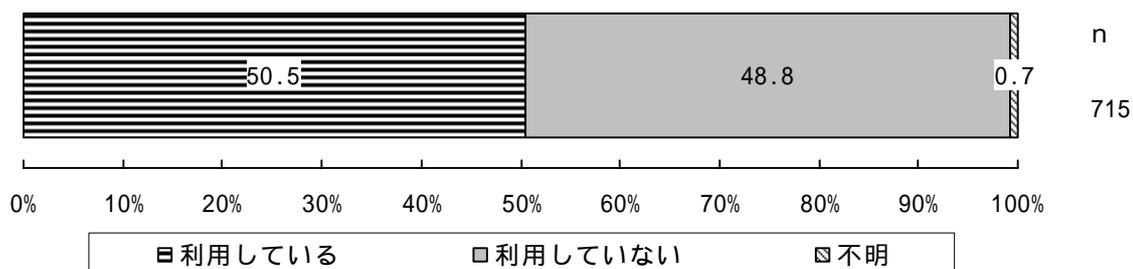
3 保育サービスの利用について

問10 現在の保育サービスの利用状況

SA

定期的な保育サービスの利用状況は、「利用している」50.5%、「利用していない」48.8%で何らかの保育サービスを利用している人が過半数となっている。

年齢別では「利用している」は“4歳”の75.2%が最も多く、“6か月未満”が19.1%で最も少ない。



	全体	問1 生年月								
		6か月未満	6か月～1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	不明	
合計	715 100.0	68 100.0	53 100.0	133 100.0	109 100.0	92 100.0	125 100.0	122 100.0	13 100.0	
問10 保育サービス利用の有無	利用している	361 50.5	13 19.1	16 30.2	45 33.8	46 42.2	60 65.2	94 75.2	80 65.6	7 53.8
	利用していない	349 48.8	55 80.9	36 67.9	88 66.2	63 57.8	31 33.7	30 24.0	41 33.6	5 38.5
	不明	5 0.7	0 0.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	1 1.1	1 0.8	1 0.8	1 7.7

問 10-1 保育サービスの利用状況 問 10「1」 MA

利用している保育サービスについては、「公立・私立保育園（認可保育所）」が 52.9%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」35.5%、「幼稚園の預かり保育」16.6%の順である。

年齢別では、3歳未満は、「公立・私立保育園（認可保育所）」が7割以上と多く、3歳以上は、「幼稚園（通常の就園時間）」が過半数を占めている。

「幼稚園の預かり保育」は、“4歳”が31.9%で最も多い。

		全体	問1 生年月							不明
			6か月未満	6か月～1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
合計		361	13	16	45	46	60	94	80	7
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
問10-1 保育サービスの種類	公立・私立保育園（認可保育所）	191	7	12	32	33	28	36	39	4
		52.9	53.8	75.0	71.1	71.7	46.7	38.3	48.8	57.1
	自治体の認証・認定保育施設	30	3	3	12	6	1	2	2	1
		8.3	23.1	18.8	26.7	13.0	1.7	2.1	2.5	14.3
	家庭的な保育	1	0	0	0	0	0	0	1	0
		0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0
	事業所内保育施設	6	2	0	0	1	1	2	0	0
		1.7	15.4	0.0	0.0	2.2	1.7	2.1	0.0	0.0
	認定こども園 【共通利用時間みの保育の利用】	2	0	0	1	0	1	0	0	0
		0.6	0.0	0.0	2.2	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0
	認定こども園 【共通利用時間以上の保育の利用】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の保育施設	12	1	2	2	4	1	2	0	0
	3.3	7.7	12.5	4.4	8.7	1.7	2.1	0.0	0.0	
幼稚園（通常の就園時間）	128	0	0	1	3	30	52	40	2	
	35.5	0.0	0.0	2.2	6.5	50.0	55.3	50.0	28.6	
幼稚園の預かり保育	60	0	0	0	0	13	30	16	1	
	16.6	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	31.9	20.0	14.3	
ベビーシッター	7	0	0	1	3	1	1	1	0	
	1.9	0.0	0.0	2.2	6.5	1.7	1.1	1.3	0.0	
ファミリーサポートセンター	17	1	2	1	4	1	3	5	0	
	4.7	7.7	12.5	2.2	8.7	1.7	3.2	6.3	0.0	
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問 10-2 現在の保育サービスの利用状況 問 10「1」～「9」 NA

保育サービスの利用日数は、「5日」が78.5%で最も多く、平均4.8日/週、利用時間は「5時間以上」が87.0%で最も多く、平均7.5時間/日となっている。

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日	17	4.8
2	2日	4	1.1
3	3日	2	0.6
4	4日	10	2.8
5	5日	278	78.5
	不明	43	12.1
	非該当	361	
	全体	354	100.0

No.	カテゴリー名	n	%
1	1時間	1	0.3
2	2時間	4	1.1
3	3時間	9	2.5
4	4時間	14	4.0
5	5時間以上	308	87.0
	不明	18	5.1
	非該当	361	
	全体	354	100.0

問 10-3 保育サービスの利用理由

問 10「1」～「9」 SA

保育サービスの利用理由としては、子どもの身の回りの世話を主にしている人が「現在就労している」56.5%が過半数を占めてもっとも多く、次いで「事情はないが、子どもの教育のため」31.6%となっている。

No.	カテゴリー名	n	%
1	現在就労している	200	56.5
2	就労予定がある / 求職中である	4	1.1
3	家族・親族などを介護しなければならない	1	0.3
4	病気や障害を持っている	4	1.1
5	学生である	2	0.6
6	1～5までの事情はないが、子どもの教育のため	112	31.6
7	その他	24	6.8
	不明	7	2.0
	非該当	361	
	全体	354	100.0

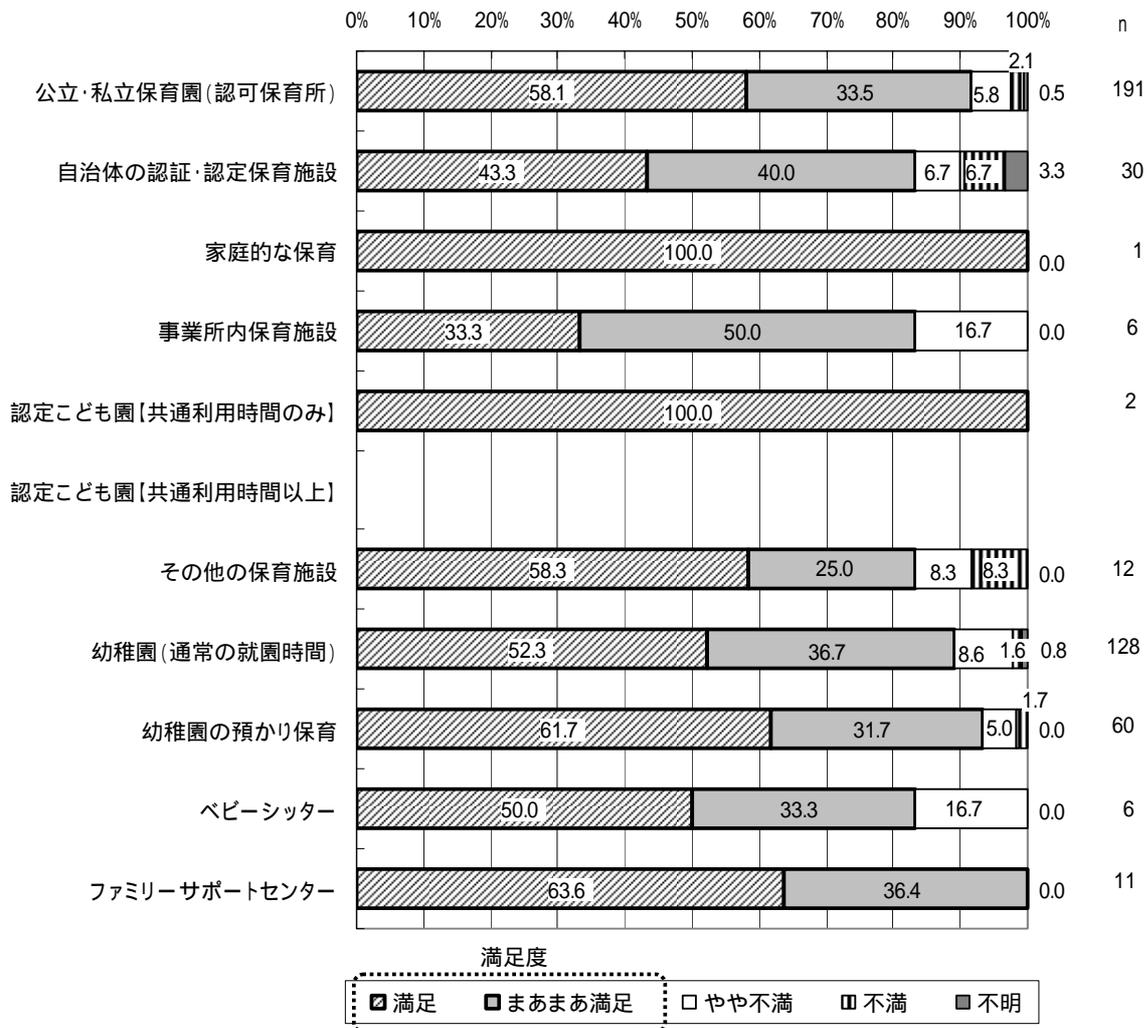
問 10-4 保育サービスの満足度

問 10「1」～「9」 SA

保育サービスの満足度は、「満足」が55.1%、「まあまあ満足」が35.0%で合わせた満足度は9割以上と高く、「不満」と「やや不満」合わせた不満度は、1割未満である。

サービスの種類別でみると、利用者の少ない“家庭的な保育”と“認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】”、“ファミリーサポートセンター”の満足度100.0%を除くと、“幼稚園の預かり保育”の満足度が93.4%で最も高い。

	全体	問10-4 保育サービスの満足度					
		満足	まあまあ満足	やや不満	不満	不明	
合計	354 100.0	195 55.1	124 35.0	25 7.1	7 2.0	3 0.8	
問10-1 保育サービスの種類	公立・私立保育園（認可保育所）	191 100.0	111 58.1	64 33.5	11 5.8	4 2.1	1 0.5
	自治体の認証・認定保育施設	30 100.0	13 43.3	12 40.0	2 6.7	2 6.7	1 3.3
	家庭的な保育	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	事業所内保育施設	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	認定こども園【共通利用時間以上の保育の利用】	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他の保育施設	12 100.0	7 58.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0
	幼稚園（通常の就園時間）	128 100.0	67 52.3	47 36.7	11 8.6	2 1.6	1 0.8
	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間延長して預かるサービス）	60 100.0	37 61.7	19 31.7	3 5.0	1 1.7	0 0.0
	ベビーシッター	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	ファミリーサポートセンター	11 100.0	7 63.6	4 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



問 10-5 保育サービス未利用の理由

問 10「2」 SA

保育サービスを利用していない理由は、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」52.4%が過半数を占めて最も多く、次いで、「預けたいが、保育サービスに空きがない」9.5%、「子どもがまだ小さいため」が9.2%となっている。

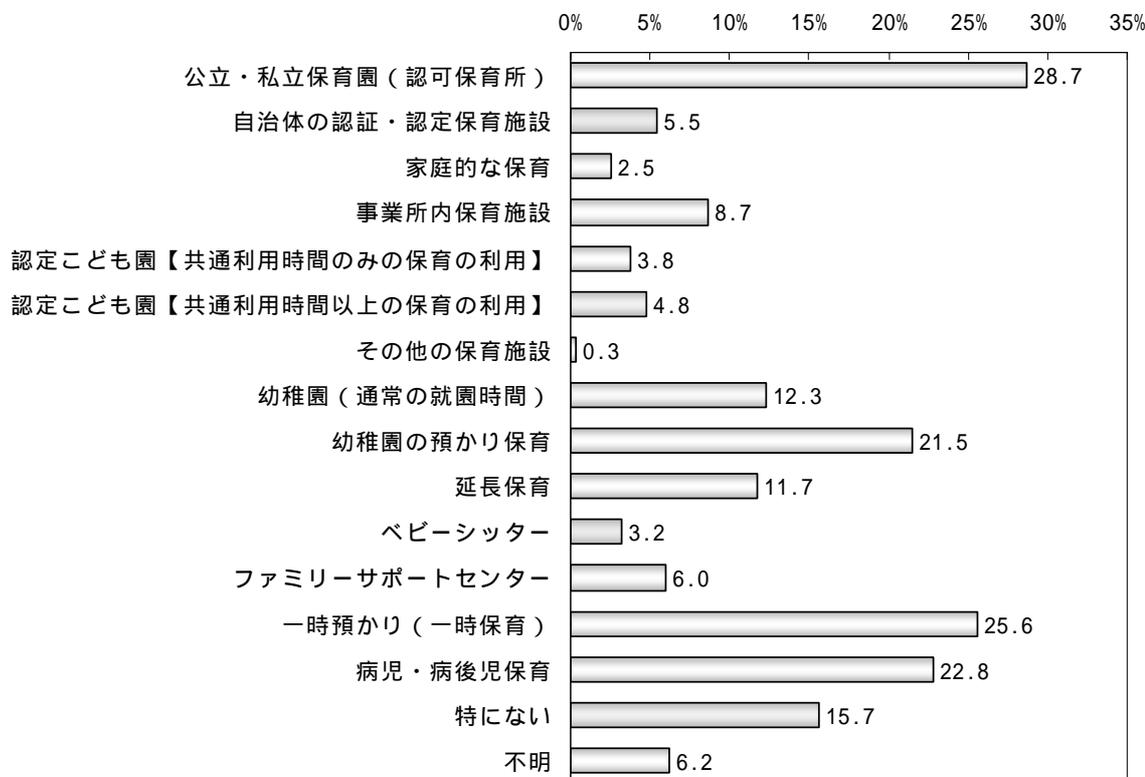
「子どもがまだ小さいため」と回答した人の預けようと考えている年齢は「3歳」が40.6%で最も多く、次いで「4歳」15.6%、「2歳」12.5%の順となっている。

No.	カテゴリー名	n	%
1	(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない	183	52.4
2	子どもの祖父母や親戚の人がみている	26	7.4
3	近所の人や父母の友人・知人がみている	5	1.4
4	預けたいが、保育サービスに空きがない	33	9.5
5	預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない	15	4.3
6	預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない	9	2.6
7	預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない	11	3.2
8	子どもがまだ小さいため	32	9.2
9	その他	16	4.6
	不明	19	5.4
	非該当	366	
	全体	349	100.0

問 11 保育サービスの利用希望 MA

今後利用したい、または足りていないと思うサービスとしては、「公立・私立保育園（認可保育所）」が 28.7%で最も多く、次いで「一時預かり（一時保育）」25.6%、「病児・病後児保育」22.8%の順となっている。

n=715



居住地区別の各サービスの利用希望は、以下の表のとおりである。

	全体	問6 居住地区（総合）					
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明
合計	715	123	97	144	189	137	25
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
問11 サービス利用意向							
公立・私立保育園（認可保育所）	205	32	30	37	54	43	9
	28.7	26.0	30.9	25.7	28.6	31.4	36.0
自治体の認証・認定保育施設	39	7	4	9	11	7	1
	5.5	5.7	4.1	6.3	5.8	5.1	4.0
家庭的な保育	18	2	5	5	3	3	0
	2.5	1.6	5.2	3.5	1.6	2.2	0.0
事業所内保育施設	62	16	5	12	14	13	2
	8.7	13.0	5.2	8.3	7.4	9.5	8.0
認定こども園【共通利用時間のみ】	27	3	4	6	7	6	1
	3.8	2.4	4.1	4.2	3.7	4.4	4.0
認定こども園【共通利用時間以上】	34	8	3	7	6	5	5
	4.8	6.5	3.1	4.9	3.2	3.6	20.0
その他の保育施設	2	1	0	0	0	1	0
	0.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
幼稚園（通常の就園時間）	88	14	5	20	23	23	3
	12.3	11.4	5.2	13.9	12.2	16.8	12.0
幼稚園の預かり保育	154	27	26	33	36	27	5
	21.5	22.0	26.8	22.9	19.0	19.7	20.0
延長保育	84	21	16	14	15	16	2
	11.7	17.1	16.5	9.7	7.9	11.7	8.0
ベビーシッター	23	2	2	7	7	4	1
	3.2	1.6	2.1	4.9	3.7	2.9	4.0
ファミリーサポートセンター	43	8	3	8	18	5	1
	6.0	6.5	3.1	5.6	9.5	3.6	4.0
一時預かり（一時保育）	183	33	25	35	56	28	6
	25.6	26.8	25.8	24.3	29.6	20.4	24.0
病児・病後児保育	163	34	18	41	37	26	7
	22.8	27.6	18.6	28.5	19.6	19.0	28.0
特にない	112	25	15	22	29	19	2
	15.7	20.3	15.5	15.3	15.3	13.9	8.0
不明	44	6	8	9	13	8	0
	6.2	4.9	8.2	6.3	6.9	5.8	0.0

問11-1 今後の利用希望

問11「1」～「12」 NA

各サービス別の利用希望時間、日数、開始時間、終了時間は、以下の表の通りである。

利用希望日数

	全体	問11-1 週あたりの利用日数							
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明
問11-1 公立・私立保育園 (認可保育所)	192 100.0	5 2.6	1 0.5	11 5.7	7 3.6	121 63.0	35 18.2	9 4.7	3 1.6
自治体の認証・認定 保育施設	28 100.0	1 3.6	1 3.6	3 10.7	3 10.7	13 46.4	4 14.3	2 7.1	1 3.6
家庭的な保育	13 100.0	3 23.1	1 7.7	3 23.1	0 0.0	3 23.1	1 7.7	1 7.7	1 7.7
事業所内保育施設	44 100.0	0 0.0	1 2.3	4 9.1	4 9.1	31 70.5	1 2.3	2 4.5	1 2.3
認定こども園【共 通利用時間のみ】	17 100.0	0 0.0	0 0.0	4 23.5	1 5.9	11 64.7	1 5.9	0 0.0	0 0.0
認定こども園【共 通利用時間】	25 100.0	0 0.0	1 4.0	2 8.0	0 0.0	18 72.0	4 16.0	0 0.0	0 0.0
その他の保育施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
幼稚園(通常の就 園時間)	70 100.0	0 0.0	1 1.4	4 5.7	1 1.4	63 90.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4
幼稚園の預かり保 育	132 100.0	14 10.6	16 12.1	29 22.0	11 8.3	51 38.6	2 1.5	0 0.0	9 6.8
延長保育	58 100.0	6 10.3	7 12.1	13 22.4	2 3.4	16 27.6	9 15.5	2 3.4	3 5.2
ベビーシッター	15 100.0	4 26.7	3 20.0	3 20.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0
ファミリーサポー トセンター	28 100.0	10 35.7	5 17.9	7 25.0	0 0.0	5 17.9	0 0.0	0 0.0	1 3.6

利用希望時間

	全体	問11-1 1日あたり利用時間						不明
		3時間未 満	3~5時間 未満	5~7時間 未満	7~10時 間未満	10時間以 上		
問11-1 公立・私立保育園 (認可保育所)	192 100.0	2 1.0	5 2.6	16 8.3	71 37.0	95 49.5	3 1.6	
自治体の認証・認定 保育施設	28 100.0	0 0.0	2 7.1	2 7.1	9 32.1	15 53.6	0 0.0	
家庭的な保育	13 100.0	1 7.7	5 38.5	1 7.7	2 15.4	2 15.4	2 15.4	
事業所内保育施設	44 100.0	0 0.0	0 0.0	9 20.5	18 40.9	16 36.4	1 2.3	
認定こども園【共 通利用時間のみ】	17 100.0	0 0.0	2 11.8	2 11.8	4 23.5	8 47.1	1 5.9	
認定こども園【共 通利用時間】	25 100.0	0 0.0	2 8.0	2 8.0	12 48.0	9 36.0	0 0.0	
その他の保育施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	
幼稚園(通常の就 園時間)	70 100.0	1 1.4	3 4.3	51 72.9	11 15.7	2 2.9	2 2.9	
幼稚園の預かり保 育	132 100.0	27 20.5	66 50.0	9 6.8	15 11.4	8 6.1	7 5.3	
延長保育	58 100.0	19 32.8	17 29.3	2 3.4	4 6.9	12 20.7	4 6.9	
ベビーシッター	15 100.0	4 26.7	4 26.7	1 6.7	2 13.3	3 20.0	1 6.7	
ファミリーサポー トセンター	28 100.0	11 39.3	11 39.3	3 10.7	2 7.1	0 0.0	1 3.6	

利用開始時間

		全体	問11-1 -1 開始時間									
			6時以前	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時以降	不明	
問11-1	公立・私立保育園 (認可保育所)	192 100.0	0 0.0	0 0.0	29 15.1	83 43.2	63 32.8	6 3.1	0 0.0	3 1.6	8 4.2	
	自治体の認証・認定 保育施設	28 100.0	0 0.0	0 0.0	7 25.0	10 35.7	10 35.7	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	家庭的な保育	13 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	3 23.1	4 30.8	0 0.0	0 0.0	3 23.1	2 15.4	
	事業所内保育施設	44 100.0	0 0.0	0 0.0	3 6.8	10 22.7	24 54.5	3 6.8	0 0.0	0 0.0	4 9.1	
	認定こども園【共 通利用時間のみ】	17 100.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	6 35.3	7 41.2	0 0.0	0 0.0	2 11.8	0 0.0	
	認定こども園【共 通利用時間以上】	25 100.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	9 36.0	13 52.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0	0 0.0	
	その他の保育施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	幼稚園(通常の就 園時間)	70 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4	2 2.9	62 88.6	2 2.9	0 0.0	1 1.4	2 2.9	
	幼稚園の預かり保 育	132 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 5.3	23 17.4	0 0.0	0 0.0	85 64.4	17 12.9	
	延長保育	58 100.0	0 0.0	1 1.7	3 5.2	10 17.2	6 10.3	0 0.0	0 0.0	34 58.6	4 6.9	
	ベビーシッター	15 100.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	8 53.3	2 13.3	
	ファミリーサポー トセンター	28 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	1 3.6	1 3.6	3 10.7	1 3.6	19 67.9	2 7.1	

利用終了時間

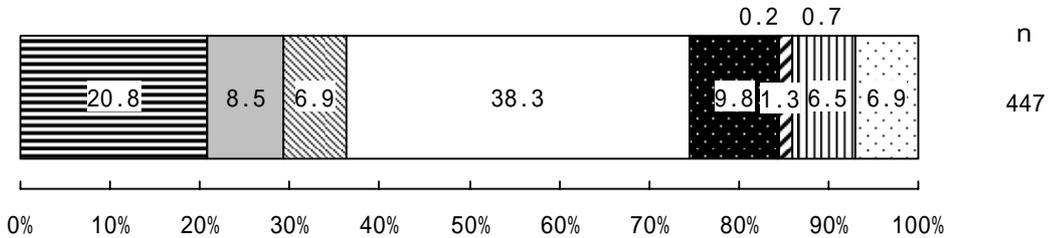
		全体	問11-1 -1 開始時間										
			14時以前	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	22時以降	不明
問11-1	公立・私立保育園 (認可保育所)	192 100.0	6 3.1	11 5.7	16 8.3	32 16.7	65 33.9	29 15.1	18 9.4	4 2.1	2 1.0	1 0.5	8 4.2
	自治体の認証・認定 保育施設	28 100.0	3 10.7	0 0.0	2 7.1	4 14.3	7 25.0	8 28.6	2 7.1	0 0.0	2 7.1	0 0.0	0 0.0
	家庭的な保育	13 100.0	2 15.4	1 7.7	1 7.7	2 15.4	0 0.0	2 15.4	3 23.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4
	事業所内保育施設	44 100.0	5 11.4	2 4.5	1 2.3	11 25.0	12 27.3	4 9.1	2 4.5	2 4.5	0 0.0	0 0.0	5 11.4
	認定こども園【共 通利用時間のみ】	17 100.0	1 5.9	2 11.8	1 5.9	3 17.6	8 47.1	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	認定こども園【共 通利用時間以上】	25 100.0	1 4.0	1 4.0	4 16.0	4 16.0	8 32.0	6 24.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他の保育施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	幼稚園(通常の就 園時間)	70 100.0	38 54.3	16 22.9	4 5.7	5 7.1	4 5.7	0 0.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	2 2.9
	幼稚園の預かり保 育	132 100.0	0 0.0	8 6.1	17 12.9	49 37.1	38 28.8	7 5.3	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 9.1
	延長保育	58 100.0	0 0.0	1 1.7	1 1.7	7 12.1	10 17.2	13 22.4	17 29.3	5 8.6	1 1.7	0 0.0	3 5.2
	ベビーシッター	15 100.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	3 20.0	1 6.7	1 6.7	4 26.7	1 6.7	1 6.7	0 0.0	2 13.3
	ファミリーサポー トセンター	28 100.0	3 10.7	1 3.6	5 17.9	2 7.1	3 10.7	5 17.9	5 17.9	3 10.7	0 0.0	0 0.0	1 3.6

問11-2 サービスを利用したい理由

問11「1」～「12」 SA

サービスを利用したいと考えている理由としては、「そのうち就労したいと考えている」が38.3%で最も多く、次いで「現在就労している」20.8%、「就労していないが、子どもの教育のため」9.8%となっている。

年齢別では、1歳未満は、「就労していないが、子どもの教育のため」の割合が高い。



- 現在就労している
- 現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
- 就労予定がある / 求職中である
- そのうち就労したいと考えている
- 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい
- 家族・親族などを介護しなければならない
- 病気や障害を持っている
- 学生である / 就学したい
- その他
- 不明

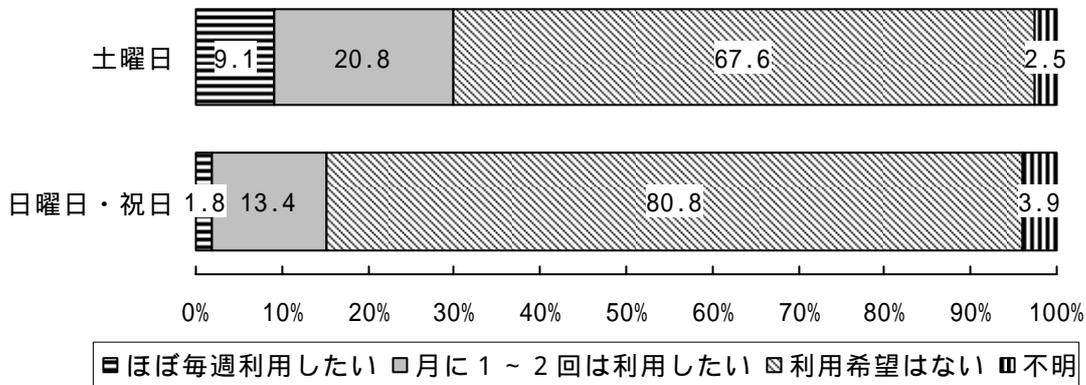
	全体	問1 生年月								
		6か月未満	6か月～1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	不明	
合計	447	52	42	93	72	51	63	64	10	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問11-2 サービス利用希望の理由	現在就労している	93	10	8	14	12	12	14	21	2
		20.8	19.2	19.0	15.1	16.7	23.5	22.2	32.8	20.0
	現在就労しているが、もっと日数や時間を増	38	4	3	5	5	7	5	8	1
		8.5	7.7	7.1	5.4	6.9	13.7	7.9	12.5	10.0
	就労予定がある / 求職中である	31	8	5	8	2	2	3	3	0
		6.9	15.4	11.9	8.6	2.8	3.9	4.8	4.7	0.0
	そのうち就労したいと考えている	171	17	13	38	32	19	25	22	5
		38.3	32.7	31.0	40.9	44.4	37.3	39.7	34.4	50.0
	就労していないが、子どもの教育などのため	44	9	8	9	7	3	5	2	1
		9.8	17.3	19.0	9.7	9.7	5.9	7.9	3.1	10.0
家族・親族などを介護しなければならない	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	
病気や障害を持っている	6	1	0	0	2	1	1	1	0	
	1.3	1.9	0.0	0.0	2.8	2.0	1.6	1.6	0.0	
学生である / 就学したい	3	0	0	2	0	1	0	0	0	
	0.7	0.0	0.0	2.2	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	
その他	29	1	2	7	9	2	4	4	0	
	6.5	1.9	4.8	7.5	12.5	3.9	6.3	6.3	0.0	
不明	31	2	3	10	3	3	6	3	1	
	6.9	3.8	7.1	10.8	4.2	5.9	9.5	4.7	10.0	

問12 保育サービスの土曜日と日曜日・祝日の利用希望

SA、NA

保育サービスの土曜日、日曜日・祝日の利用意向をみると、「ほぼ毎週利用したい」は土曜日9.1%、日曜日・祝日1.8%となっている。また、「月に1～2回利用したい」を合わせた“利用したい”との回答は、土曜日29.9%、日曜日・祝日15.2%となっている。

n 715



利用したい開始時間帯については、「9時」が44.9%で最も多く、次いで「8時」28.0%、「7時」12.6%の順であり、終了時間帯は、「18時」が31.3%で最も多く、次いで「17時」22.9%となっている。

開始時間帯

No.	カテゴリー名	n	%
1	6時以前	0	0.0
2	6時	0	0.0
3	7時	27	12.6
4	8時	60	28.0
5	9時	96	44.9
6	10時	15	7.0
7	11時	1	0.5
8	12時以降	5	2.3
	不明	10	4.7
	非該当	501	
	全体	214	100.0

終了時間帯

No.	カテゴリー名	n	%
1	14時以前	8	3.7
2	14時	12	5.6
3	15時	20	9.3
4	16時	14	6.5
5	17時	49	22.9
6	18時	67	31.3
7	19時	22	10.3
8	19時以降	12	5.6
	不明	10	4.7
	非該当	501	
	全体	214	100.0

居住地区別の土曜日の利用意向は、「ほぼ毎週利用したい」は“Eブロック”が15.3%で最も多く、「月に1～2回」は“Cブロック”の27.8%が最も多く、「利用希望はない」は“Dブロック”で最も多い。

	全体	問6 居住地区(総合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	715	123	97	144	189	137	25	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問12 土曜日 日の利用希望	ほぼ毎週利用したい	65	10	8	12	12	21	2
		9.1	8.1	8.2	8.3	6.3	15.3	8.0
	月に1～2回は利用したい	149	29	25	40	32	15	8
		20.8	23.6	25.8	27.8	16.9	10.9	32.0
	利用希望はない	483	83	62	88	143	94	13
	67.6	67.5	63.9	61.1	75.7	68.6	52.0	
不明	18	1	2	4	2	7	2	
	2.5	0.8	2.1	2.8	1.1	5.1	8.0	

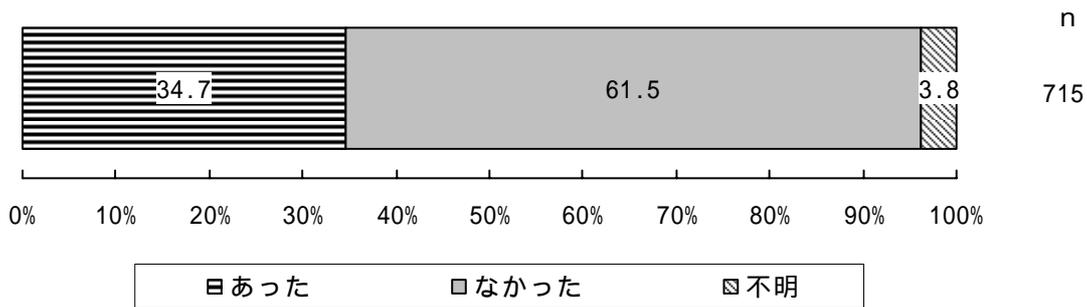
居住地区別の日曜・祝日の利用意向は、「ほぼ毎週利用したい」は“Eブロック”が2.9%で最も多く、「月に1～2回」は“Aブロック”の16.3%が最も多く、「利用希望はない」は“Dブロック”で最も多い。

		全体	問6 居住地区(統合)					不明
			Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	
合計		715 100.0	123 100.0	97 100.0	144 100.0	189 100.0	137 100.0	25 100.0
問12 日曜・祝日の利用希望	ほぼ毎週利用したい	13 1.8	0 0.0	2 2.1	4 2.8	2 1.1	4 2.9	1 4.0
	月に1～2回は利用したい	96 13.4	20 16.3	15 15.5	19 13.2	20 10.6	19 13.9	3 12.0
	利用希望はない	578 80.8	100 81.3	76 78.4	115 79.9	163 86.2	106 77.4	18 72.0
	不明	28 3.9	3 2.4	4 4.1	6 4.2	4 2.1	8 5.8	3 12.0

4 病児・病後児保育について

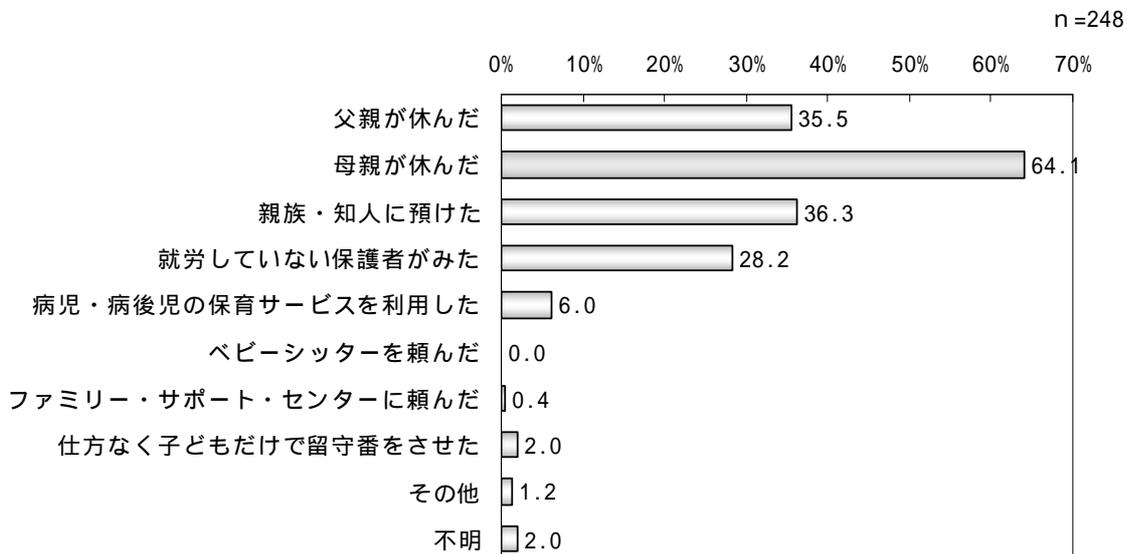
問13 過去1年間に病気やケガで保育サービスが利用できなかったことの有無 SA

過去1年間に保育サービスを利用できなかったことが「あった」人は34.7%、「なかった」人は61.5%となっている。



問13-1 利用できなかった時の対処方法 問13「1」 MA

保育サービスが利用できなかった時の対処方法は、「母親が休んだ」64.1%が最も多く、次いで「親族・知人に預けた」36.3%、「父親が休んだ」35.5%となっている。



問 13-2 施設等に預けたいと思った日数

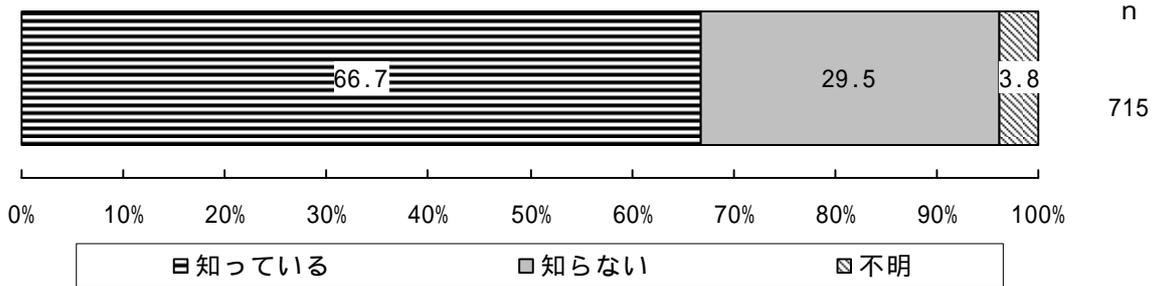
問 13-1 「1～3」 NA

対処方法として、「父親または母親が休んだ」「親族・知人に預けた」と回答した人に、できれば施設等に預けたいと思った日数を聞いたところ、平均は7.9日となっている。

問 13-3 病後児保育室の認知度

SA

病後児保育室の認知度は、「知っている」が66.7%で、認知度は6割以上となっている。

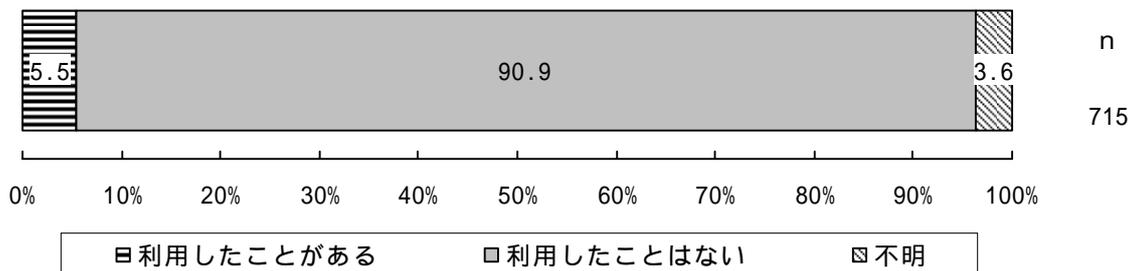


	全体	問1 生年月								
		6か月未満	6か月～1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	不明	
合計	715	68	53	133	109	92	125	122	13	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問13-3 病後児保育室の認知度	知っている	477	37	29	91	80	58	88	86	8
		66.7	54.4	54.7	68.4	73.4	63.0	70.4	70.5	61.5
	知らない	211	29	23	37	26	30	32	30	4
	29.5	42.6	43.4	27.8	23.9	32.6	25.6	24.6	30.8	
不明	27	2	1	5	3	4	5	6	1	
	3.8	2.9	1.9	3.8	2.8	4.3	4.0	4.9	7.7	

問 13-4 病後児保育室の利用経験

SA

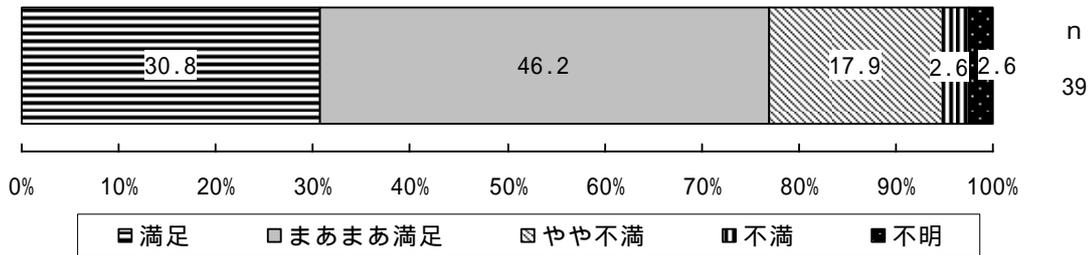
病後児保育室の利用経験は、「利用したことがある」が5.5%となっている。



問 13-5 病後児保育室の満足度

問 13-4 「1」 SA

病後児保育室を利用したことがある人の満足度は、「まあまあ満足」が 46.2%で最も多く、「満足」30.8%と合わせた満足度は、77.0%と高くなっている。

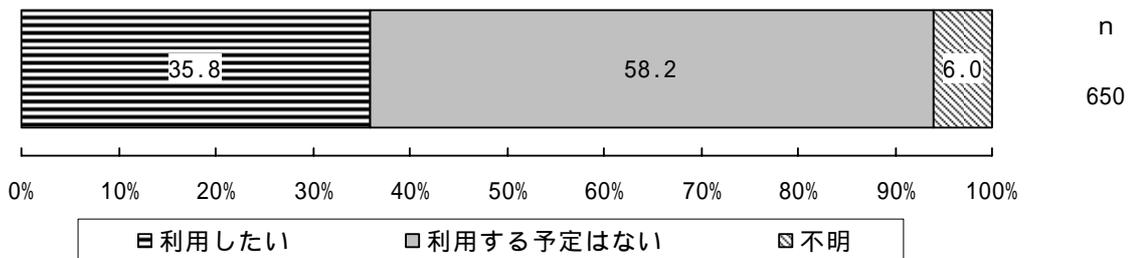


問 13-6 病後児保育室の今後の利用意向

問 13-4 「2」 SA

病後児保育室未利用者の今後の利用意向は、「利用したい」35.8%、「利用する予定はない」58.2%となっている。

年齢別では、“6か月未満”の利用意向が53.8%で過半数を占めている。



	全体	問1 生年月							
		6か月未満	6か月～1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	不明
合計	650	65	47	122	99	82	115	108	12
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
問13-6 病後児保育室の利用意向	利用したい	233	12	49	48	27	28	31	3
		35.8	25.5	40.2	48.5	32.9	24.3	28.7	25.0
	利用する予定はない	378	32	65	46	49	79	72	7
	58.2	68.1	53.3	46.5	59.8	68.7	66.7	58.3	
不明	39	3	8	5	6	8	5	2	
	6.0	6.4	6.6	5.1	7.3	7.0	4.6	16.7	

居住地区別の病後児保育室の利用意向は、「利用したい」は“Dブロック”が38.5%で最も多く、“Bブロック”で最も少ない。

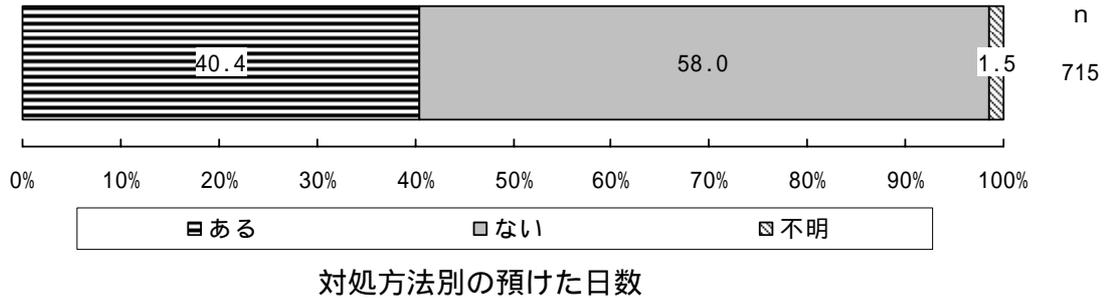
	全体	問6 居住地区(統合)					不明	
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック		
合計	650	104	95	127	179	125	20	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問13-6 病後児保育室の利用意向	利用したい	233	38	27	48	69	43	8
		35.8	36.5	28.4	37.8	38.5	34.4	40.0
	利用する予定はない	378	59	62	78	97	71	11
	58.2	56.7	65.3	61.4	54.2	56.8	55.0	
不明	39	7	6	1	13	11	1	
	6.0	6.7	6.3	0.8	7.3	8.8	5.0	

5 一時預かりについて

問 14 過去1年間に家族以外へ一時的に子どもを預けたことの有無

SA

過去1年間に家族以外に一時的に子どもを預けたことが「ある」人は40.4%で、預けた日数は平均17.6日/年となっており、理由別では「就労」が38.2日/年、「私用(買物、習い事等) リフレッシュ目的」が8.8日/年、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の病気」5.7日/年の順となっている。

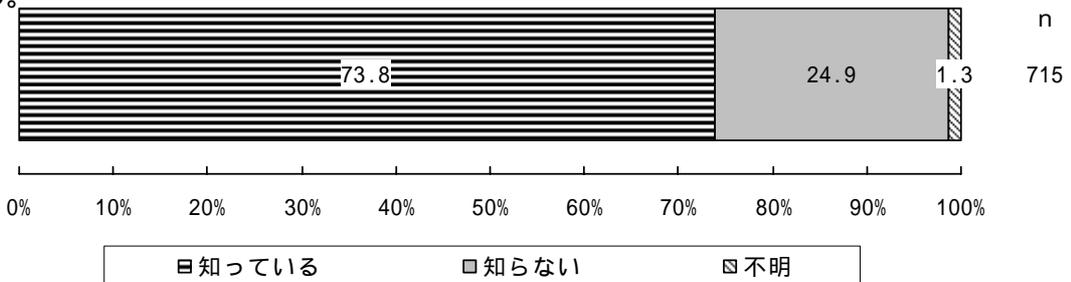


No.	カテゴリー名	日数		
		最大	最小	平均
1	私用、リフレッシュ目的	72.0	1.0	8.8
2	冠婚葬祭、子どもの親の病気	110.0	1.0	5.7
3	就労	295.0	0.0	38.2

問 14-1 子どもの一時預かり(一時保育事業)の認知度

SA

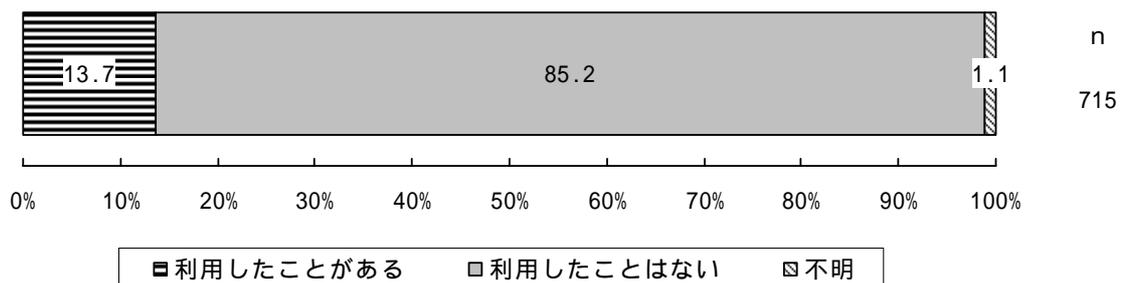
一時預かり(一時保育事業)の認知度は、「知っている」が73.8%で、認知度は7割以上となっている。



問 14-2 一時預かり(一時保育事業)の利用経験

SA

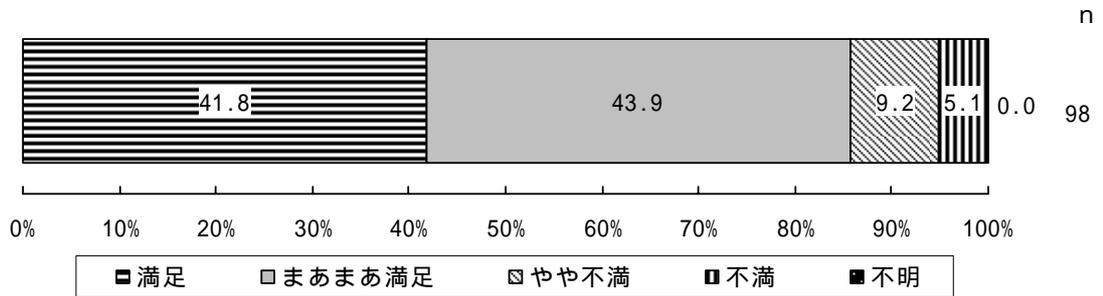
一時預かり(一時保育事業)の利用経験は、「利用したことがある」が13.7%となっている。



問 14-3 一時預かり（一時保育事業）の満足度

問 14-2「1」 SA

一時預かり（一時保育事業）を利用したことがある人の満足度は、「まあまあ満足」が 43.9% で最も多く、「満足」41.8%と合わせた満足度は、85.7%と高くなっている。



問 14-4 一時預かり（一時保育事業）の今後の利用意向

SA

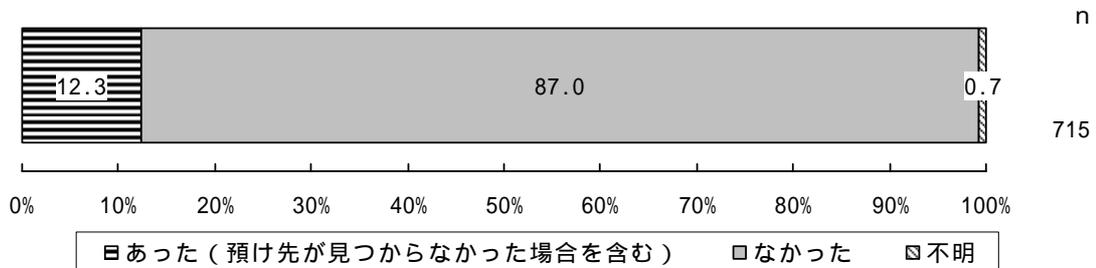
一時預かり（一時保育事業）今後の利用意向は、231人の回答があり、回答者の平均日数は3.6日/月となっている。

6 宿泊を伴う一時預かりについて

問 15 過去1年間に泊まりがけで家族以外に預けなければならないことの有無

SA

過去1年間に泊まりがけで家族以外に子どもを預けなければならないことが「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」は12.3%となっている。

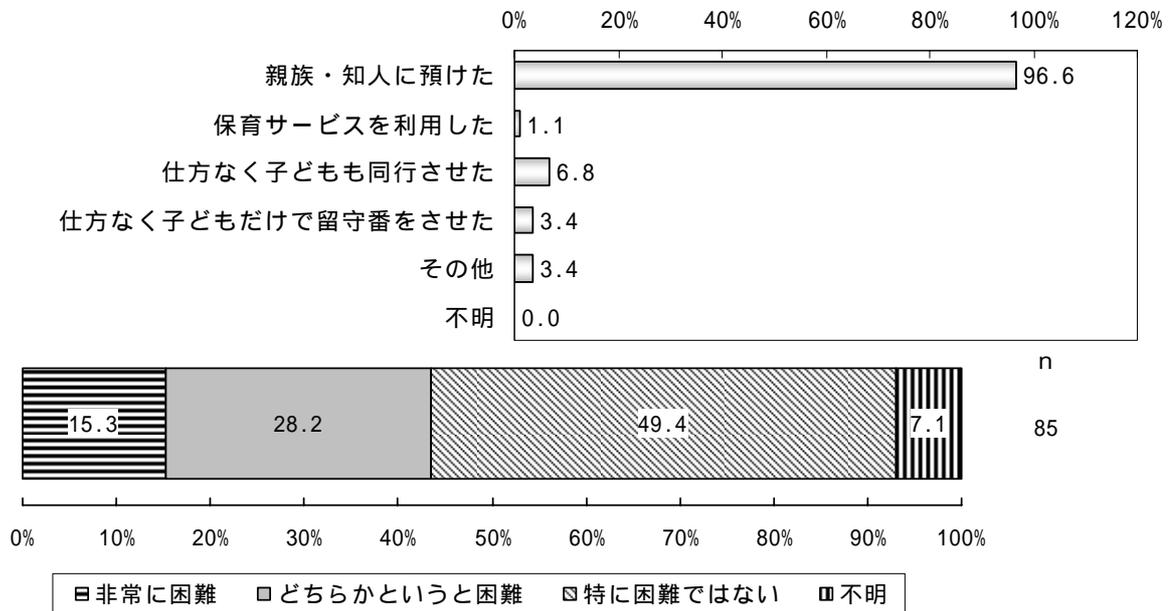


問 15-1,2 対処方法と困難度

問 15「1」 SA

過去1年間に泊まりがけで家族以外に子どもを預けなければならないことがあった際の対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が96.6%でほとんどとなっており、その際の困難度は、「特に困難ではない」が49.5%で約半数を占めている。

n=88



対処方法別の預けた日数については、「保育サービスを利用した」が7.0日/年、「親族・知人に預けた」5.3日/年の順となっている。

対処方法別の預けた泊数

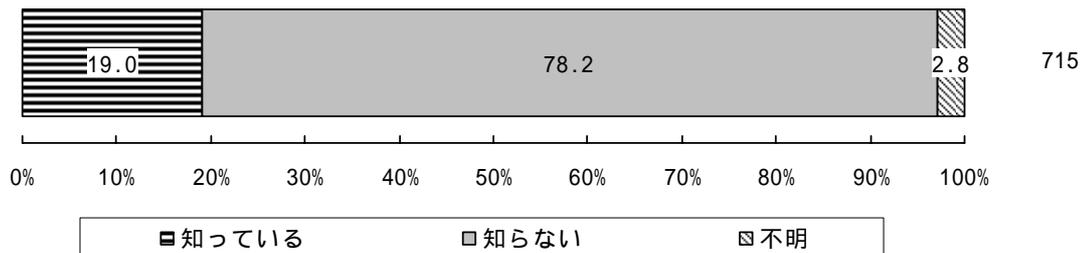
No.	カテゴリー名	泊数		
		最大	最小	平均
1	親族・知人に預けた	30.0	1.0	5.3
2	保育サービスを利用した	7.0	7.0	7.0
3	仕方なく子どもも同行させた	10.0	1.0	3.4
4	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	7.0	1.0	4.0
5	その他	5.0	5.0	5.0

問 15-3 宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の認知度

SA

宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の認知度は、「知っている」が19.0%で、認知度は2割以下となっている。

n



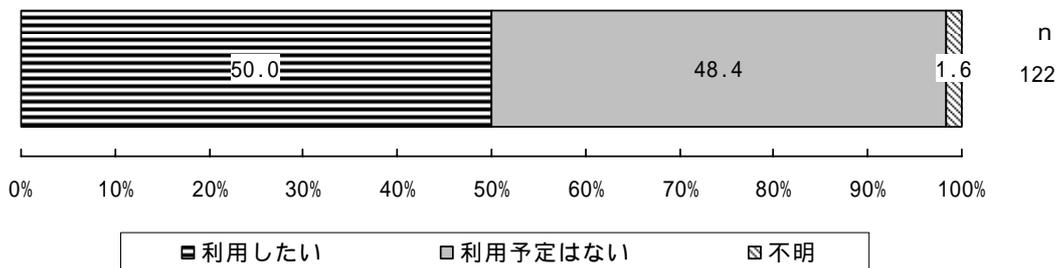
問 15-4,5 宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の利用経験と満足度 SA

宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の利用経験は、「利用したことがある」は1人(0.1%)のみであり、満足度については無回答である。

7 学童クラブの利用意向

問 16 小学校入学以降の学童クラブの利用意向 SA

来年度就学予定の児童を持つ保護者の学童クラブの利用意向をみると、「利用したい」は50.0%であり、利用希望日数は「5日」が47.5%で約半数を占めている。



利用希望日数

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日	2	3.3
2	2日	9	14.8
3	3日	6	9.8
4	4日	5	8.2
5	5日	29	47.5
6	6日	4	6.6
7	7日	0	0.0
	不明	6	9.8
	非該当	654	
	全体	61	100.0

居住地区別の学童クラブの利用意向は、「利用したい」は“Cブロック”が58.3%で最も多く、次いで“E”ブロックが57.9%で、この2地区の利用意向は過半数を占めている。

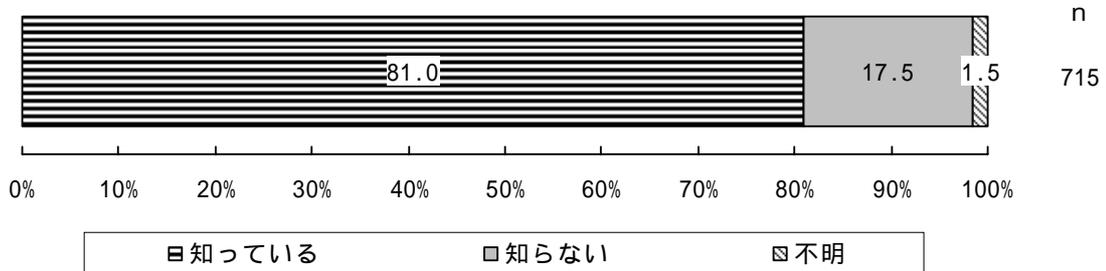
	全体	問6 居住地区(統合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	122 100.0	23 100.0	19 100.0	24 100.0	34 100.0	19 100.0	3 100.0	
問16 学童クラブの利用について	利用したい	61 50.0	10 43.5	9 47.4	14 58.3	15 44.1	11 57.9	2 66.7
	利用予定はない	59 48.4	11 47.8	10 52.6	10 41.7	19 55.9	8 42.1	1 33.3
	不明	2 1.6	2 8.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

8 ベビーシッターの利用について

問 17 ベビーシッターの認知度

SA

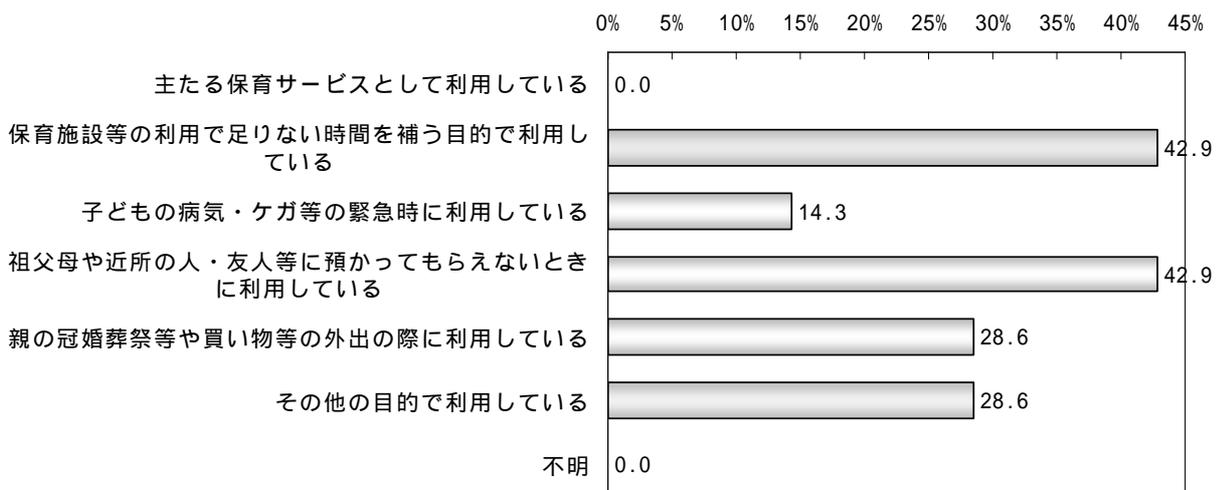
ベビーシッターの認知度は、「知っている」が81.0%で、認知度は8割以上となっている。



問 17-1 ベビーシッターの利用目的

問 10-1 「10」 MA

ベビーシッター利用者の利用目的については、「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している」と「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が同率の42.9%である。



問 17-2 ベビーシッターの頻度

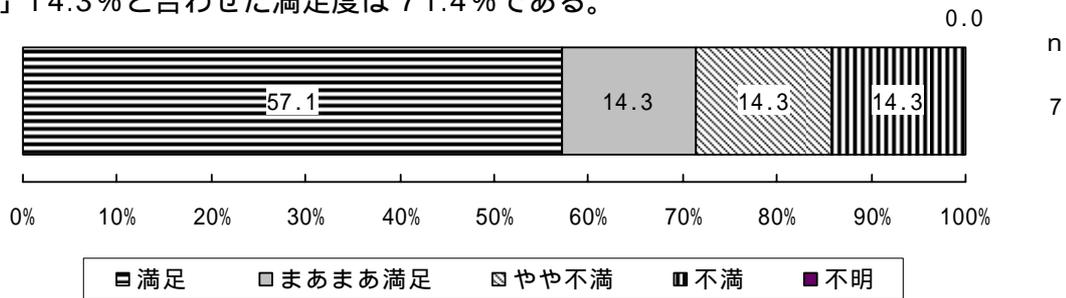
問 10-1 「10」 SA

ベビーシッターの利用頻度は、2日/月、5.2時間/回となっている。

問 17-3 ベビーシッターの満足度

問 10-1 「10」 SA

ベビーシッターを利用したことがある人の満足度は、「満足」が 57.1%で最も多く、「まあまあ満足」14.3%と合わせた満足度は 71.4%である。

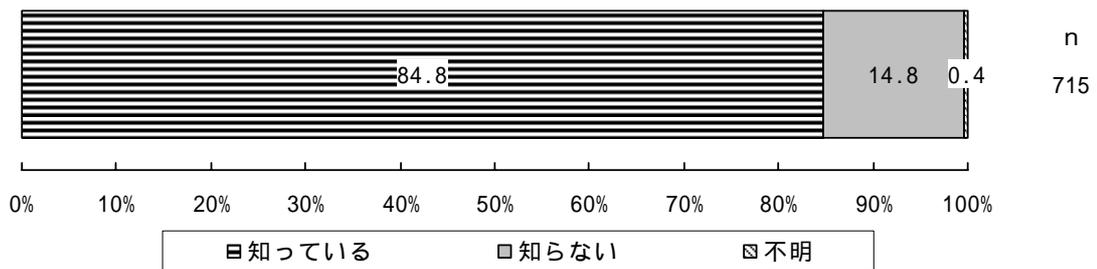


9 ファミリーサポートセンターの利用について

問 18 ファミリーサポートセンターの認知度

SA

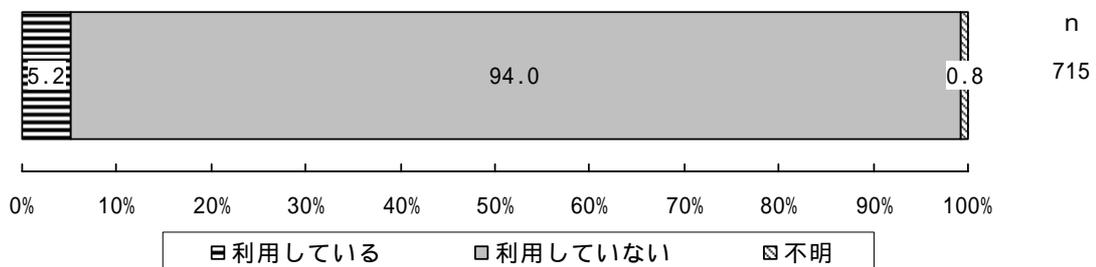
ファミリーサポートセンターの認知度は、「知っている」が 84.8%で、認知度は 8 割以上となっている。



問 18-1 ファミリーサポートセンターの利用経験

SA

ファミリーサポートセンターの利用経験は、「利用したことがある」が 5.2%となっている。

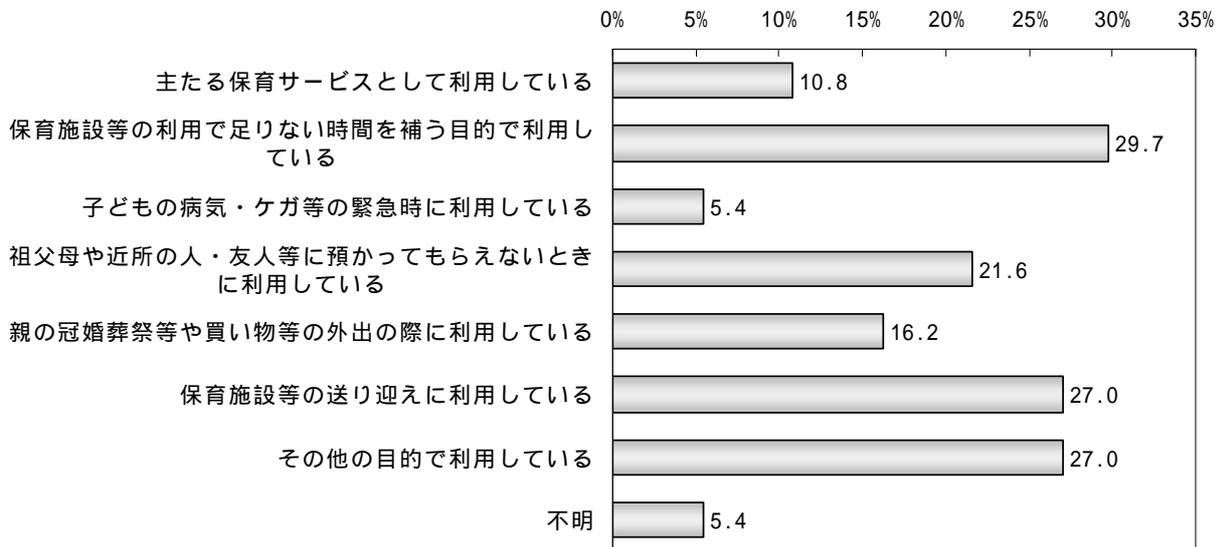


問 18-2 ファミリーサポートセンターの利用目的

問 18-1「1」 MA

ファミリーサポートセンターの利用目的は、「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している」が 29.7%で最も多く、次いで「保育施設の送り迎えに利用している」と「その他の目的で利用している」が同率の 27.0%である。

n=37



問 18-3 ファミリーサポートセンターの利用頻度

問 18-1「1」 NA

ファミリーサポートセンターの利用頻度は、平均 4.5 日 / 月、2.4 時間 / 1 回である。

問 18-4 利用時間を増やしたい希望

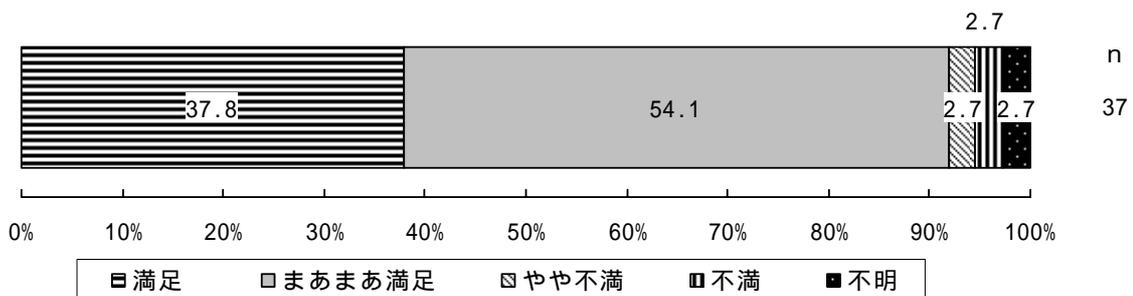
問 18-1「1」 NA

利用時間を増やしたいと回答したのは 6 人であり、平均 6.5 時間 / 月である。

問 18-5 ファミリーサポートセンターの満足度

問 18-1「1」 SA

ファミリーサポートセンターを利用したことがある人の満足度は、「まあまあ満足」が 54.1%で最も多く、「満足」37.8%と合わせた満足度は、91.9%と高くなっている。



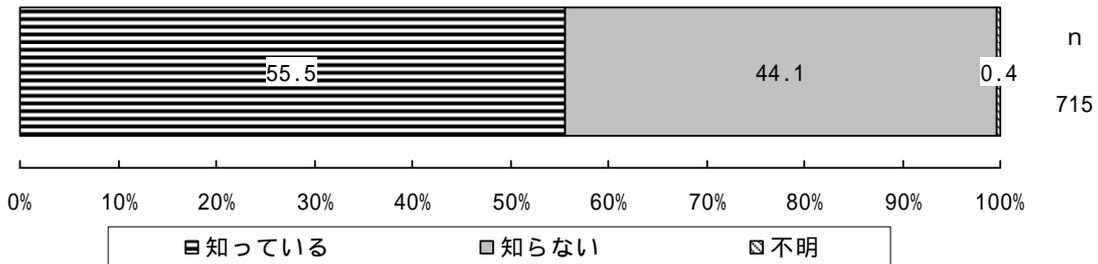
問 18-6 ファミリーサポートセンターの今後の利用意向 問 18-1「2」 SA

ファミリーサポートセンター未利用者の今後の利用意向は、151人の回答があり、回答者の平均日数は10.2時間/月となっている。

10 地域子育て支援センターについて

問 19 地域子育て支援センターの認知度 SA

地域子育て支援センターの認知度は、「知っている」が55.5%となっている。

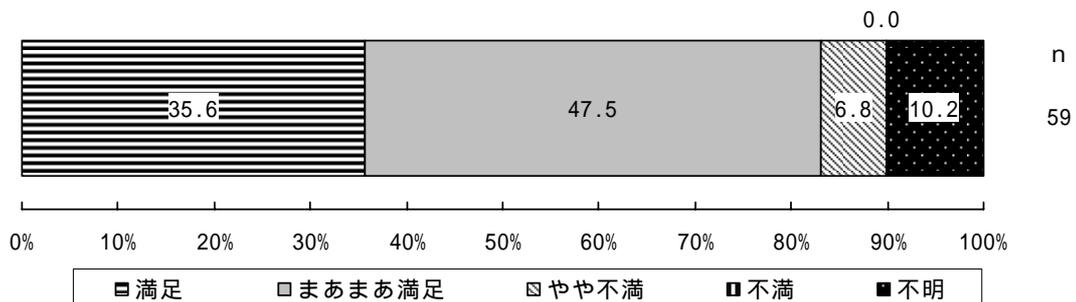


問 19-1 地域子育て支援センターの利用経験 SA

地域子育て支援センター利用経験は、「利用したことがある」が6.4%で、平均利用回数は、1.6回/週となっている。

問 19-2 地域子育て支援センターの満足度 問 19-1「1」 SA

地域子育て支援センターを利用したことがある人の満足度は、「まあまあ満足」が47.5%で最も多く、「満足」35.6%と合わせた満足度は、83.1%と高くなっている。

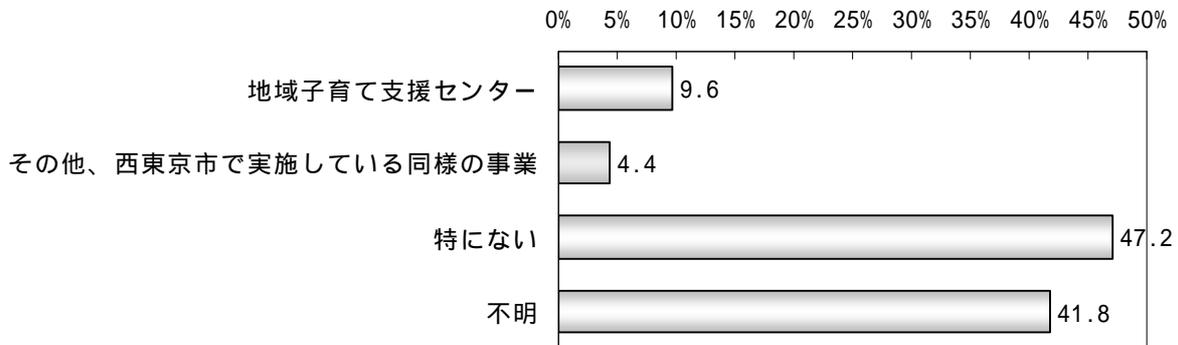


問 19-3 地域子育て支援センターの利用意向

問 19-1「3」 MA

地域子育て支援センターの今後の利用意向は、「地域子育て支援センター」9.6%、「その他、西東京市で実施している同様の事業」4.4%となっている。なお、「地域子育て支援センター」と「その他、西東京市で実施している同様の事業」の平均希望回数は同数の1.3回/週となっている。

n=706



居住地区別の地域子育てセンターの利用意向は、「地域子育てセンター」は“Aブロック”の利用意向が14.0%で最も多くなっている。

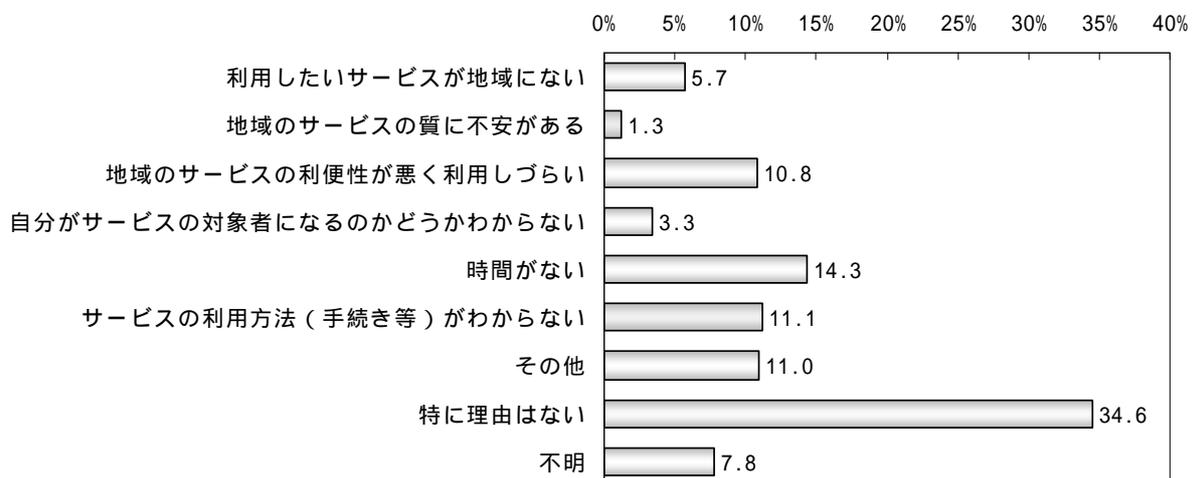
	全体	問6 居住地区(統合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	706 100.0	121 100.0	97 100.0	143 100.0	188 100.0	133 100.0	24 100.0	
問19-3 地域子育て支援センターの今後の利用希望	地域子育て支援センター	68 9.6	17 14.0	10 10.3	10 7.0	14 7.4	15 11.3	2 8.3
	その他、西東京市で実施している同様の事業	31 4.4	5 4.1	5 5.2	3 2.1	11 5.9	5 3.8	2 8.3
	特にない	333 47.2	53 43.8	51 52.6	64 44.8	93 49.5	59 44.4	13 54.2
	不明	295 41.8	51 42.1	34 35.1	68 47.6	75 39.9	59 44.4	8 33.3

問 19-4 地域子育て支援センターの未利用の理由

問 19-1「3」 SA

地域子育て支援センターの未利用の理由は、「特に理由はない」が34.6%で最も多く、次いで「時間がない」14.3%、「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」11.1%、「その他」11.0%の順となっている。

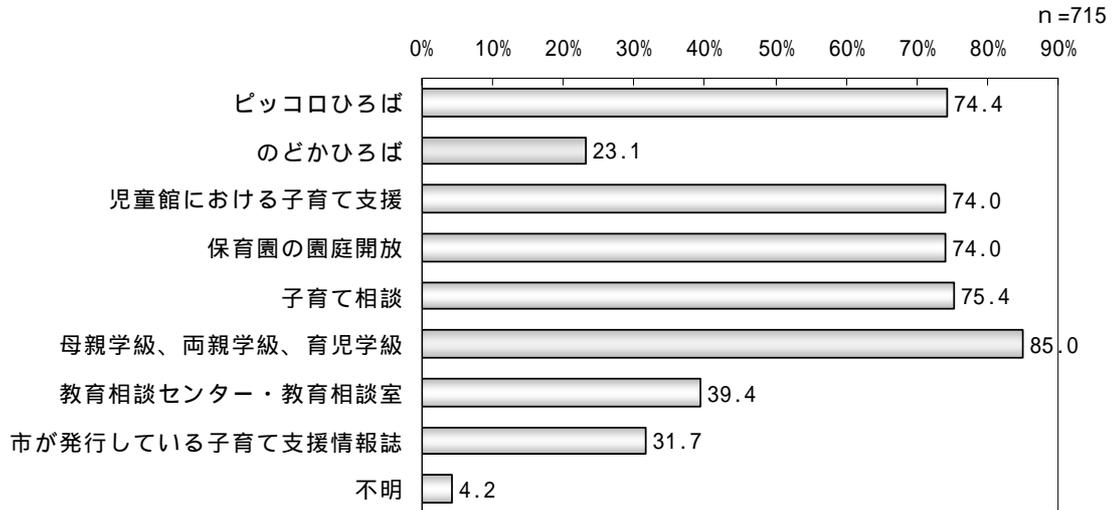
n=628



問 20 その他の子育て支援サービスの認知度・利用後・満足度・利用意向 SA

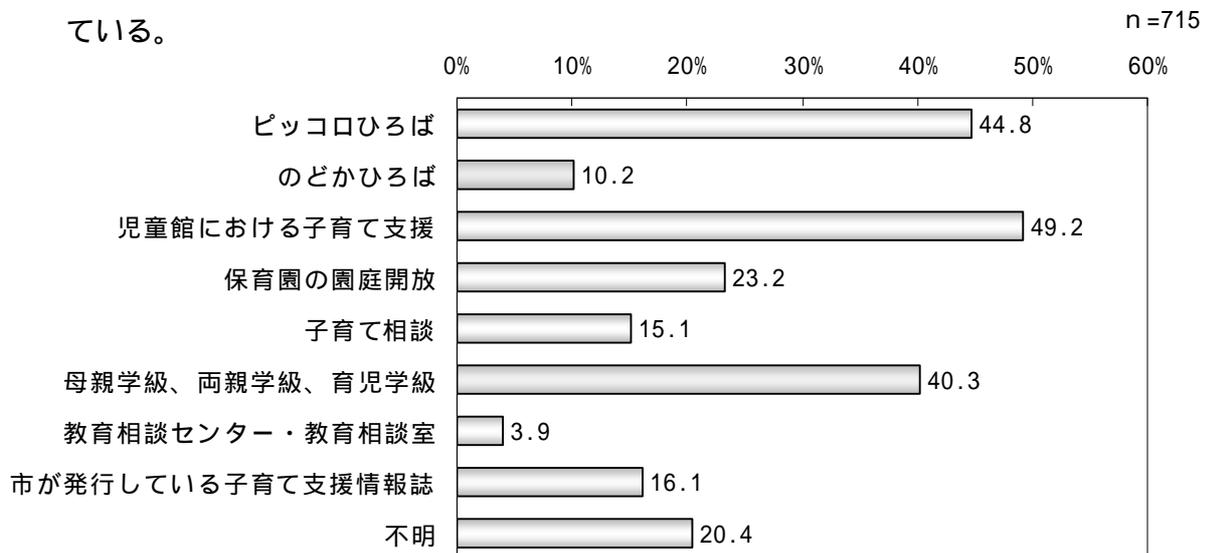
認知度

子育て支援サービスの認知度は、「母親学級、両親学級、育児学級」が85.0%で最も高く、次いで「子育て相談」75.4%、「ピッコロひろば」74.4%の順となっている。



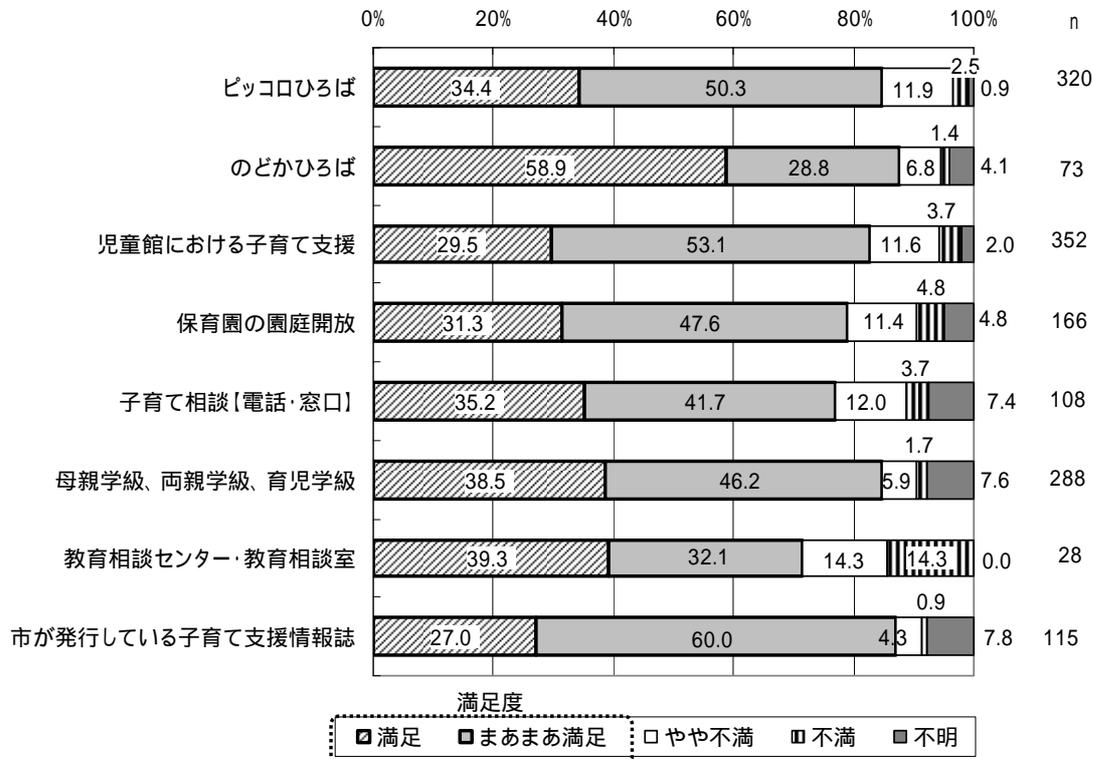
利用経験

子育て支援サービスの利用経験は、「児童館における子育て支援」が49.2%で最も高く、次いで「ピッコロひろば」44.8%、「母親学級、両親学級、育児学級」40.3%の順となっている。



満足度

各サービス利用者の「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「のどかひろば」が87.7%で最も高く、次いで「市が発行している子育て支援情報誌」87.0%、「ピッコロひろば」と「母親学級、両親学級、育児学級」が同率の84.7%の順となっている。



	全体	満足	やや満足	やや不満	不満	不明
ピッコロひろば	320	110	161	38	8	3
	100.0	34.4	50.3	11.9	2.5	0.9
のどかひろば	73	43	21	5	1	3
	100.0	58.9	28.8	6.8	1.4	4.1
児童館における子育て支援	352	104	187	41	13	7
	100.0	29.5	53.1	11.6	3.7	2.0
保育園の園庭開放	166	52	79	19	8	8
	100.0	31.3	47.6	11.4	4.8	4.8
子育て相談【電話・窓口】	108	38	45	13	4	8
	100.0	35.2	41.7	12.0	3.7	7.4
母親学級、両親学級、育児学級	288	111	133	17	5	22
	100.0	38.5	46.2	5.9	1.7	7.6
教育相談センター・教育相談室	28	11	9	4	4	0
	100.0	39.3	32.1	14.3	14.3	0.0
市が発行している子育て支援情報誌	115	31	69	5	1	9
	100.0	27.0	60.0	4.3	0.9	7.8

利用意向

各サービスの今後の利用意向は、「市が発行している子育て支援情報誌」が44.3%、「児童館における子育て支援」が44.1%、「子育て相談」34.3%の順で高くなっている。

居住地区別でみると、“Dブロック”の「児童館における子育て支援」52.9%と「市が発行している子育て支援情報誌」51.3%が過半数を占めて高くなっている。

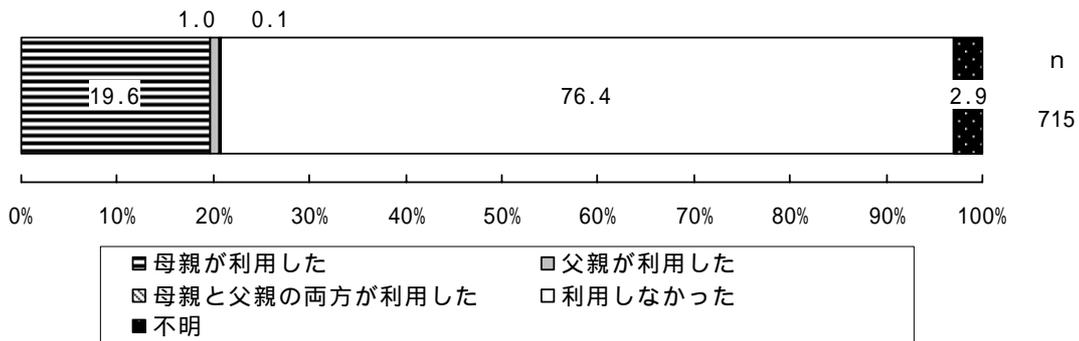
	全体	問6 居住地区(統合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	715 100.0	123 100.0	97 100.0	144 100.0	189 100.0	137 100.0	25 100.0	
問20今後の利用意向	ピッコロひろば	235 32.9	14 11.4	34 35.1	53 36.8	68 36.0	58 42.3	8 32.0
	のどかひろば	125 17.5	19 15.4	15 15.5	20 13.9	54 28.6	14 10.2	3 12.0
	児童館における子育て支援	315 44.1	46 37.4	42 43.3	63 43.8	100 52.9	56 40.9	8 32.0
	保育園の園庭開放	214 29.9	37 30.1	32 33.0	32 22.2	63 33.3	45 32.8	5 20.0
	子育て相談	245 34.3	41 33.3	34 35.1	49 34.0	61 32.3	54 39.4	6 24.0
	母親学級、両親学級、育児学級	219 30.6	38 30.9	30 30.9	41 28.5	63 33.3	39 28.5	8 32.0
	教育相談センター・教育相談室	242 33.8	44 35.8	30 30.9	47 32.6	68 36.0	49 35.8	4 16.0
	市が発行している子育て支援情報誌	317 44.3	49 39.8	42 43.3	57 39.6	97 51.3	65 47.4	7 28.0
	不明	170 23.8	35 28.5	27 27.8	35 24.3	37 19.6	30 21.9	6 24.0

11 育児休業制度について

問21 育児休業制度の利用について

SA

育児休業制度を「母親が利用した」は19.6%、「父親が利用した」は1.0%、「母親と父親の両方が利用した」は0.1%であり、育児休業制度を“利用した”人は20.7%となっている。



問 21-1 復帰したときの子どもの月齢

問 21 「1～3」 NA

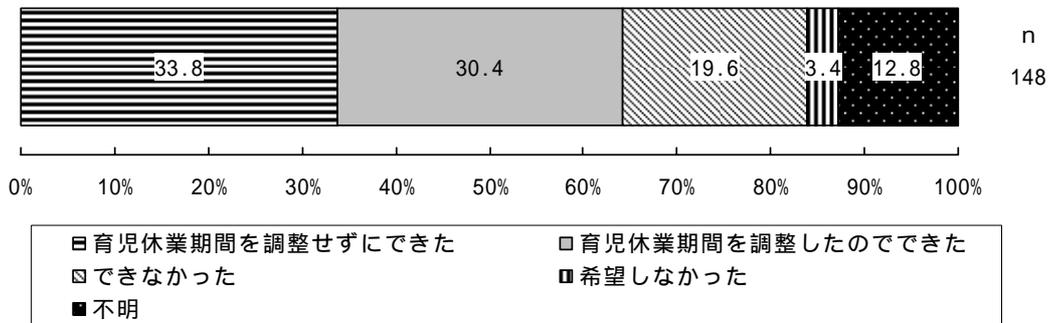
育児休業から復帰したときの子どもの月齢は、「12～24ヶ月」が38.5%で最も多く、次いで「6～12ヶ月」31.1%、「3～6ヶ月」11.5%の順となっている。平均月齢は、10.4 か月となっている。

No.	カテゴリー名	n	%
1	0～3か月未満	9	6.1
2	3～6か月未満	17	11.5
3	6～12か月未満	46	31.1
4	12～24か月未満	57	38.5
5	24か月以上	3	2.0
	不明	16	10.8
	非該当	567	
	全体	148	100.0

問 21-2 育児休業明けの保育サービスの利用

問 21 「1～3」 SA

育児休業明けの保育サービスの利用については、「育児休業期間を調整せずにできた」は33.8%、「育児休業期間を調整したのでできた」は30.4%、「できなかった」が19.6%となっている。

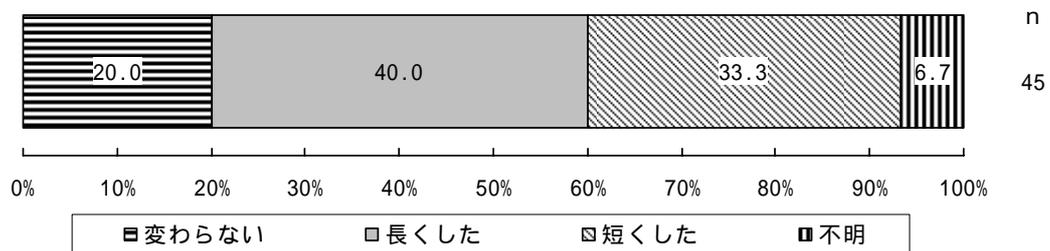


問 21-3 保育サービスが確実に利用できた場合の取得期間

問 21-2 「2」 SA

育児休業期間を調整したのでできたと回答した人のうち、育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わったかという質問には、「長くした」が40.0%、「短くした」が33.3%、「変わらない」が20.0%となっている。

「長くした」、「短くした」と回答した人の期間は以下の表のとおりである。



長くした期間

No.	カテゴリー名	n	%
1	1～2か月未満	2	11.1
2	2～3か月未満	3	16.7
3	3～4か月未満	1	5.6
4	4～5か月未満	1	5.6
5	5～6か月未満	1	5.6
6	6か月以上	5	27.8
	不明	5	27.8
	非該当	697	
	全体	18	100.0

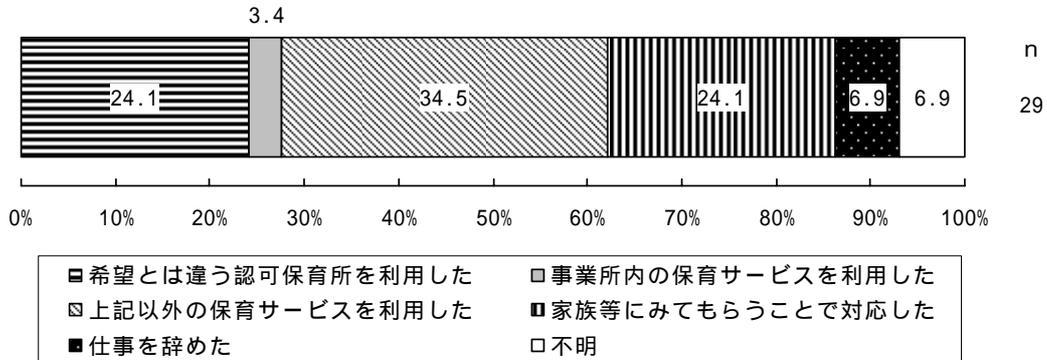
短くした期間

No.	カテゴリー名	n	%
1	1～2か月未満	1	6.7
2	2～3か月未満	3	20.0
3	3～4か月未満	2	13.3
4	4～5か月未満	0	0.0
5	5～6か月未満	2	13.3
6	6か月以上	4	26.7
	不明	3	20.0
	非該当	700	
	全体	15	100.0

問 21-4 保育サービスが利用できなかった人の対応

問 21-2 「3」 SA

育児休業明けに希望する保育サービスの利用が「できなかった」人の対応は、「上記（希望とは違う認可保育所、事業所内の保育サービス）以外の保育サービスを利用した」34.5%が最も多く、次いで「希望とは違う認可保育所を利用した」と「家族等にみてもらうことで対応した」が同率の24.1%となっている。

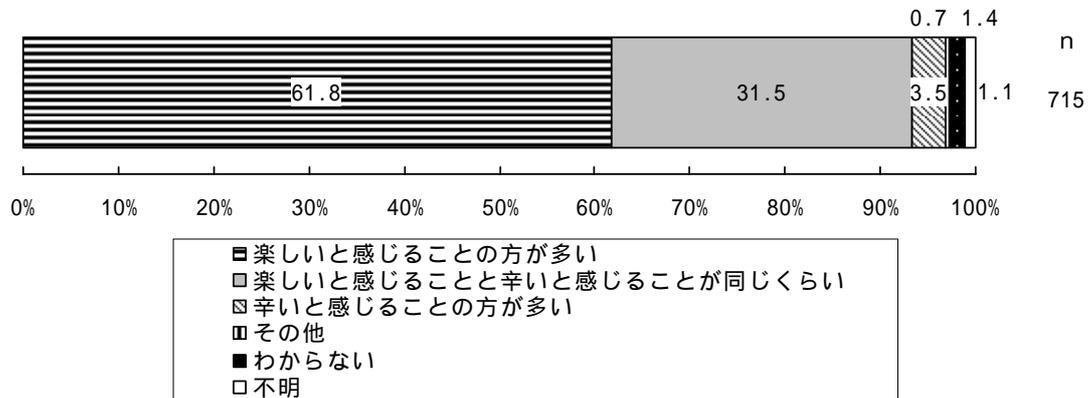


12 子育てについての不安感や負担感

問 22 子育ての感想

SA

子育てに関する感想としては、「楽しいと感じることの方が多い」が61.8%で最も多く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が31.5%、「辛いと感じることの方が多い」が3.5%となっている。



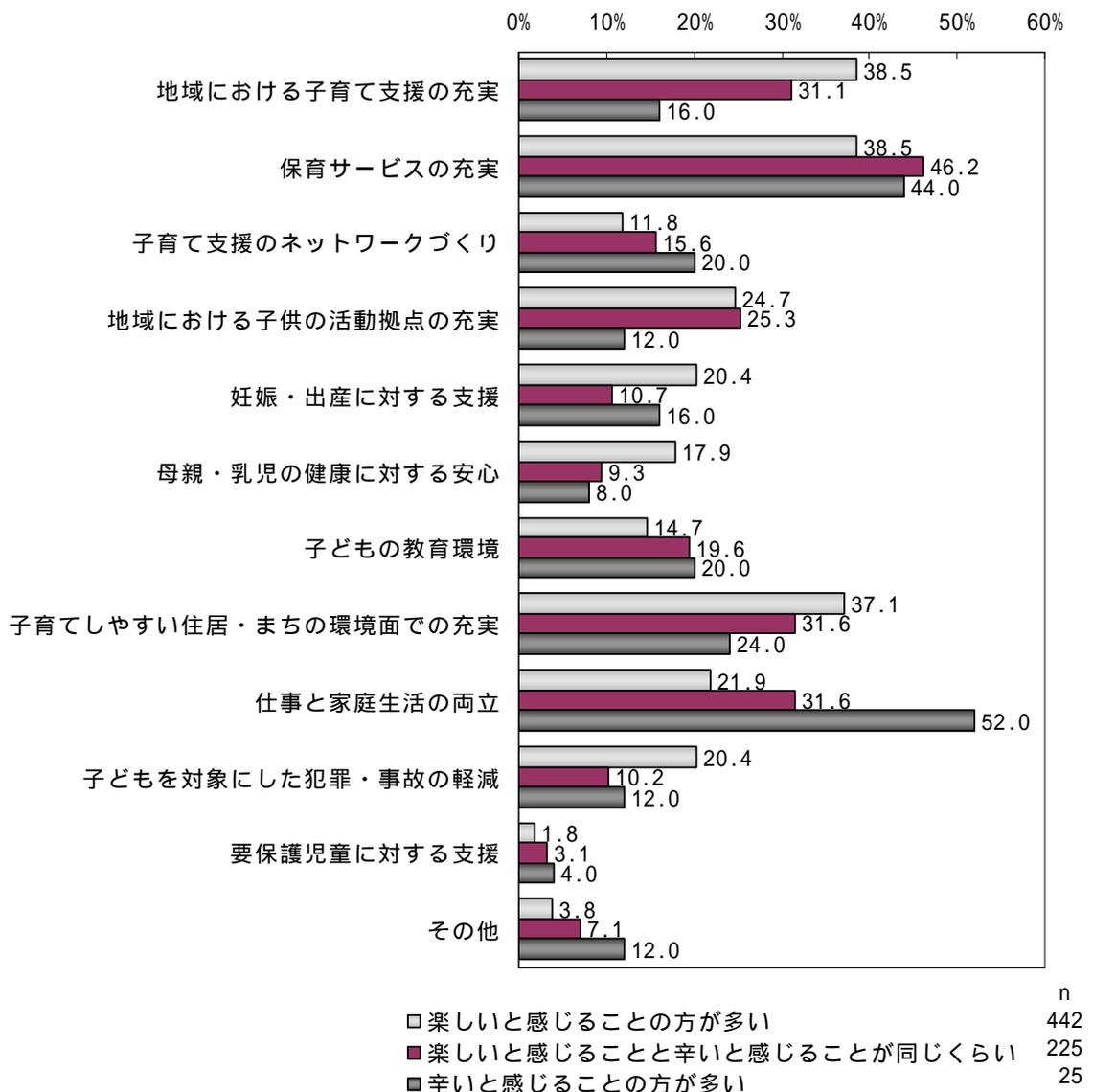
問 22 有効な支援と必要なこと.

問 22「1～3」 MA

“子育てが楽しいと感じることが多い”の人にとって有効な支援・対策は、「地域における子育て支援の充実」と「保育サービスの充実」が38.5%で最も多く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が37.1%の順となっている。

“楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい”の人にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは、「保育サービスの充実」が46.2%で最も多く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」と「仕事と家庭生活の両立」が同率の31.6%の順となっている。

“辛いと感じることの方が多”の人にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは、「仕事と家庭生活の両立」が52.0%で過半数を占めて最も多く、次いで「保育サービスの充実」が44.0%で、この2つが突出している。

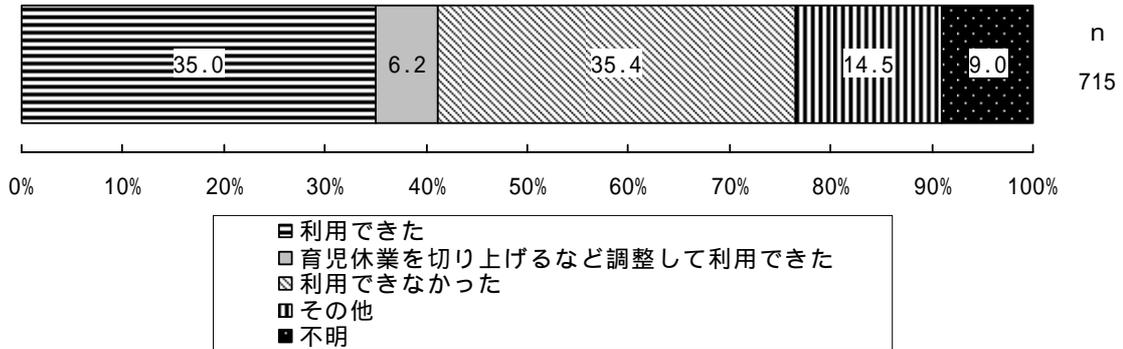


13 保育サービスの利便性について

問 23 希望どおりに保育サービスを利用できたか

SA

希望どおりの保育サービスの利用については、「利用できなかった」が 35.4%で最も多く、次いで「利用できた」35.0%、「その他」14.5%となっている。



付問 23 育児休業を切り上げるなど調整して利用できた人の具体的な内容

FA

育児休業を切り上げるなど調整して利用できた人の具体的な内容は以下のとおりである。

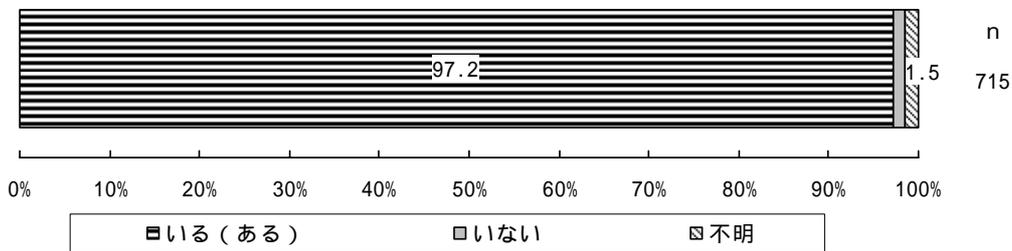
意見内容	件数
4月保育園入園のため育児休業期間を短縮した	27
事業所内保育施設を利用	1
保育園の空きができたときに育児休業期間を短縮した	1
保育園の規定では育児休業期間を1年半しか認めていないため、育児休業期間を短縮した	1
希望以外の無認可保育園を利用	1
保育園に入れることができなかった	1
保育園入所のために引っ越した	1
保育園入園のため育児休業を取得しなかった	1

14 子育ての相談について

付問 24 相談相手や相談場所の有無

SA

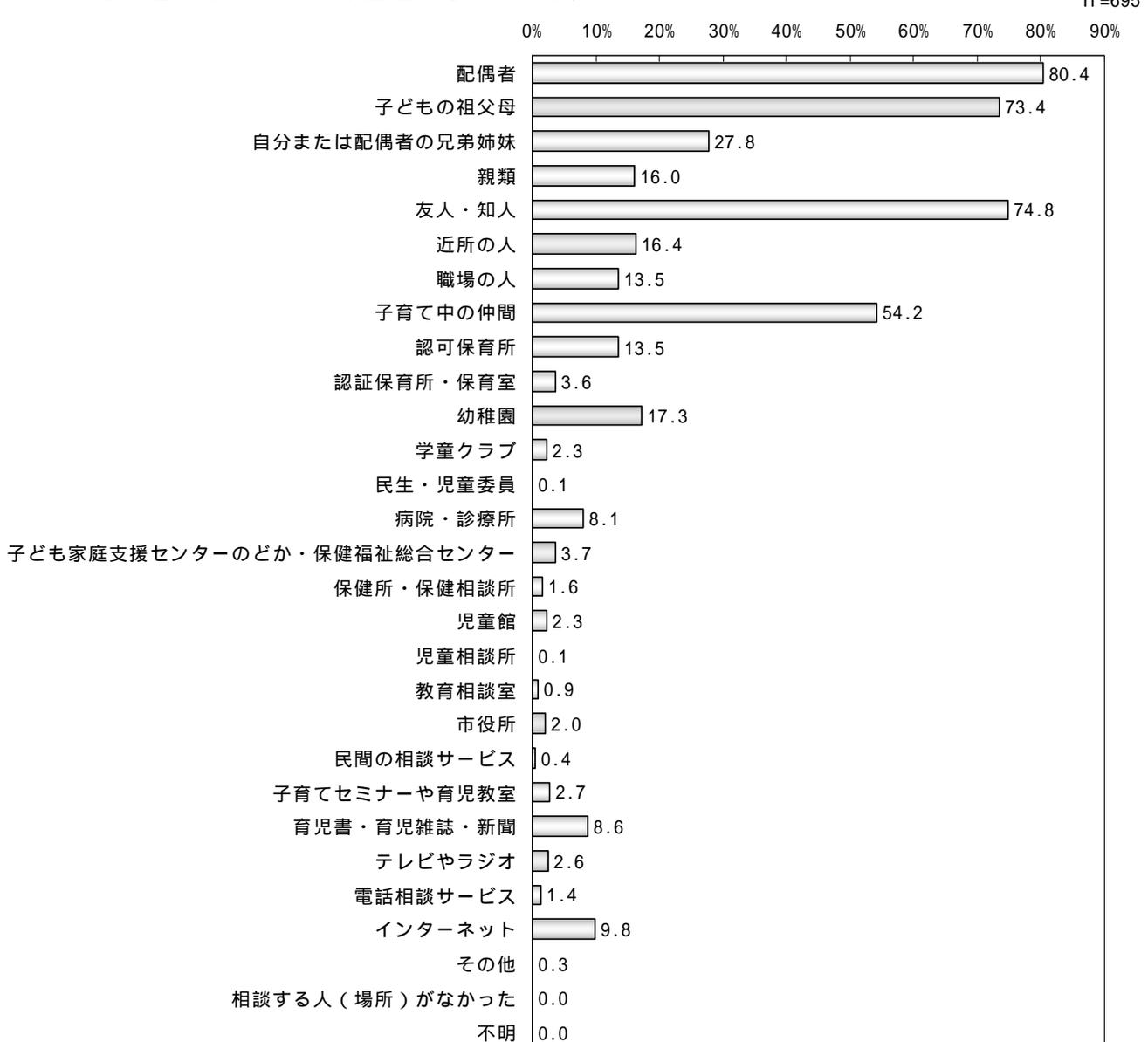
子育ての相談相手や相談場所は、「いる（ある）」が97.2%となっている。



付問 24 相談相手や相談場所

問 22 「1」 MA

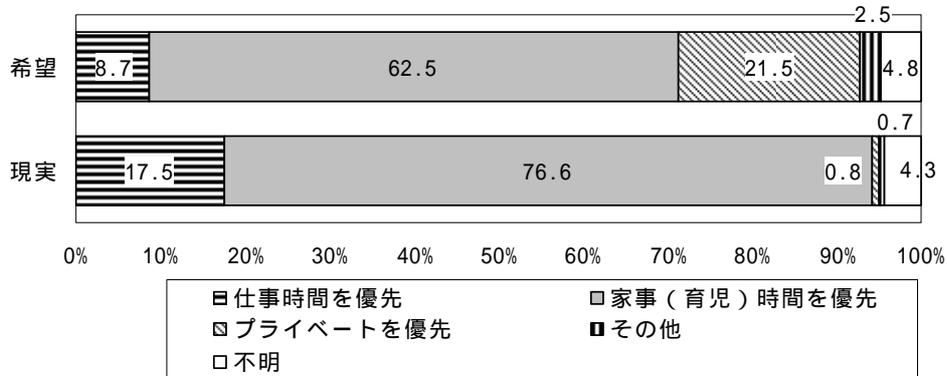
相談相手や相談場所は、「配偶者」80.4%が最も多く、次いで「友人・知人」74.8%、「子どもの祖父母」73.4%が上位となっている。



問 25 「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度 SA

「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度については、“希望”、“現実”ともに、「家事（育児）時間を優先」が最も多い。

n=715



15 妊娠・出産・子育ての感想

問 26 出産前～3歳以降の気持ち SA

母親の出産前から3歳以降の気持ちについては、「とても楽しかった」は“出産前”が42.1%で最も多く、“出産後1か月まで”が最も少ない。

	全体	とても楽しかった	やや楽しかった	ややつらかった	とてもつらかった	不明
出産前	715	301	219	141	47	7
	100.0	42.1	30.6	19.7	6.6	1.0
出産後1か月まで	715	195	185	227	93	15
	100.0	27.3	25.9	31.7	13.0	2.1
出産後～1歳まで	715	273	283	109	36	14
	100.0	38.2	39.6	15.2	5.0	2.0
1歳～2歳頃	715	284	262	80	24	65
	100.0	39.7	36.6	11.2	3.4	9.1
3歳以降	715	229	155	40	10	281
	100.0	32.0	21.7	5.6	1.4	39.3

問 26 大変だったこと

FA

大変だったこととして、挙げられた主な意見は以下のとおりである。

	大変だったこと
出産前	体調管理、つわり、上の子の世話や幼稚園等の行事、家事、経済的な問題、仕事との両立、知り合いがいないこと、帰省出産、出産への不安（マタニティブルー）、駅や住まいの階段、電車通勤
出産後 1 か月まで	産後の体調管理、不眠による睡眠不足、夜泣きや授乳などによる育児疲れ、上の子の世話（あかちゃん返り、幼稚園や保育園の送迎）、育児ストレス、家事、経済的な問題、自分の時間がとれないこと、配偶者が協力的でないこと、子どもの体調、成長、知恵遅れ
出産後～1歳まで	健康に育ってくれるか不安だった、産後の体調管理、不眠、アレルギー、アトピー、離乳食、介護をしながらの育児、夜泣きや授乳などによる育児疲れ、上の子の世話、子どもの病気、家事、仕事との両立、夫の世話、障害があったこと、子連れのお出かけ
1歳～2歳頃	育児ストレス、子どもの世話、自分の勉強時間がない、夫の世話、上の子の世話（幼稚園の送り迎えや行事）、家事、子どもの病気（アトピー、アレルギー）、子どものしつけ、人見知り、後追い、夜泣き、おむつはずし、外遊び、子ども同士のけんか、仕事との両立、経済的な問題、一人での子育て
3歳以降	子どもの世話、自分の体調、幼稚園・保育園での過ごし方、幼稚園情報の不足、家事、お母さん同士の付き合い、子どもの病気（アトピー、アレルギー）、子どものしつけ、人見知り、おむつはずし・おねしょ、外遊び、子ども同士のけんか、仕事との両立、経済的な問題、一人での子育て、遊び場・遊び場不足・雨の日の遊び場、遊びの相手、子供の障害、保育園・幼稚園の送迎

問 26 大変だったときに、一番支えになってくれた人

FA

一番支えになってくれた人で、挙げられた主な意見は次のとおりである。

	一番支えになってくれた人
出産前	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、職場の人、おなかの赤ちゃん、上の子、経験者、地域の方の声かけ、自分自身、いない
出産後 1 か月まで	配偶者、親、兄弟、友人、職場の人、近所の人、市の保健師さん、幼稚園の先生、生協の助け合いサービス、誰もいない
出産後～1歳まで	配偶者、親、姉妹、祖父母、親戚、友人、職場の人、近所の人、医師・助産婦、保育園、我が子、テレビ、インターネットでの情報交換、職場の雇用体制の確立、宅配サービス、離乳食を売っているお店、「のどか」の先生方。1ヶ月・3ヶ月健診の時の市の相談員、いない
1歳～2歳頃	配偶者、親、姉妹、親類、祖父母、友人、職場の人、近所の人、医師・看護師、保育園の職員、我が子、上の子、幼児教室、カウンセラー、市の相談窓口・幼児教室、いない
3歳以降	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、親戚、職場の人、近所の人、医師・看護師、医療機関の心理の先生、保育園・保育園の職員さん、児童館、我が子、上の子、サークルメンバー、市の相談窓口、西東京市教育相談室、ケアマネージャー、いない

問 26 一番支えになって欲しかった人 FA

一番支えになって欲しかった人で、挙げられた主な意見は次のとおりである。

	支えて欲しかった人
出産前	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、通勤中の電車の中の人、職場の人、行政、社会全体、上の子、医師・助産士
出産後1か月まで	配偶者、親、姉妹、祖父母、上の子ども、育児のベテランの人、友人、行政のヘルパー、助産師さん、買い物・送迎などの支援サービス、地域でのサポート、誰でも良い、近所の人
出産後～1歳まで	配偶者、親、姉妹、友人、行政、保育園、一時保育、近所の人、職場の人、なし
1歳～2歳頃	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、行政、近所の人、保育園・幼稚園の先生、医師、職場の上司・同僚、ベビーシッター、病後児サービス、保育ママさん、ない
3歳以降	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、行政、保育園・幼稚園の職員、医師・医療機関、社会全体、専門家、第三者サービス、保育園などの一時保育、職場の友人・上司、ひいらぎの先生と友人、誰もいない、特になし

問 26 出産前～3歳以降に欲しい支援 MA

母親の出産前から3歳以降に欲しい支援は、“出産前”と“出産後1か月まで”は「家事援助」が最も多く、“出産後1歳まで”と“1～2歳頃”と“3歳以降”は「一時保育」が最も多い。

	全体	一時保育	個別訪問	家事援助	相談	その他	不明
出産前	715	119	54	252	115	113	194
	100.0	16.6	7.6	35.2	16.1	15.8	27.1
出産後1か月まで	715	151	94	261	120	90	176
	100.0	21.1	13.1	36.5	16.8	12.6	24.6
出産後～1歳まで	715	223	71	198	105	104	203
	100.0	31.2	9.9	27.7	14.7	14.5	28.4
1歳～2歳頃	715	202	39	138	110	111	268
	100.0	28.3	5.5	19.3	15.4	15.5	37.5
3歳以降	715	118	20	69	67	70	448
	100.0	16.5	2.8	9.7	9.4	9.8	62.7

問 27 子どもの育ち方について SA

子どもの育ち方については、“当然”と考えているのは、「子ども同士の喧嘩」や「他の子と違うことをする」が多く、“絶対受け入れられない”と考えているのは、「友達の遊んでいるものを奪う」が最も多い。

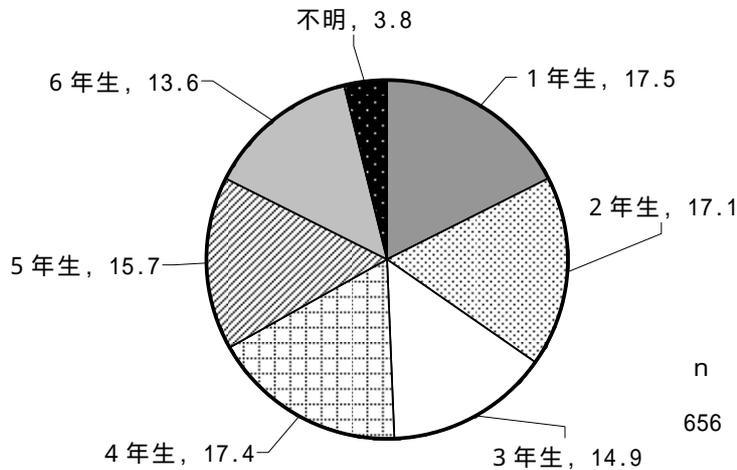
	全体	当然	やむをえない	受け入れられない	絶対受け入れられない	不明
子ども同士の喧嘩	715	448	259	2	0	6
	100.0	62.7	36.2	0.3	0.0	0.8
ひっかき傷、噛み跡	715	66	509	108	19	13
	100.0	9.2	71.2	15.1	2.7	1.8
他の子と違うことをする	715	285	385	33	2	10
	100.0	39.9	53.8	4.6	0.3	1.4
友達の遊んでいる物を奪う	715	84	393	194	34	10
	100.0	11.7	55.0	27.1	4.8	1.4
言い聞かせてもわからない	715	75	434	172	22	12
	100.0	10.5	60.7	24.1	3.1	1.7

第3章 小学校児童調査集計結果

1 調査対象者の属性と家族の状況

問1 年齢（学年）

【SA】

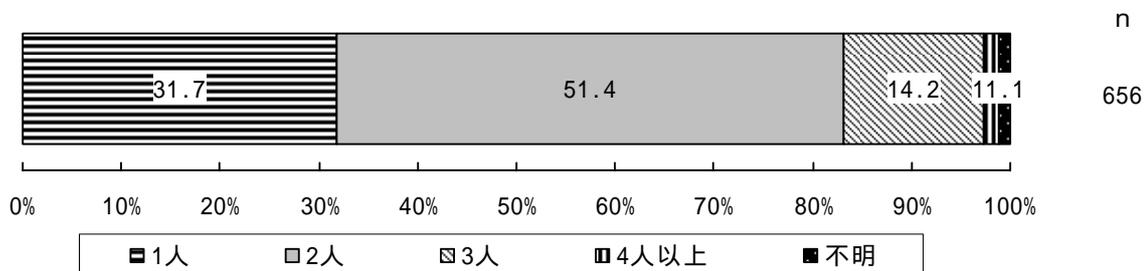


No.	カテゴリー名	n	%
1	1年生	115	17.5
2	2年生	112	17.1
3	3年生	98	14.9
4	4年生	114	17.4
5	5年生	103	15.7
6	6年生	89	13.6
	不明	25	3.8
	全体	656	100.0

問2 子どもの人数

【SA】

子どもの数は「2人」が51.4%で過半数を占めて最も多く、次いで、「1人」31.7%、「3人」14.2%、「4人以上」11.1%の順となった。



末子の年齢は、「9～12歳未満」が49.5%、「6～9歳未満」が42.0%である。

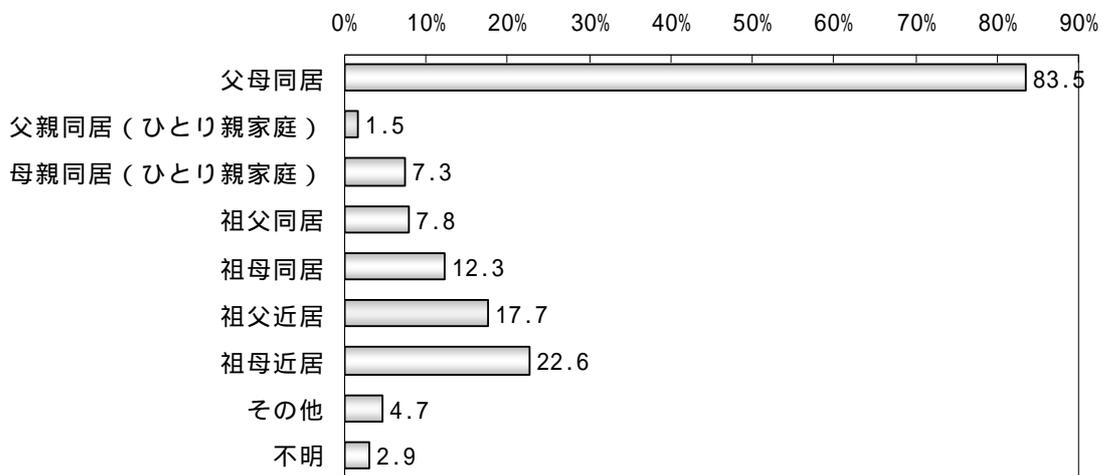
No.	カテゴリー名	n	%
1	0～3歳未満	0	0.0
2	3～6歳未満	1	0.2
3	6～9歳未満	185	42.0
4	9～12歳未満	218	49.5
	不明	36	8.2
	非該当	216	
	全体	440	100.0

問3 同居・近居の家族の状況 【MA】

同居者は「父母同居」が83.5%で最も多く、次いで「祖母近居」22.6%、「祖父近居」17.7%の順となっている。

ひとり親家庭は、「父親同居（ひとり親家庭）」1.5%、「母親同居（ひとり親家庭）」7.3%で合わせると8.8%となっている。

n=656



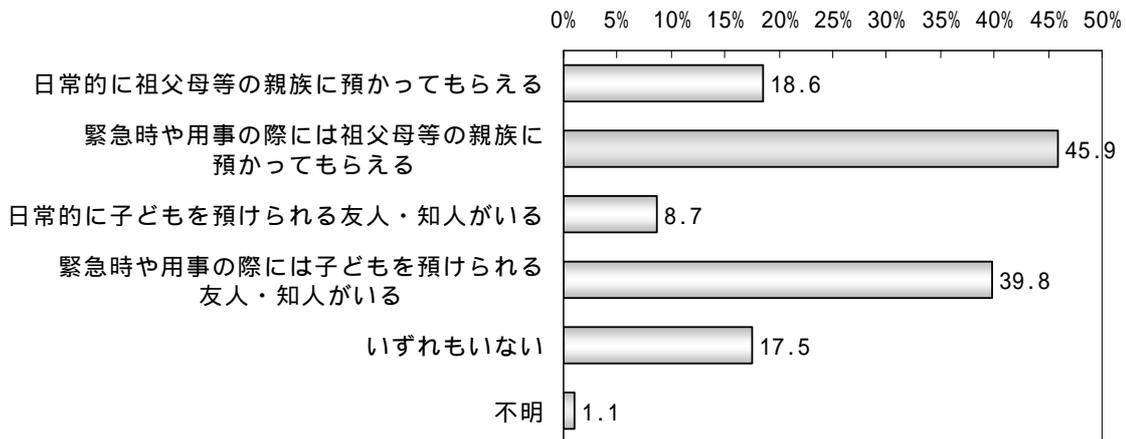
	全体	問1 生年月							
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明	
合計	656 100.0	115 100.0	112 100.0	98 100.0	114 100.0	103 100.0	89 100.0	25 100.0	
問3 家族の状況	父母同居	548 83.5	101 87.8	99 88.4	83 84.7	95 83.3	74 71.8	77 86.5	19 76.0
	父親同居（ひとり親家庭）	10 1.5	0 0.0	4 3.6	1 1.0	1 0.9	1 1.0	3 3.4	0 0.0
	母親同居（ひとり親家庭）	48 7.3	6 5.2	5 4.5	4 4.1	9 7.9	17 16.5	6 6.7	1 4.0
	祖父同居	51 7.8	7 6.1	9 8.0	9 9.2	6 5.3	9 8.7	10 11.2	1 4.0
	祖母同居	81 12.3	10 8.7	15 13.4	16 16.3	7 6.1	17 16.5	14 15.7	2 8.0
	祖父近居	116 17.7	28 24.3	17 15.2	15 15.3	22 19.3	19 18.4	12 13.5	3 12.0
	祖母近居	148 22.6	31 27.0	19 17.0	22 22.4	31 27.2	24 23.3	18 20.2	3 12.0
	その他	31 4.7	5 4.3	2 1.8	6 6.1	6 5.3	6 5.8	6 6.7	0 0.0
	不明	19 2.9	3 2.6	3 2.7	3 3.1	3 2.6	4 3.9	1 1.1	2 8.0

問4 子どもを預かってもらえる人の状況

【MA】

子どもを預かってもらえる人の状況については、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が45.9%と最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」39.8%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」18.6%、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」8.7%の順で、預かってもらえるあてがない方は17.5%となっている。

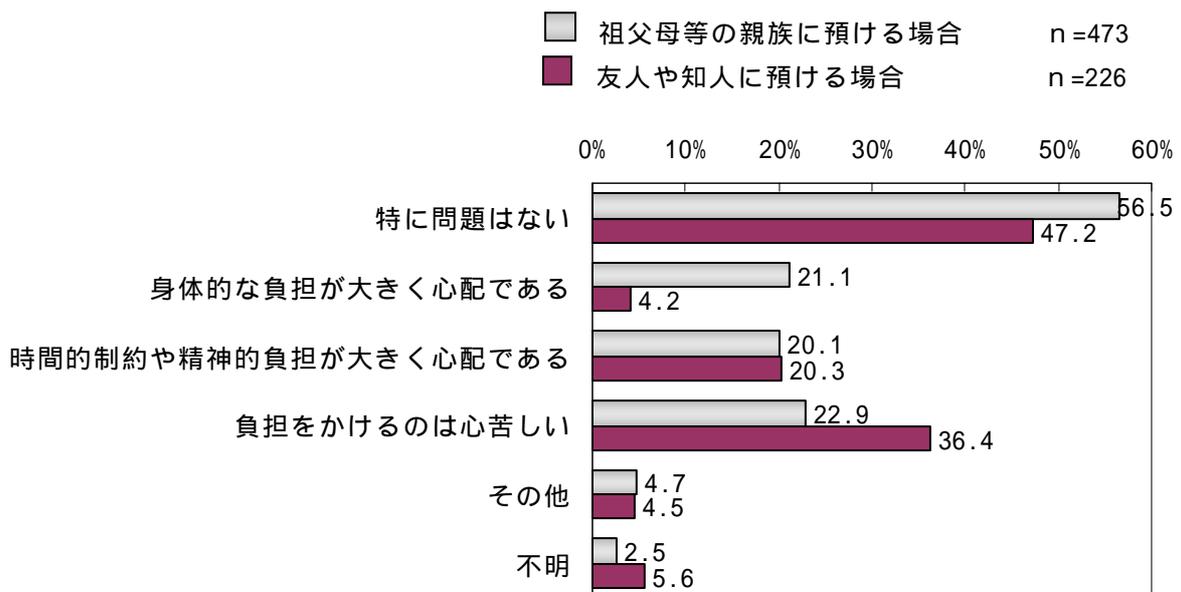
n=656



問4-1,2 預ける場合の困難度

問4「1」「2」 SA

預ける場合の困難度については、「特に問題はない」は“祖父母等の親族”では56.5%、“友人・知人”では47.2%で最も多いが、「負担をかけるのは心苦しい」は“友人・知人”では36.4%で“祖父母等の親族”の22.9%に比べ高い割合となっている。



問5 主に子どもの世話をする人 SA

子どもの世話をする人は「主に母親」が92.2%で圧倒的に多く、「主に父親」や「主に祖父母」は1%台に過ぎない。

No.	カテゴリー名	n	%
1	主に父親	7	1.1
2	主に母親	605	92.2
3	主に祖父母	10	1.5
4	その他	3	0.5
	不明	31	4.7
	全体	656	100.0

問6 居住地区 SA

居住地区は、「芝久保町」が11.3%で最も多く、次いで、「谷戸町」9.8%、「柳沢」7.5%の順である。

なお、5ブロック別にみると、Cブロックが178人(27.1%)で最も多く、Bブロックが80人(12.2%)で最も少ない。

各ブロックの学年別児童の割合は、低学年はBブロックが最も多く、高学年はAブロックが最も多い。

No.	カテゴリー名	n	%
1	田無町	30	4.6
2	南町	38	5.8
3	西原町	14	2.1
4	緑町	10	1.5
5	谷戸町	64	9.8
6	北原町	12	1.8
7	向台町	47	7.2
8	芝久保町	74	11.3
9	新町	27	4.1
10	柳沢	49	7.5
11	東伏見	17	2.6
12	保谷町	30	4.6
13	富士町	29	4.4
14	中町	21	3.2
15	東町	23	3.5
16	泉町	28	4.3
17	住吉町	28	4.3
18	ひばりが丘	18	2.7
19	ひばりが丘北	11	1.7
20	栄町	13	2.0
21	北町	22	3.4
22	下保谷	19	2.9
	不明	32	4.9
	全体	656	100.0

No.	カテゴリー名	n	%
1	Aブロック	105	16.0
2	Bブロック	80	12.2
3	Cブロック	178	27.1
4	Dブロック	143	21.8
5	Eブロック	118	18.0
	不明	32	4.9
	全体	656	100.0

		全体	問6 居住地区(総合)					不明
			Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	
合計		656	105	80	178	143	118	32
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
学年	1年生	115	23	14	25	28	22	3
		17.5	21.9	17.5	14.0	19.6	18.6	9.4
	2年生	112	11	15	35	26	21	4
		17.1	10.5	18.8	19.7	18.2	17.8	12.5
	3年生	98	18	13	32	18	14	3
		14.9	17.1	16.3	18.0	12.6	11.9	9.4
	4年生	114	21	10	33	22	19	9
		17.4	20.0	12.5	18.5	15.4	16.1	28.1
5年生	103	12	16	25	23	23	4	
	15.7	11.4	20.0	14.0	16.1	19.5	12.5	
6年生	89	18	9	20	24	14	4	
	13.6	17.1	11.3	11.2	16.8	11.9	12.5	
不明	25	2	3	8	2	5	5	
	3.8	1.9	3.8	4.5	1.4	4.2	15.6	

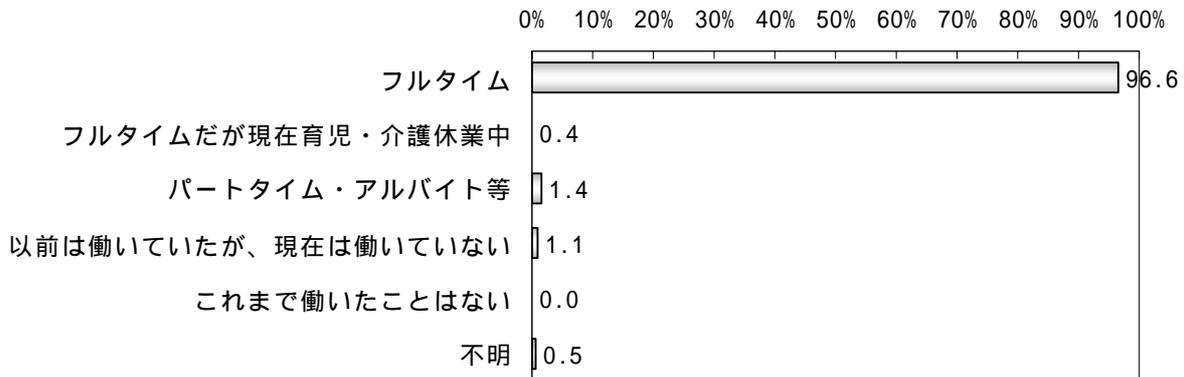
2 保護者の就労状況について

問7 現在の就労状況

(1) 父親の就労状況 (SA)

父親の就労状況は、「フルタイム」が96.6%、次いで「パートタイム・アルバイト等」1.4%となっている。

n=558



“フルタイム”の父親の週あたりの就労時間は、「49～60時間未満」が27.8%、次いで「60時間以上」26.7%で、平均では49.0時間となっている。また、帰宅時間は、「20～22時」が35.8%と最も多く、次いで「22～24時」23.9%、「18～20時」17.3%の順である。

父親の就労時間 / 週

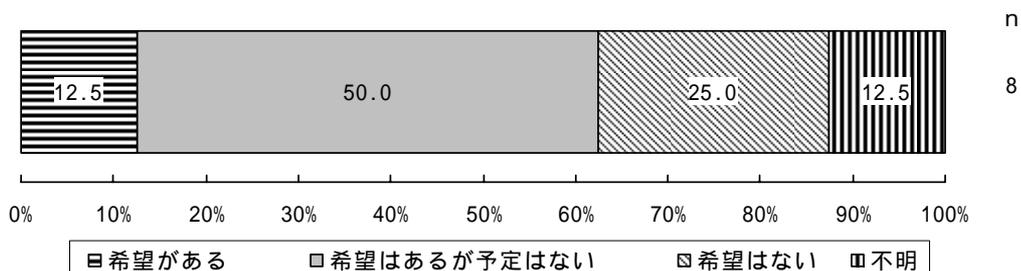
No.	カテゴリー名	n	%
1	30時間未満	47	8.7
2	30～43時間	85	15.8
3	43～49時間	58	10.8
4	49～60時間	150	27.8
5	60時間以上	144	26.7
	不明	55	10.2
	非該当	117	
	全体	539	100.0

父親の帰宅時間

No.	カテゴリー名	n	%
1	8～16時	26	4.8
2	16～18時	7	1.3
3	18～20時	93	17.3
4	20～22時	193	35.8
5	22～24時	129	23.9
6	0～8時	19	3.5
	不明	72	13.4
	非該当	117	
	全体	539	100.0

“パートタイム・アルバイト等”の父親の週あたりの就労日数は、平均で4.6日、1日当たりの就労時間は、6.6時間である。

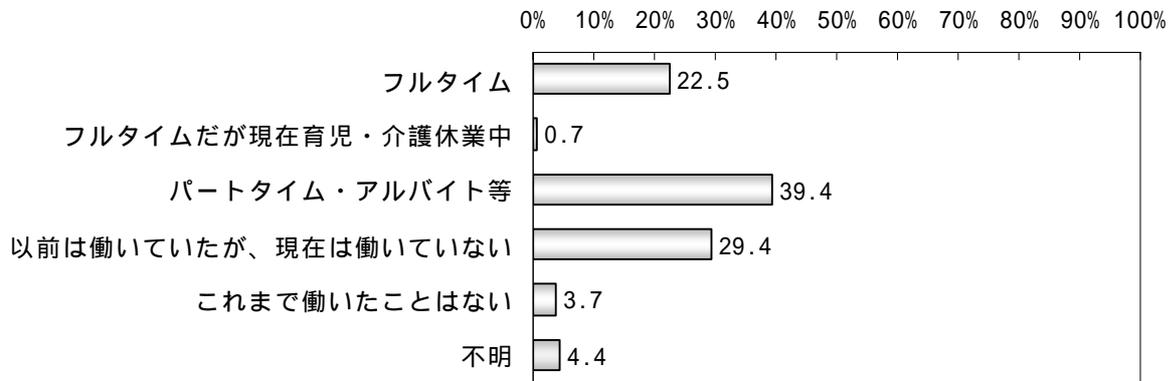
“パートタイム・アルバイト等”の父親のフルタイムへの転換希望は、対象となる8人中、「希望があるが予定はない」が4人、「希望はない」が2人、「希望がある」が1人である。



(2) 母親の就労状況(SA)

母親の就労状況は、「パートタイム・アルバイト等」が39.4%、次いで「以前は働いていたが、現在は働いていない」29.4%。「フルタイム」22.5%となっている。

n=558



“フルタイム”の母親の週あたりの就労時間は、「30～43時間未満」が59.0%、次いで「43～49時間未満」16.4%で、平均では37.6時間となっている。また、帰宅時間は、「18～20時」が63.4%と最も多く、次いで「20～22時」が14.9%である。

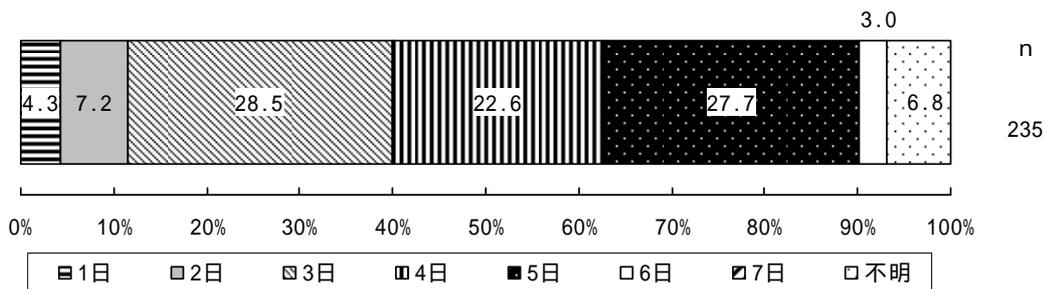
母親の就労時間 / 週

No.	カテゴリー名	n	%
1	30時間未満	15	11.2
2	30～43時間	79	59.0
3	43～49時間	22	16.4
4	49～60時間	9	6.7
5	60時間以上	2	1.5
	不明	7	5.2
	非該当	522	
	全体	134	100.0

母親の帰宅時間

No.	カテゴリー名	n	%
1	8～16時	4	3.0
2	16～18時	10	7.5
3	18～20時	85	63.4
4	20～22時	20	14.9
5	22～24時	2	1.5
6	0～8時	2	1.5
	不明	11	8.2
	非該当	522	
	全体	134	100.0

“パートタイム・アルバイト等”の母親の週あたりの就労日数は、「3日」が28.5%で最も多く、平均4.3日である。また、1日当たりの就労時間は、平均5.0時間である。



“パートタイム・アルバイト等”の母親のフルタイムへの転換希望は、「希望はない」が40.9%、「希望はあるが予定はない」が24.7%、「希望がある」が12.8%である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	希望がある	30	12.8
2	希望はあるが予定はない	58	24.7
3	希望はない	96	40.9
	不明	51	21.7
	非該当	421	
	全体	235	100.0

問8 未就労の母親の就労希望

問7(2)「4」「5」 SA

現在未就労の母親の今後の就労希望については、「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」が41.6%で最も多く、次いで、「有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」が33.5%、「無」が21.3%である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)	66	33.5
2	有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)	82	41.6
3	無	42	21.3
	不明	7	3.6
	非該当	459	
	全体	197	100.0

問8-1 希望する就労形態

問8「1」「2」 SA

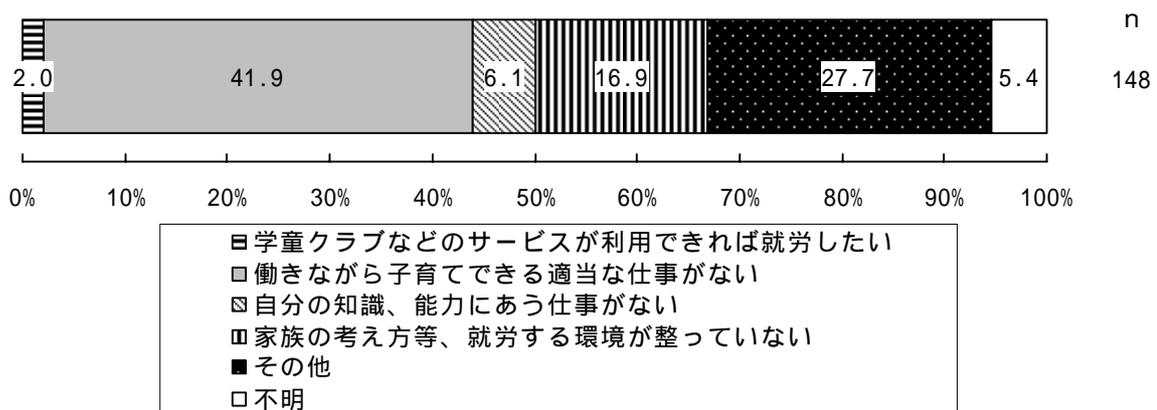
就労希望のある方が望む就労形態としては、「パートタイム、アルバイト等」が86.5%、「フルタイム」が8.8%である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	フルタイムによる就労	13	8.8
2	パートタイム、アルバイト等による就労	128	86.5
	不明	7	4.7
	非該当	508	
	全体	148	100.0

問8-2 未就労の理由

問8「1」「2」 SA

就労を希望しながら現在は働いていない理由については、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が41.9%で最も多く、次いで「その他」が27.7%である。



問8-3 一番小さい子が何歳になったときに就労を希望するか

問8「2」 NA

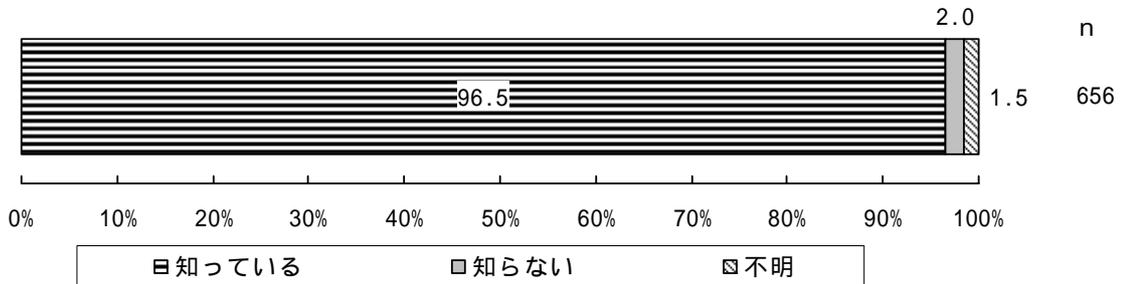
就労を希望する時期について末子の到達年齢として聞いたところ、「10歳」と「13歳」が同率の31.7%で最も多く、平均では11.6歳となっている。

3 学童クラブの利用について

問9 学童クラブの認知度

SA

学童クラブの認知度は、「知っている」が96.5%と高い。



問9-1 学童クラブの利用状況

SA

学童クラブの利用状況は、「利用している」16.0%、「利用していない」82.3%である。

学年別では「利用している」は“1年生”の27.8%が最も多く、4年生以上の利用率は1割未満となっている。

	全体	問1 生年月						
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明
合計	656	115	112	98	114	103	89	25
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
問9-1 学童クラブの利用状況	利用している	105	32	31	21	10	3	4
		16.0	27.8	27.7	21.4	8.8	2.9	4.5
	利用していない	540	80	81	76	102	98	83
	82.3	69.6	72.3	77.6	89.5	95.1	93.3	
不明	11	3	0	1	2	2	2	
	1.7	2.6	0.0	1.0	1.8	1.9	2.2	

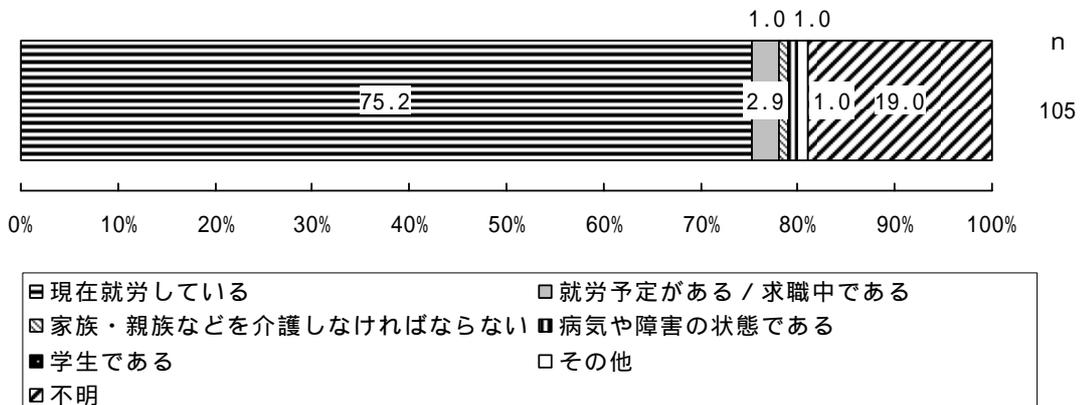
問9-2 学童クラブの利用日数と利用理由

問9-1「1」

SA

学童クラブの利用日数は、平均で4.2日/週、うち土曜日は61.9%が利用している。

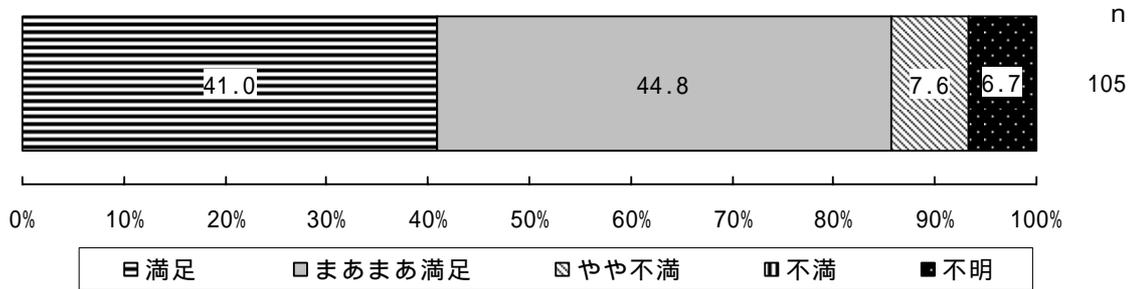
学童クラブを利用している理由については、「現在就労している」が75.2%で最も多く、次いで「就労予定がある/休職中である」が2.9%で、就労による理由がほとんどとなっている。



問 9-3 学童クラブの満足度

問 9-1 「1」 SA

学童保育の満足度は、「満足」が 41.0%、「まあまあ満足」が 44.8%で合わせた満足度は8割以上と高く、「不満」と回答した人は一人もいない。



問 9-4 学童クラブ未利用の理由

問 9-1 「2」 SA

学童クラブを利用していない理由は、「現在就労していないから」が 40.4%で最も多く、次いで、「その他」が 31.3%、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 14.8%の順となっている。

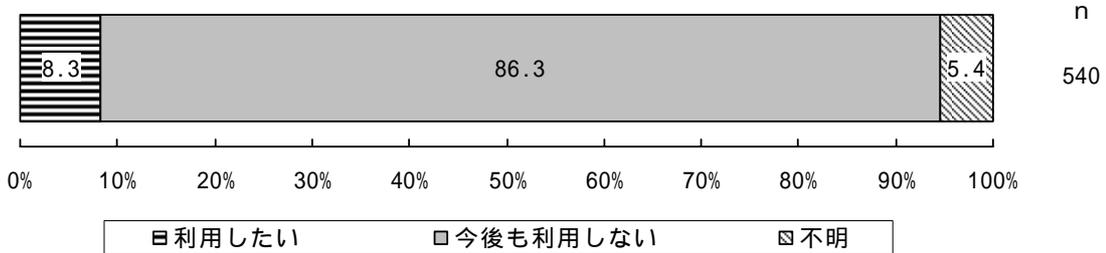
No.	カテゴリー名	n	%
1	現在就労していないから	218	40.4
2	就労しているが、学童クラブを知らなかったから	4	0.7
3	就労しているが、近くに学童クラブがないから	1	0.2
4	就労しているが、学童クラブに空きがないから	3	0.6
5	就労しているが、学童クラブの開所時間が短いから	0	0.0
6	就労しているが、利用料がかかるから	4	0.7
7	就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから	33	6.1
8	就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから	80	14.8
9	就労しているが、他の施設に預けているから	0	0.0
10	その他	169	31.3
	不明	28	5.2
	非該当	116	
	全体	540	100.0

問 9-5 学童クラブの今後の利用意向

問 9-1「2」 SA

学童クラブの今後の利用意向については、「利用したい」は 8.3%、「今後も利用しない」が 86.3%となっている。

学年別では、低学年の利用意向が高く、利用希望者の平均利用希望日数は、3.1 日 / 週となっている。



	全体	問 1 生年月							
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明	
合計	540 100.0	80 100.0	81 100.0	76 100.0	102 100.0	98 100.0	83 100.0	20 100.0	
問 9 - 5 学 童クラブの利 用意向	利用したい	45 8.3	19 23.8	10 12.3	5 6.6	4 3.9	4 4.1	2 2.4	1 5.0
	今後も利用しない	466 86.3	55 68.8	69 85.2	67 88.2	97 95.1	86 87.8	76 91.6	16 80.0
	不明	29 5.4	6 7.5	2 2.5	4 5.3	1 1.0	8 8.2	5 6.0	3 15.0

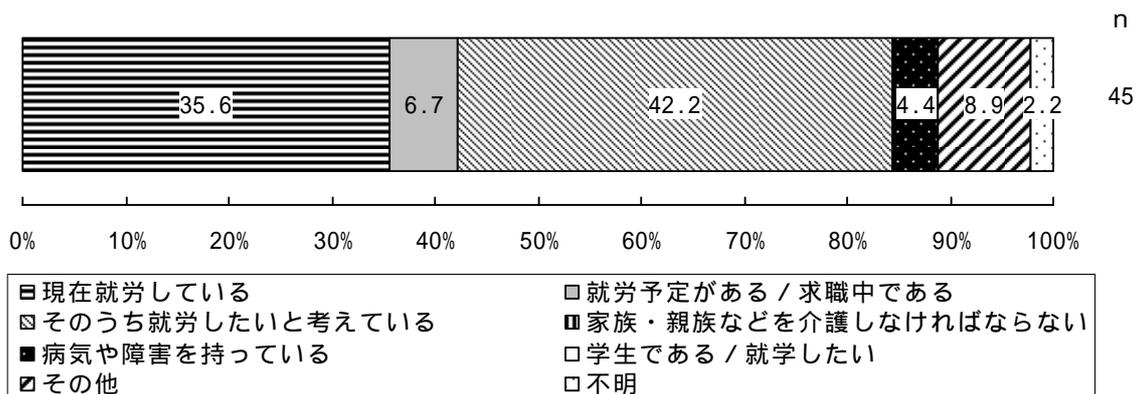
居住地区別の学童クラブの利用意向は、“ Dブロック ” が 11.9%で最も高く、“ Aブロック ” が 5.7%で最も低い。

	全体	問 6 居住地区 (総合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	540 100.0	87 100.0	66 100.0	150 100.0	118 100.0	98 100.0	21 100.0	
問 9 - 5 学 童クラブの利 用意向	利用したい	45 8.3	5 5.7	5 7.6	10 6.7	14 11.9	8 8.2	3 14.3
	今後も利用しない	466 86.3	79 90.8	58 87.9	136 90.7	96 81.4	79 80.6	18 85.7
	不明	29 5.4	3 3.4	3 4.5	4 2.7	8 6.8	11 11.2	0 0.0

問 9-6 学童クラブを利用したい理由

問 9-5「1」 SA

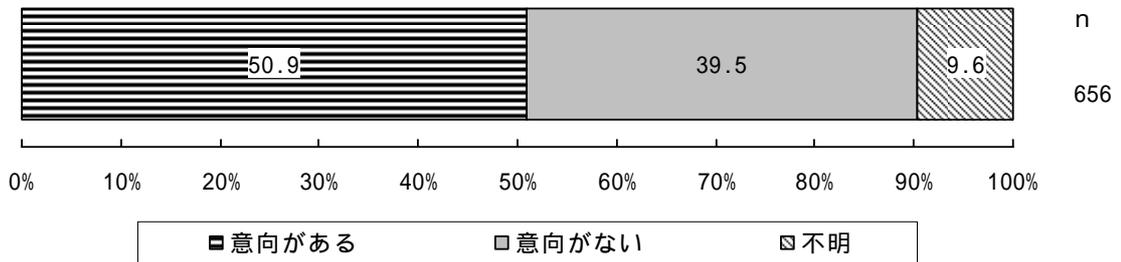
学童クラブを利用したいと考えている理由としては、「そのうち就労したいと考えている」が 42.2%で最も多く、次いで「現在就労している」35.6%、「その他」8.9%となっている。



問 9-7 放課後子ども教室の利用意向

SA

放課後子ども教室の利用意向については、「意向がある」が50.9%、「意向がない」が39.5%となっている。



利用意向がある人の、利用希望日数は、2.5 日 / 週となっている。

利用希望日数

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日	52	15.6
2	2日	123	36.8
3	3日	85	25.4
4	4日	14	4.2
5	5日	33	9.9
6	6日	0	0.0
7	7日	0	0.0
	不明	27	8.1
	非該当	322	
	全体	334	100.0

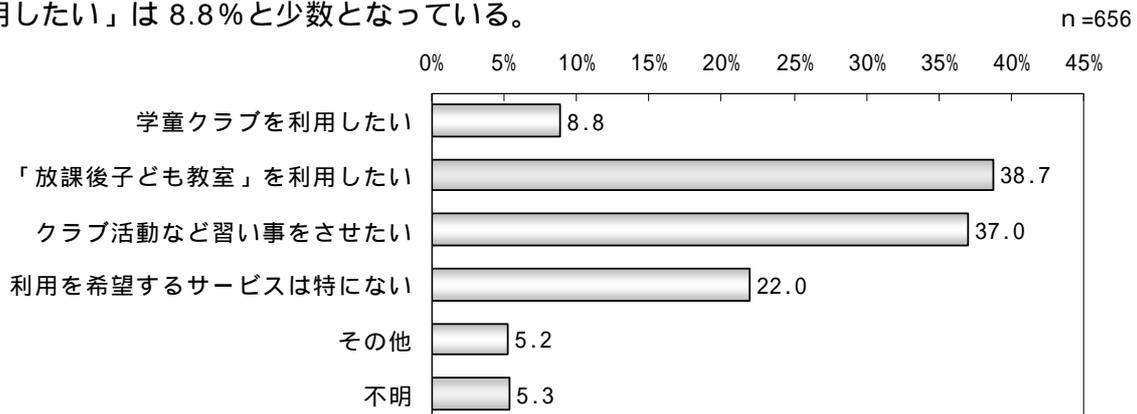
居住地区別の放課後子ども教室の利用意向は、“Bブロック”が60.0%で最も高く、“Aブロック”が38.1%で最も低い。

	全体	問6 居住地区(統合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	656 100.0	105 100.0	80 100.0	178 100.0	143 100.0	118 100.0	32 100.0	
問9-7 放課後子ども教室の利用意向	意向がある	334 50.9	40 38.1	48 60.0	95 53.4	75 52.4	57 48.3	19 59.4
	意向がない	259 39.5	54 51.4	29 36.3	67 37.6	54 37.8	47 39.8	8 25.0
	不明	63 9.6	11 10.5	3 3.8	16 9.0	14 9.8	14 11.9	5 15.6

問 10 小学校4年生以降の放課後の過ごし方

SA

小学校4年生以降の放課後の過ごし方については、「放課後子ども教室を利用したい」の38.7%と「クラブ活動など習い事をさせたい」の37.0%を上げる人が多く、「学童クラブを利用したい」は8.8%と少数となっている。



利用希望学年

No.	カテゴリー名	n	%
1	1年生	1	1.7
2	2年生	0	0.0
3	3年生	0	0.0
4	4年生	8	13.8
5	5年生	2	3.4
6	6年生	41	70.7
	不明	6	10.3
	非該当	598	
	全体	58	100.0

「学童クラブを利用したい」人が利用したい学年は、6年生までが70.4%で最も多くなっている。

居住地区別の放課後の希望する過ごし方は、「学童クラブ」は“Eブロック”で最も多く、「放課後子ども教室」は“Bブロック”で最も多い。

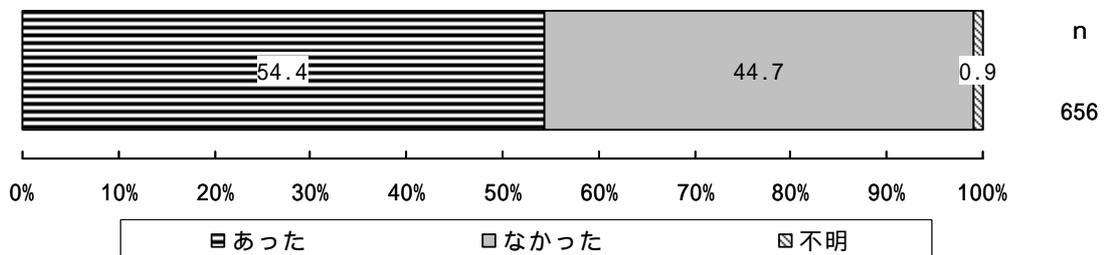
	全体	問6 居住地区(統合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	656	105	80	178	143	118	32	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問10 放課後の希望する過ごし方	学童クラブを利用したい	58	8	6	11	12	17	4
		8.8	7.6	7.5	6.2	8.4	14.4	12.5
	「放課後子ども教室」を利用したい	254	30	35	73	57	44	15
		38.7	28.6	43.8	41.0	39.9	37.3	46.9
	クラブ活動など習い事をさせたい	243	37	30	72	47	48	9
		37.0	35.2	37.5	40.4	32.9	40.7	28.1
	利用を希望するサービスは特にない	144	30	17	34	28	30	5
	22.0	28.6	21.3	19.1	19.6	25.4	15.6	
その他	34	5	4	7	12	4	2	
	5.2	4.8	5.0	3.9	8.4	3.4	6.3	
不明	35	5	3	10	9	6	2	
	5.3	4.8	3.8	5.6	6.3	5.1	6.3	

4 病児・病後児保育について

問11 過去1年間に病気やケガで学校を休んだことの有無

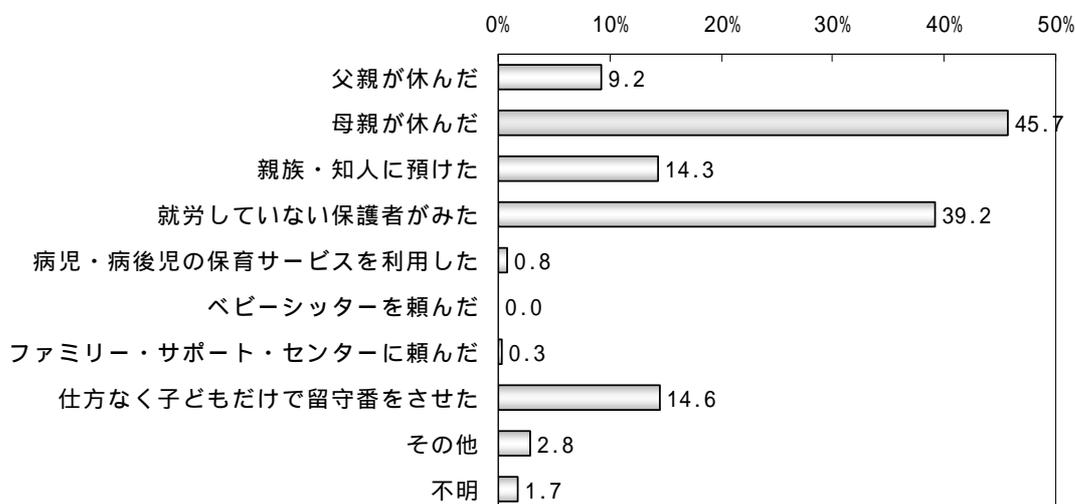
SA

過去1年間に学校を休んだことが「あった」人は54.4%、「なかった」は44.7%となっている。



問 11-1 学校を休まなければならなかった時の対処方法 問 11「1」 MA

過去1年間に学校を休まなければならなかったことがあったと回答した人の対処方法としては、「母親が休んだ」が45.7%最も多く、次いで「就労していない保護者がみた」39.2%となっている。 n=357



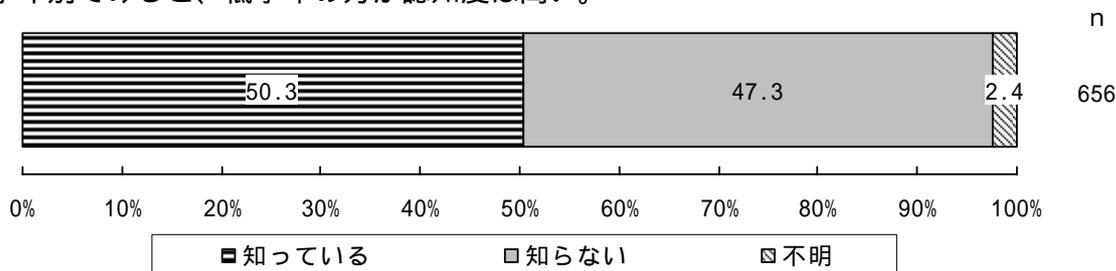
対処方法別の平均日数が最も多いものは、「親族・知人に預けた」の5.1日/年、次いで「病児・病後児の保育サービスを利用した」4.0日/年、「就労していない保護者がみた」3.7日/年、「母親が休んだ」2.8日「父親が休んだ」2.4日/年の順となっている。

問 11-2 できれば施設等に預けたいと思った日数 問 11「1~3」 MA

「父親が休んだ」「母親が休んだ」「(同居者を含む)親族・知人に預けた」と回答した人のうち、施設等に預けたいと思った日数を聞いたところ、回答があったのは30.2%であり、平均日数は0.9日となっている。

問 11-3 病後児保育室の認知度 SA

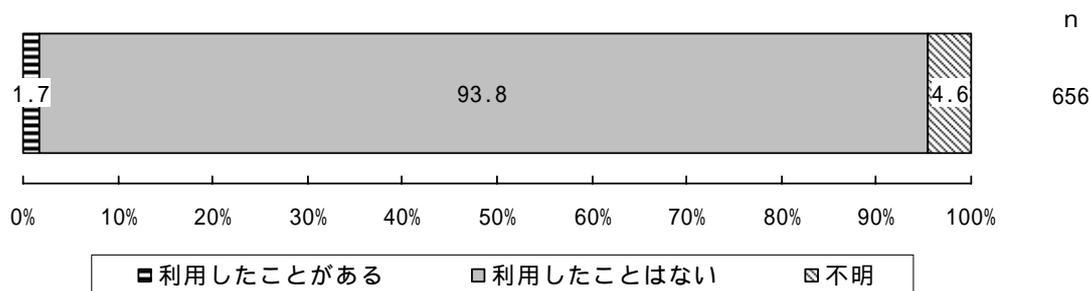
病後児保育室の認知度は、「知っている」が50.3%で、認知度は半数となっている。学年別でみると、低学年の方が認知度は高い。



	全体	問1 生年月							不明
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
合計	656	115	112	98	114	103	89	25	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問11-3 病後児保育室の認知度	知っている	330	75	60	52	58	45	33	7
		50.3	65.2	53.6	53.1	50.9	43.7	37.1	28.0
	知らない	310	38	48	45	54	55	55	15
	47.3	33.0	42.9	45.9	47.4	53.4	61.8	60.0	
不明	16	2	4	1	2	3	1	3	
	2.4	1.7	3.6	1.0	1.8	2.9	1.1	12.0	

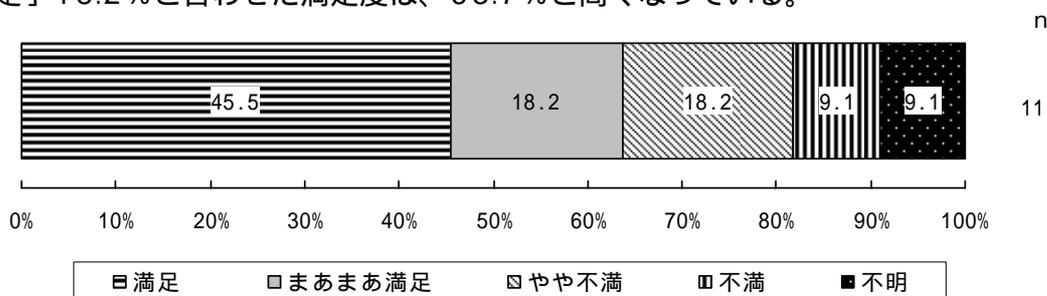
問 11-4 病後児保育室の利用経験 SA

病後児保育室の利用経験は、「利用したことがある」が 1.7%となっている。



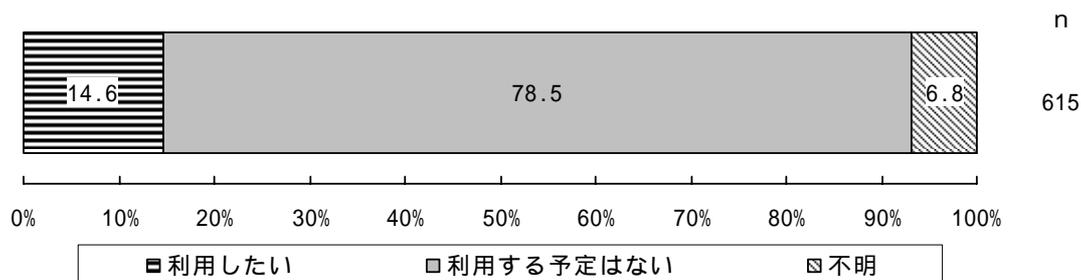
問 11-5 病後児保育室の満足度 問 11-4 「1」 SA

病後児保育室を利用したことがある人の満足度は、「満足」が 45.5%で最も多く、「まあまあ満足」18.2%と合わせた満足度は、63.7%と高くなっている。



問 11-6 病後児保育室の今後の利用意向 問 11-4 「2」 SA

病後児保育室未利用者の今後の利用意向は、「利用したい」14.6%、「利用する予定はない」78.5%となっている。



居住地区別でみると、“Cブロック”の利用意向が最も高い。

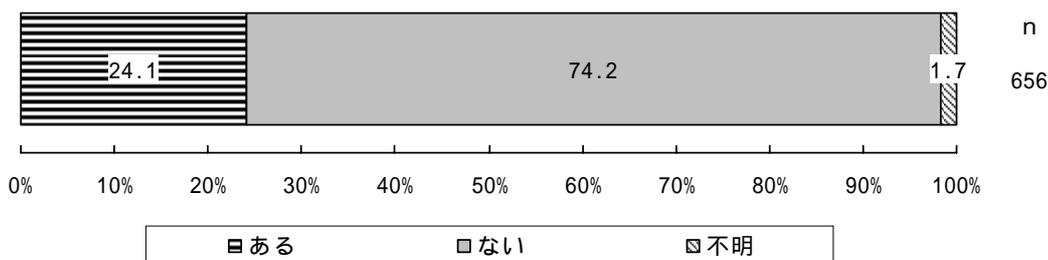
	全体	問6 居住地区(統合)					不明	
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック		
合計	615	98	73	169	133	114	28	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問11-6 病後児保育室の利用意向	利用したい	90	8	10	35	18	14	5
		14.6	8.2	13.7	20.7	13.5	12.3	17.9
	利用する予定はない	483	81	59	125	104	91	23
	78.5	82.7	80.8	74.0	78.2	79.8	82.1	
不明	42	9	4	9	11	9	0	
	6.8	9.2	5.5	5.3	8.3	7.9	0.0	

5 一時預かりについて

問 12 過去1年間に家族以外へ一時的に子どもを預けたことの有無

SA

過去1年間に家族以外に一時的に子どもを預けたことが「ある」人は24.1%で、預けた日数は平均年10.9日となっており、その内訳は「就労」が13.4日/年、「私用(買物、習い事等)リフレッシュ目的」が5.2日/年、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が3.4日/年の順となっている。



問 12-1 一時預かり(一時保育事業)の今後の利用意向

SA

一時預かり(一時保育事業)今後の利用意向は、75人の回答があり、回答者の平均日数は1.9日/月となっている。

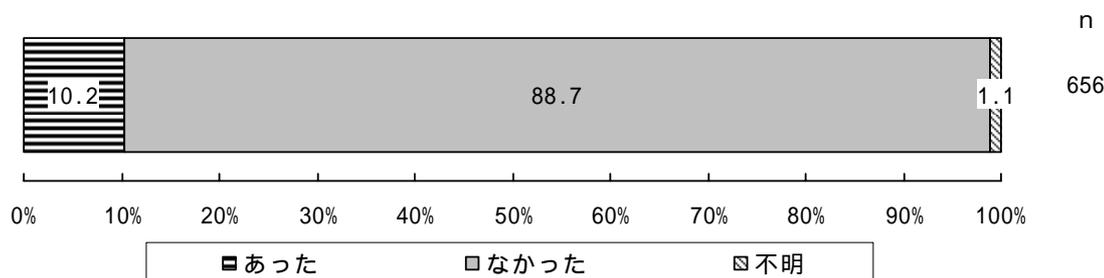
6 宿泊を伴う一時預かりについて

問 13 過去1年間に泊まりがけで家族以外に預けなければならないことの有無

SA

過去1年間に泊まりがけで家族以外に子どもを預けなければならないことが「あった(預け先が見つからなかった場合を含む)」は10.2%となっている。

学年別にみると、低学年の方が多い傾向がみられる。



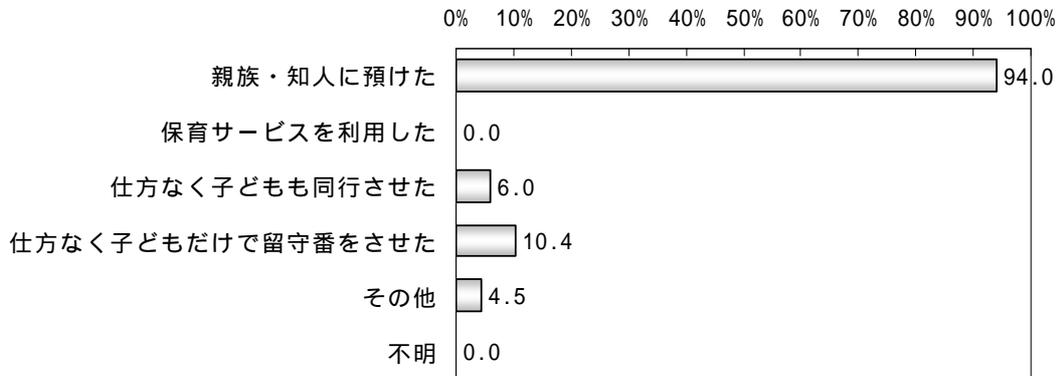
	全体	問1 生年月							不明
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
合計	656	115	112	98	114	103	89	25	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問12 家族以外への一時預かりの経験	ある	158	40	31	30	21	20	12	4
		24.1	34.8	27.7	30.6	18.4	19.4	13.5	16.0
	ない	487	75	77	68	93	79	77	18
	74.2	65.2	68.8	69.4	81.6	76.7	86.5	72.0	
不明	11	0	4	0	0	4	0	3	
	1.7	0.0	3.6	0.0	0.0	3.9	0.0	12.0	

問 13-1,2 対処方法と困難度

問 13「1」 SA

過去1年間に泊まりがけで家族以外に子どもを預けなければならないことがあった際の対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が94.0%でほとんどとなっており、その際の困難度としては、「特に困難ではない」が66.7%で過半数を占めている。

n=67



No.	カテゴリー名	n	%
1	非常に困難	4	6.3
2	どちらかという困難	14	22.2
3	特に困難ではない	42	66.7
	不明	3	4.8
	非該当	593	
	全体	63	100.0

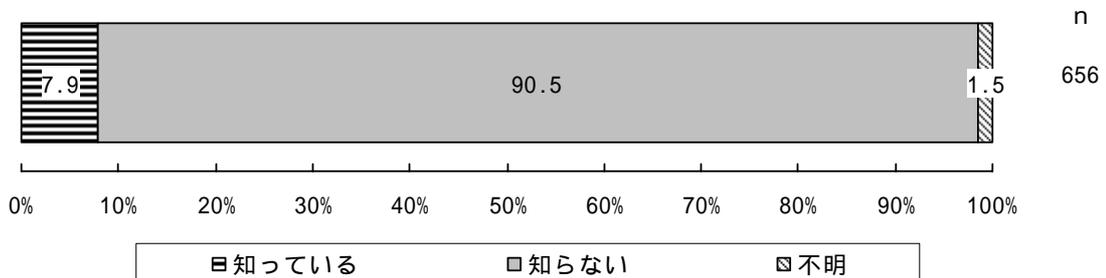
対処方法別の預けた泊数

No.	カテゴリー名	泊数		
		最大	最小	平均
1	親族・知人に預けた	30.0	1.0	8.9
2	仕方なく子どもも同行させた	-	-	-
3	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3.0	2.0	2.7
4	その他	30.0	2.0	11.0

問 13-3 宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の認知度

SA

宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の認知度は、「知っている」が7.9%で、認知度は1割未満となっている。



問 13-4,5 宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の利用経験と満足度

SA

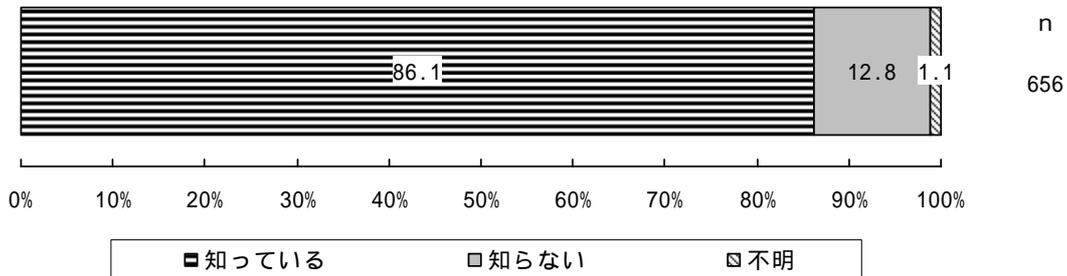
宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の利用経験がある人は一人もいない。また、そのため利用者の満足度は回答者がいない。

7 ベビーシッターの利用について

問 14 ベビーシッターの認知度

SA

ベビーシッターの認知度、「知っている」が86.1%で、認知度は8割以上となっている。



問 14-1 ベビーシッターの利用目的

MA

ベビーシッターの利用目的については、回答者は11人で、「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」と「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が5人、「その他の目的で利用している」が2人、「親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している」が1人である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している	5	0.8
2	祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	5	0.8
3	親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	1	0.2
4	その他の目的で利用している	2	0.3
	不明	645	98.3
	全体	656	100.0

問 14-2 ベビーシッターの頻度

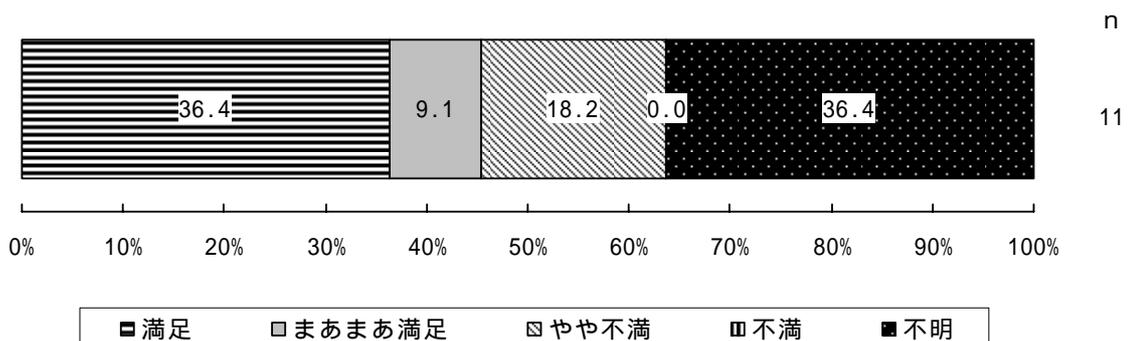
問 10-1 「10」 SA

ベビーシッターの利用頻度は、1.4日/月、1回あたり5.3時間となっている。

問 14-3 ベビーシッターの満足度

問 14-1 「1~4」 SA

ベビーシッターを利用したことがある人の満足度は、「満足」が36.4%で最も多く、「まあまあ満足」9.1%と合わせた満足度は45.5%である。

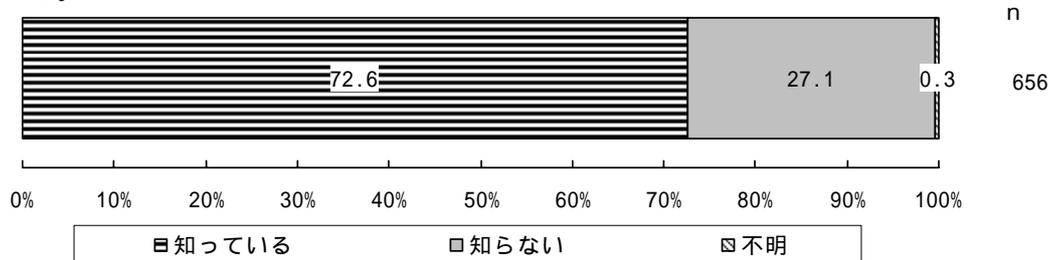


8 ファミリーサポートセンターの利用について

問 16 ファミリーサポートセンターの認知度

SA

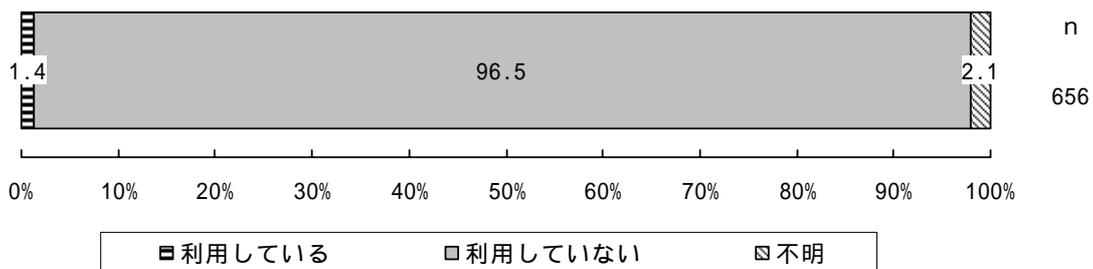
ファミリーサポートセンターの認知度は、「知っている」が72.6%で、認知度は7割以上となっている。



問 16-1 ファミリーサポートセンターの利用経験

SA

ファミリーサポートセンターの利用経験は、「利用したことがある」が9人(1.4%)と少数である。

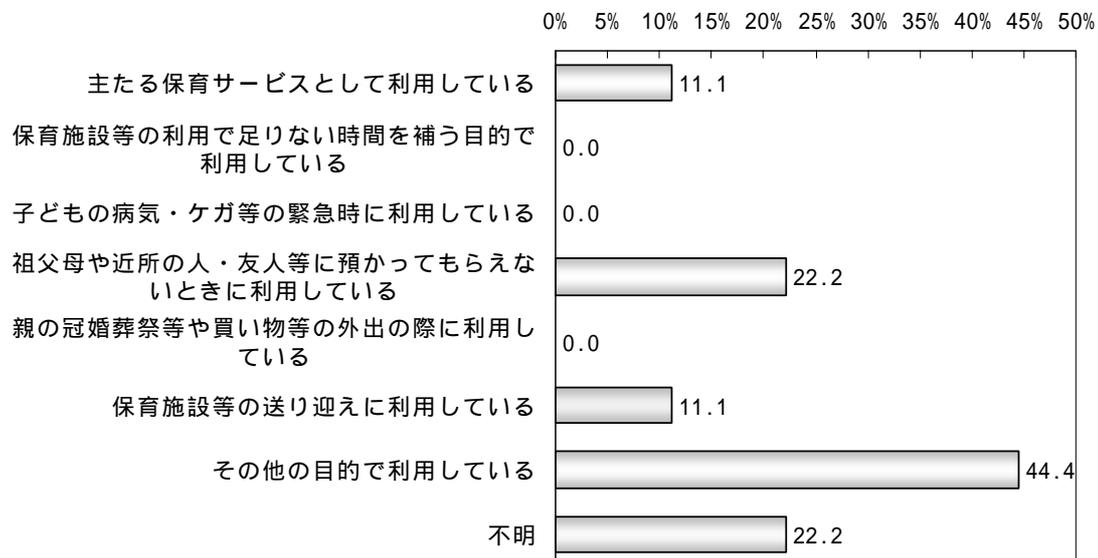


問 16-2 ファミリーサポートセンターの利用目的

問 16-1「1」 MA

ファミリーサポートセンターの利用目的は、「その他の目的で利用している」が44.4%で最も多く、次いで「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」22.2%、「主たる保育サービスとして利用している」と「保育施設等の送り迎えに利用している」が同率の11.1%の順である。

n=9



問 16-3 ファミリーサポートセンターの利用頻度 問 16-1「1」 NA

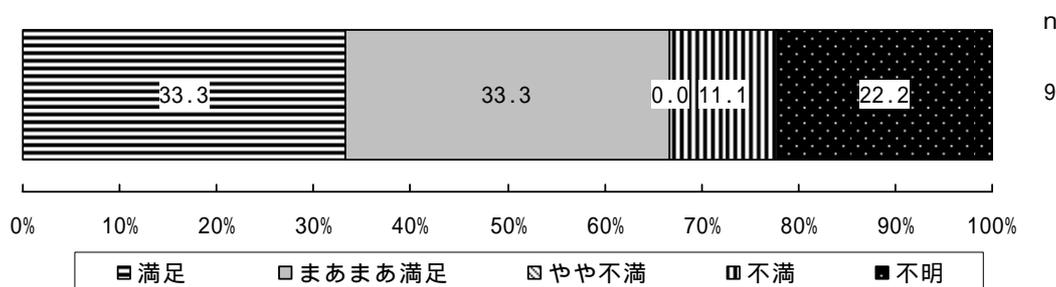
ファミリーサポートセンターの利用頻度は、平均 2.0 日 / 月、2.7 時間 / 1 回である。

問 16-4 利用時間を増やしたい希望 問 16-1「1」 NA

利用時間を増やしたいと回答したのは 3 人であり、平均 3.3 時間 / 月である。

問 16-5 ファミリーサポートセンターの満足度 問 16-1「1」 SA

ファミリーサポートセンターを利用したことがある人の満足度は、「まあまあ満足」と「満足」が同率の 33.3% で合わせた満足度は、66.6% となっている。



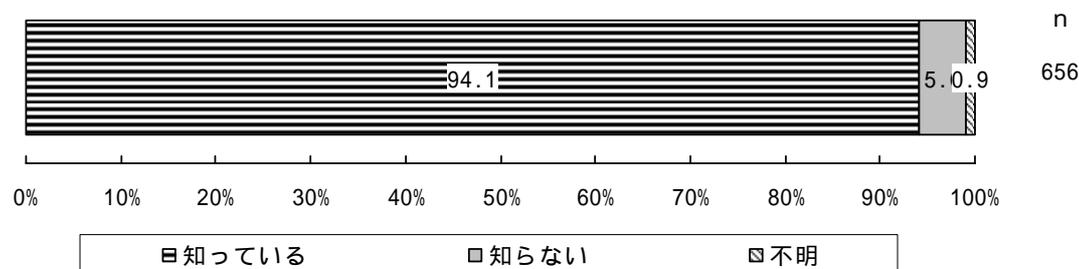
問 16-6 ファミリーサポートセンターの今後の利用意向 問 16-1「2」 SA

ファミリーサポートセンター未利用者の今後の利用意向は、95 人の回答があり、回答者の平均日数は 3.9 時間 / 月となっている。

9 児童館・児童センターについて

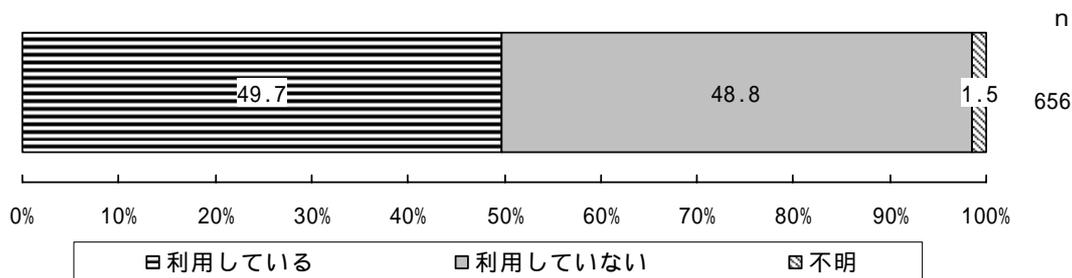
問 17 児童館・児童センターの認知度 SA

児童館・児童センターの認知度は、「知っている」が 94.1% となっている。



問 17-1 児童館・児童センターの利用経験 SA

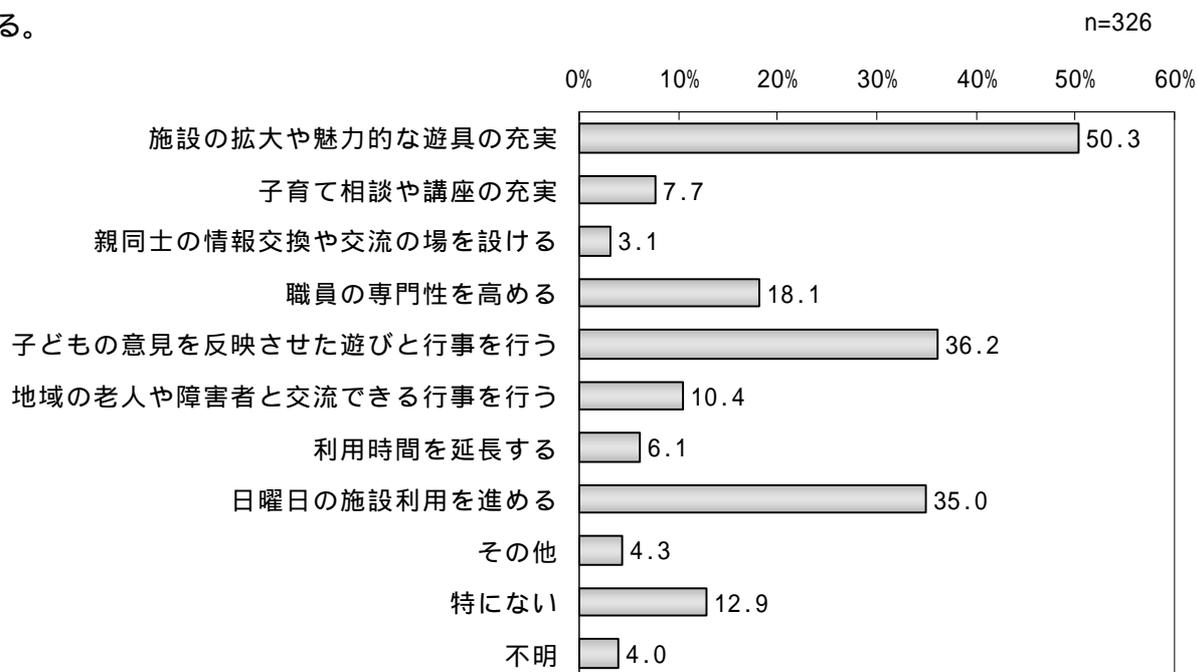
児童館・児童センターの利用経験は、「利用したことがある」が49.7%で約半数を占めており、学年別にみると低学年の利用が多い。



	全体	問1 生年月							
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明	
合計	656 100.0	115 100.0	112 100.0	98 100.0	114 100.0	103 100.0	89 100.0	25 100.0	
問17-1 児童館・児童センターの利用状況	利用している	326 49.7	61 53.0	69 61.6	55 56.1	57 50.0	42 40.8	29 32.6	13 52.0
	利用していない	320 48.8	53 46.1	40 35.7	42 42.9	56 49.1	58 56.3	60 67.4	11 44.0
	不明	10 1.5	1 0.9	3 2.7	1 1.0	1 0.9	3 2.9	0 0.0	1 4.0

問 17-2 児童館・児童センターへの要望 問 17-1 「1」 MA

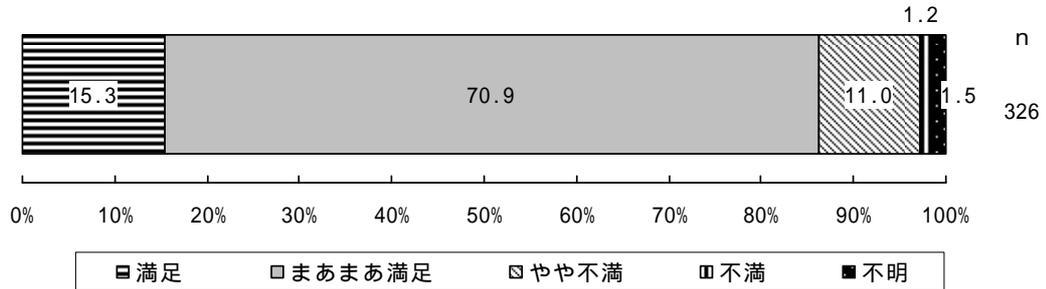
児童館・児童センターを利用したことがある人の児童館・児童センターへの要望は、「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が50.3%で過半数を占めて最も多く、次いで「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」36.2%、「日曜日の施設利用を進める」35.0%の順となっている。



問 17-3 児童館・児童センターの満足度

問 17-1「1」 SA

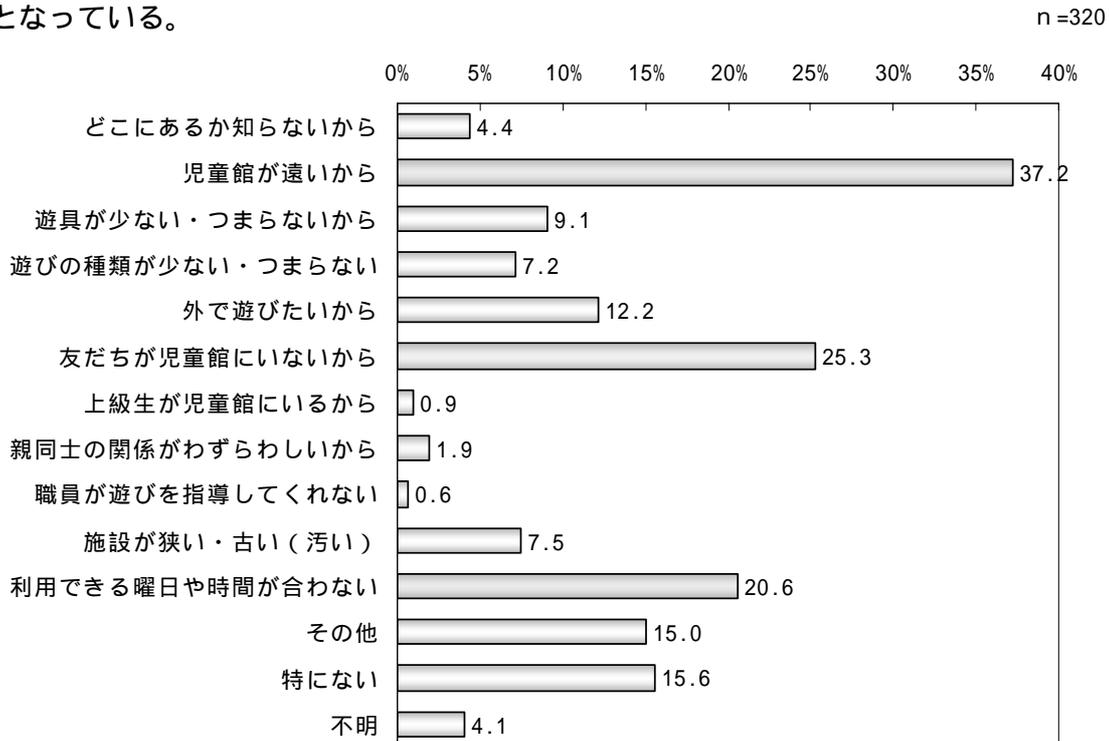
児童館・児童センターを利用したことがある人の満足度は、「まあまあ満足」が70.9%で最も多く、「満足」15.3%と合わせた満足度は、86.2%と高くなっている。



問 17-4 児童館・児童センターの未利用の理由

問 17-1「2」 MA

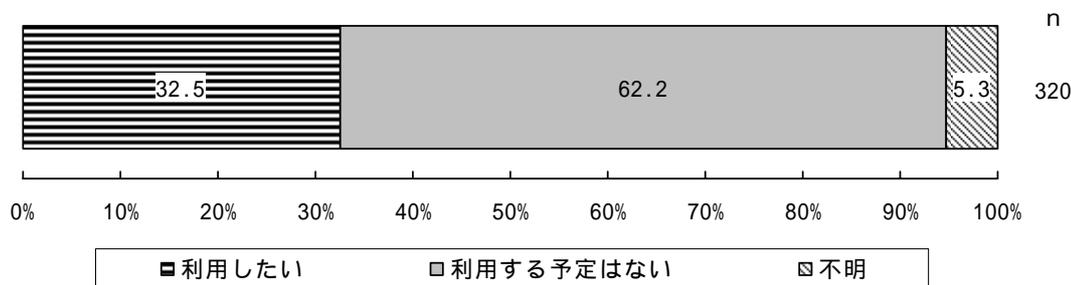
児童館・児童センター未利用の理由については、「児童館が遠いから」が37.2%で最も多く、次いで「友だちが児童館にいないから」25.3%、「利用できる曜日や時間が合わない」20.6%の順となっている。



問 17-5 児童館・児童センターの今後の利用意向 問 17-1「2」 SA

児童館・児童センター未利用者の今後の利用意向については、「利用したい」が32.5%、「利用する予定はない」62.2%となっている。

居住地区別では、“Cブロック”の利用意向が33.8%で最も高い。

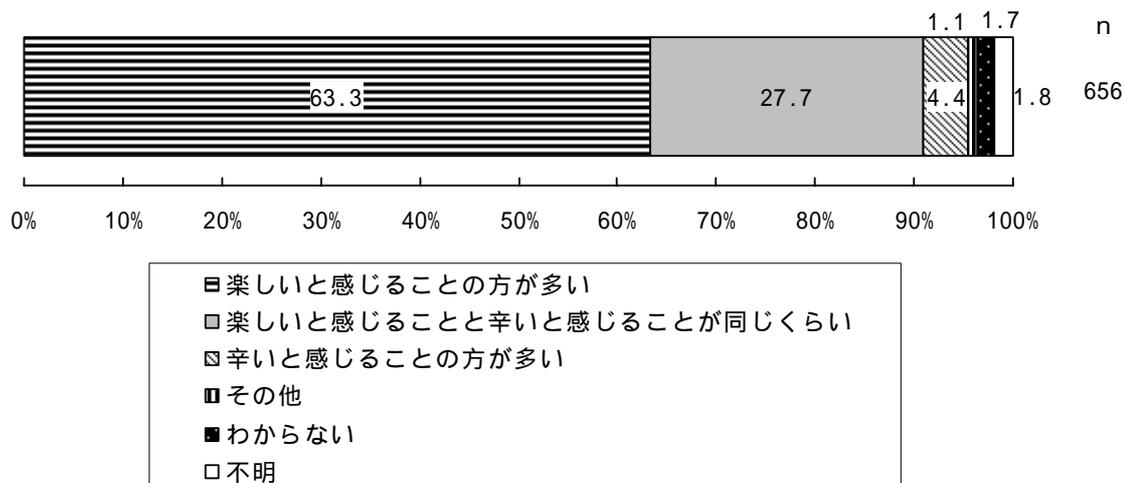


	全体	問 6 居住地区 (統合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	320 100.0	62 100.0	54 100.0	71 100.0	72 100.0	45 100.0	16 100.0	
問17-5 今後の利用意向	利用したい	104 32.5	20 32.3	17 31.5	24 33.8	23 31.9	15 33.3	5 31.3
	利用する予定はない	199 62.2	38 61.3	36 66.7	41 57.7	46 63.9	28 62.2	10 62.5
	不明	17 5.3	4 6.5	1 1.9	6 8.5	3 4.2	2 4.4	1 6.3

10 子育てについての不安感や負担感

問 18 子育ての感想 SA

子育てに関する感想としては、「楽しいと感じることの方が多い」が63.3%で最も多く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が27.7%、「辛いと感じることの方が多い」が4.4%となっている。



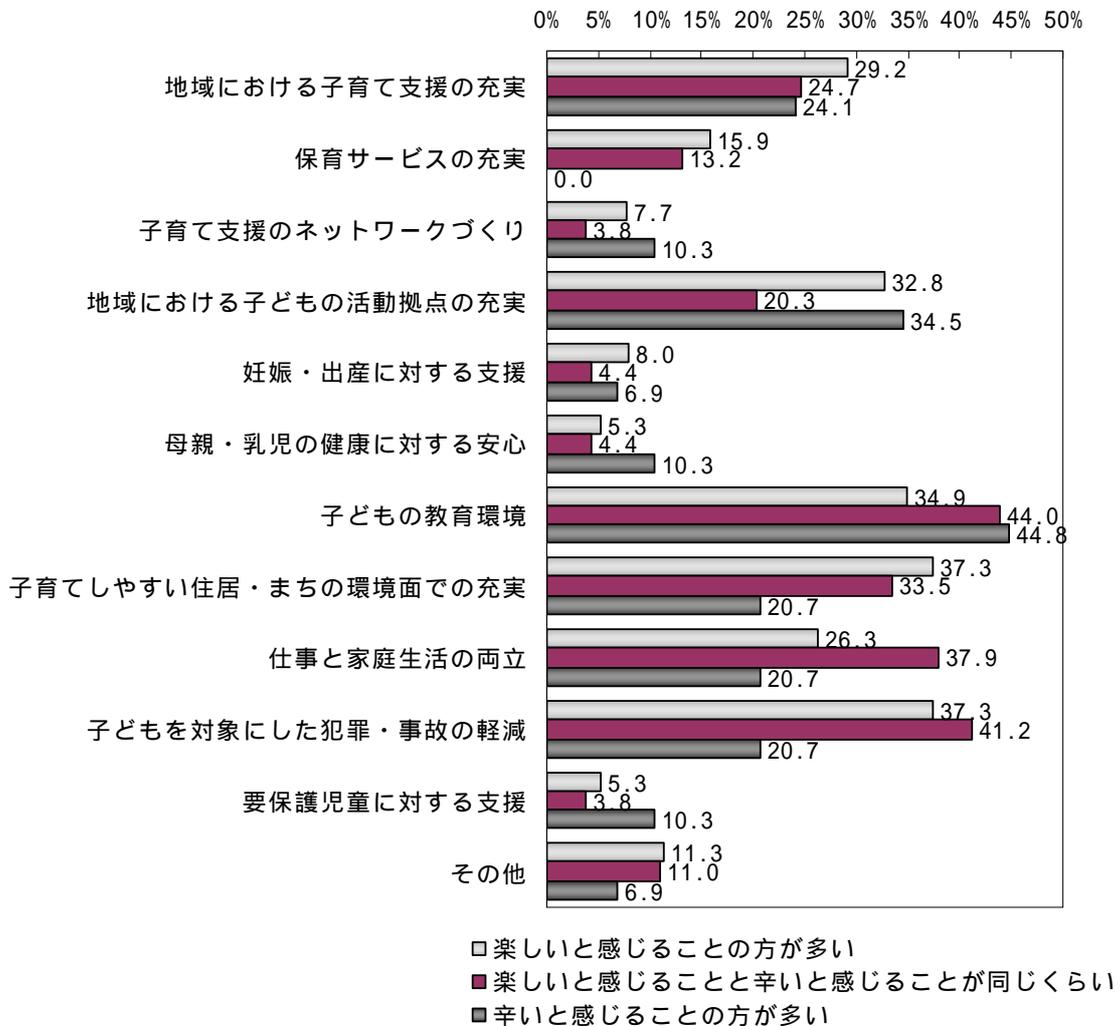
問 18-1 有効な支援と必要なこと.

問 22 「1～3」 MA

“子育てが楽しいと感じることが多い”人にとって有効な支援・対策は、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」と「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が同率の37.3%で最も多く、次いで「子どもの教育環境」34.9%、「地域における子どもの活動拠点の充実」32.8%の順となっている。

“楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい”人にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは、「子どもの教育環境」が44.0%で最も多く、次いで「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」41.2%、「仕事と家庭生活の両立」37.9%の順となっている。

“辛いと感じることの方が多”人にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは、「子どもの教育環境」が44.8%で最も多く、次いで「地域における子どもの活動拠点の充実」34.5%、「地域における子育て支援の充実」24.1%の順となっている。

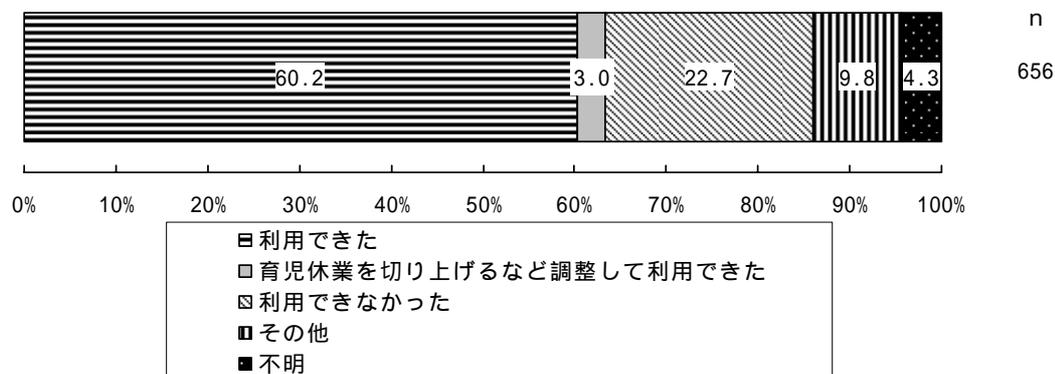


11 保育サービスの利便性について

問 19 入学前に希望どおりに保育サービスを利用できたか

SA

希望どおりの保育サービスの利用については、「利用できた」が60.2%で最も多く、次いで「利用できなかった」22.7%、「その他」9.8%となっている。



付問 19 育児休業を切り上げるなど調整して利用できた人の具体的な内容

FA

育児休業を切り上げるなど調整して利用できた人の具体的な内容は以下のとおりである。

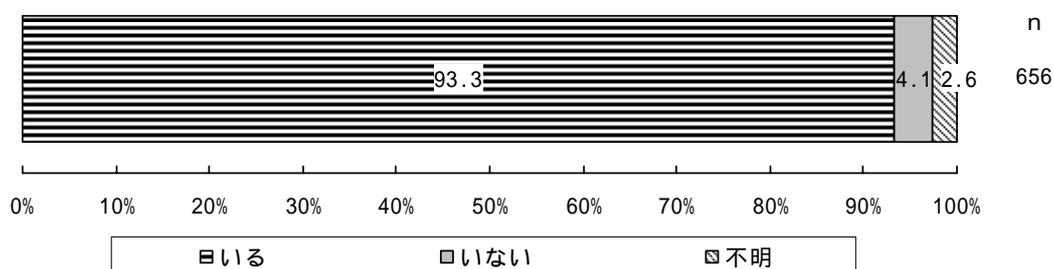
意見内容	件数
4月保育園入園のため育児休業期間を短縮した	4
希望以外の無認可保育園を利用	3
保育園に入れることができなかった	6
保育園入園のため育児休業を取得しなかった	1
在宅で仕事をした	1
幼稚園の延長保育を利用	1
仕事を辞めた	1
保育ママを利用	1

12 子育ての相談について

付問 20 相談相手や相談場所の有無

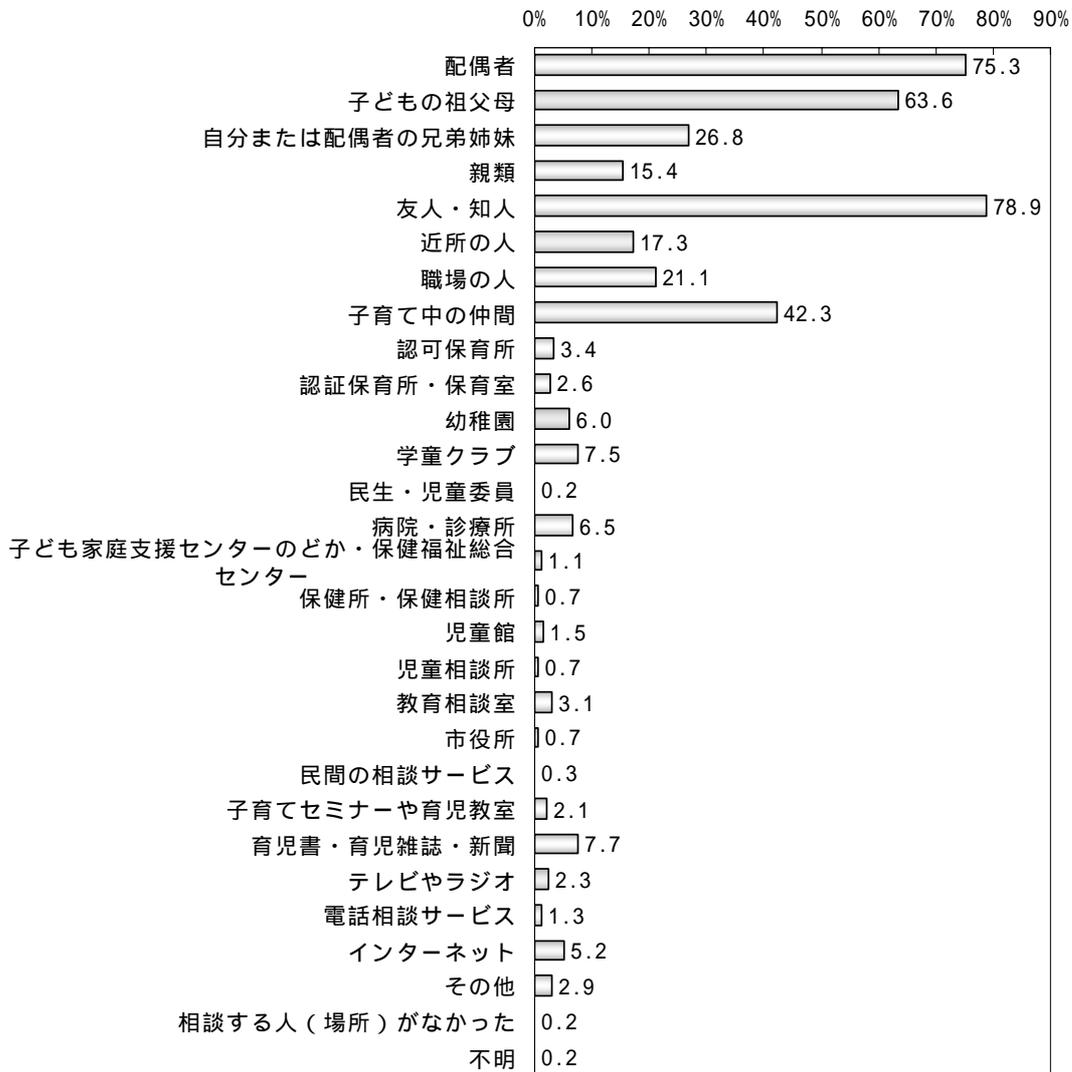
SA

子育ての相談相手や相談場所は、「いる(ある)」が93.3%となっている。



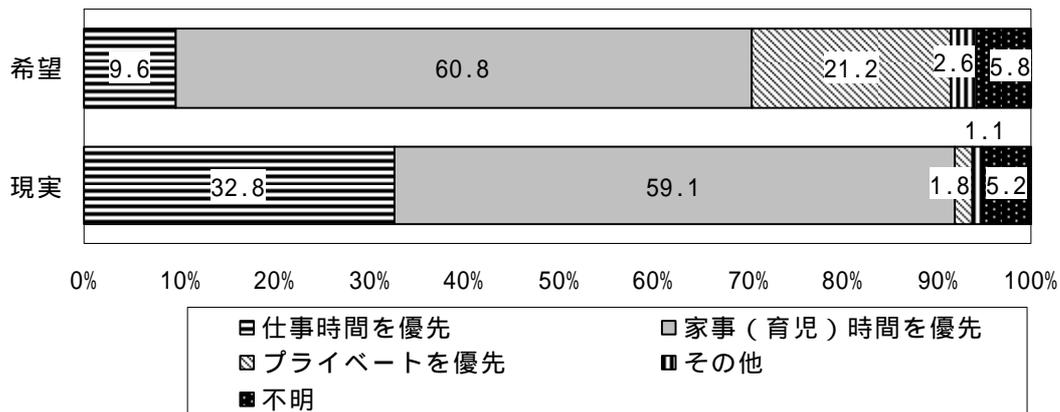
付問 21 相談相手や相談場所 問 22 「1」 MA

相談相手や相談場所は、「友人・知人」が78.9%で最も多く、次いで「配偶者」75.3%、「子どもの祖父母」63.6%が上位となっている。 n=612



問 21 「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度 SA

「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度については、“希望”、“現実”ともに、「家事(育児)時間を優先」が最も多い。 n=656



13 妊娠・出産・子育ての感想

問 22 出産前～3歳以降の気持ち

SA

母親の出産前から3歳以降の気持ちについては、「とても楽しかった」は“3歳以降”が47.0%で最も多く、“出産後”が28.4%で最も少ない。

	全体	とても楽しかった	やや楽しかった	ややつらかった	とてもつらかった	不明
出産前	656	268	222	118	30	18
	100.0	40.9	33.8	18.0	4.6	2.7
出産後1か月まで	656	186	173	189	88	20
	100.0	28.4	26.4	28.8	13.4	3.0
出産後～1歳まで	656	256	225	112	33	30
	100.0	39.0	34.3	17.1	5.0	4.6
1歳～2歳頃	656	281	242	88	20	25
	100.0	42.8	36.9	13.4	3.0	3.8
3歳以降	656	308	249	57	11	31
	100.0	47.0	38.0	8.7	1.7	4.7

問 22 大変だったこと

FA

大変だったこととして、挙げられた主な意見は以下のとおりである。

	大変だったこと
出産前	体調管理、つわり、上の子の世話、家事、経済的な問題、仕事との両立、知り合いがいないこと
出産後1か月まで	産後の体調管理、不眠による睡眠不足、夜泣きや授乳などによる育児疲れ、上の子の世話（あかちゃん返り、幼稚園や保育園の送迎）、家事、経済的な問題、自分の時間がとれないこと、配偶者が協力的でないこと
出産後～1歳まで	産後の体調管理、不眠、アレルギー、離乳食、夜泣きや授乳などによる育児疲れ、上の子の世話、子どもの病気・体調、家事、仕事との両立
1歳～2歳頃	子どもの世話 自分の勉強時間がない、家事、子どもの病気（アトピー、アレルギー）、子どものしつけ、人見知り、おむつはずし、外遊び、子ども同士のけんか、仕事との両立、経済的な問題、一人での子育て
3歳以降	子どもの世話 自分の体調、幼稚園・保育園での過ごし方、家事、お母さん同士の付き合い、子どもの病気（アトピー、アレルギー）、子どものしつけ、人見知り、おむつはずし、外遊び、子ども同士のけんか、仕事との両立、経済的な問題、一人での子育て、遊び場、保育園・幼稚園の送迎

問 22 大変だったときに、一番支えになってくれた人 FA

一番支えになってくれた人で、挙げられた主な意見は次のとおりである。

	一番支えになってくれた人
出産前	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、職場の人、おなかの赤ちゃん、上の子、経験者、いない
出産後1か月まで	配偶者、親、兄弟、友人、職場の人、近所の人、誰もいない
出産後～1歳まで	配偶者、親、姉妹、祖父母、親戚、友人、職場の人、近所の人、医師・看護師・助産師、保育園、我が子、インターネットによる育児相談、職場の雇用体制の確立、宅配サービス、離乳食を売っているお店、いない
1歳～2歳頃	配偶者、親、姉妹、親類、祖父母、友人、職場の人、近所の人、医師・看護師、保育園の職員、我が子、上の子、幼児教室、「体のはついく相談」いない
3歳以降	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、親戚、職場の人、近所の人、医師・看護師、医療機関の心理の先生、保育園・保育園の職員さん、児童館、我が子、上の子、いない

問 22 一番支えになって欲しかった人 FA

一番支えになって欲しかった人で、挙げられた主な意見は次のとおりである。

	支えて欲しかった人
出産前	配偶者、親、姉妹、友人、家政婦、職場の人、行政、社会全体、上の子、近所の人
出産後1か月まで	配偶者、親、姉妹、祖父母、上の子ども、育児のベテランの人、友人、行政のヘルパー、助産師さん、誰でも良い、近所の人
出産後～1歳まで	配偶者、親、姉妹、友人、行政、保育園、行政のヘルパー、保育園に入所しやすい制度、短時間でも預かってくれる制度、すべての人、なし
1歳～2歳頃	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、行政、保育園、医師、社会全体、専門家、一時預かり等の保育サービス、児童館、職場の人、ない
3歳以降	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、行政、保育園・幼稚園の職員、医師、社会全体、専門家、第三者サービス、保育園などの一時保育、職場の友人・上司、ひいらぎの先生と友人、特にない

問 22 出産前～3歳以降に欲しい支援 MA

母親の出産前から3歳以降に欲しい支援は、「出産前」と「出産後1か月まで」は「家事援助」が最も多く、「出産後～1歳まで」と「1～2歳頃」と「3歳以降」は「一時保育」が最も多い。

	全体	一時保育	個別訪問	家事援助	相談	その他	不明
出産前	656	114	63	224	117	70	201
	100.0	17.4	9.6	34.1	17.8	10.7	30.6
出産後1か月まで	656	170	91	228	116	79	178
	100.0	25.9	13.9	34.8	17.7	12.0	27.1
出産後～1歳まで	656	220	57	172	121	81	208
	100.0	33.5	8.7	26.2	18.4	12.3	31.7
1歳～2歳頃	656	214	41	136	112	79	243
	100.0	32.6	6.3	20.7	17.1	12.0	37.0
3歳以降	656	179	32	101	107	81	285
	100.0	27.3	4.9	15.4	16.3	12.3	43.4

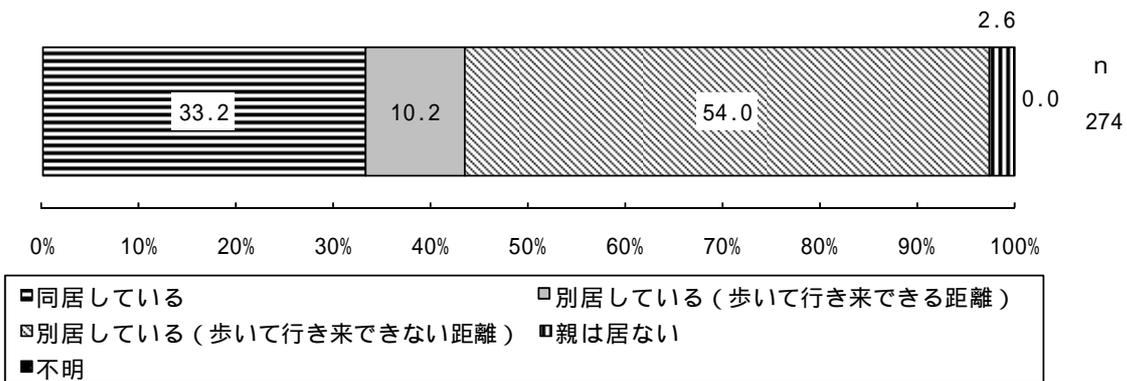
第4章 意識調査（25～29歳）結果

1 生活のこと

問1 親との同居について

SA

親のとの同居の状況について、「別居している(歩いて行き来できない距離)」が54.0%で過半数を占めて最も多く、次いで「同居している」33.2%、「別居している(歩いて行き来できる距離)」10.2%の順である。



問2 家事の状況

問1「1」 SA

家庭内での家事の状況は、「主に自分」は“自分の部屋を掃除する”が67.0%で最も多く、それ以外は、「主に親」が最も多い。

「親と自分の分担で」は、“買い物をする”が33.0%で最も多い。

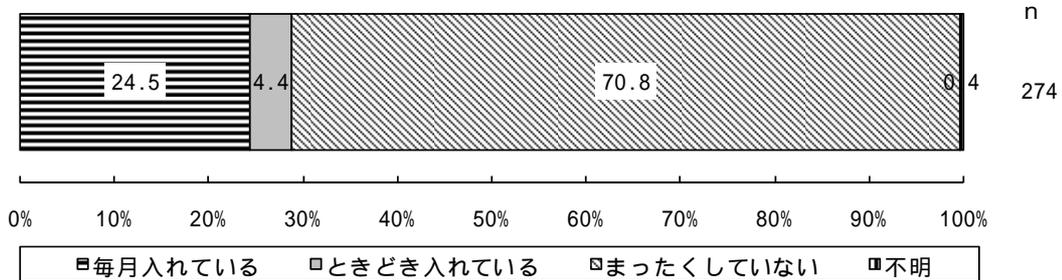
	全体	主に親	主に自分	親と自分の分担で	同居の家族	その他	不明
食事をつくる	91	67	7	13	3	0	1
	100.0	73.6	7.7	14.3	3.3	0.0	1.1
食事のあとかたづけをする	91	42	17	25	5	1	1
	100.0	46.2	18.7	27.5	5.5	1.1	1.1
トイレを掃除する	91	65	5	15	4	1	1
	100.0	71.4	5.5	16.5	4.4	1.1	1.1
お風呂を掃除する	91	46	15	21	7	1	1
	100.0	50.5	16.5	23.1	7.7	1.1	1.1
洗濯をする	91	62	11	12	5	1	0
	100.0	68.1	12.1	13.2	5.5	1.1	0.0
買物をする	91	50	9	30	1	0	1
	100.0	54.9	9.9	33.0	1.1	0.0	1.1
自分の部屋を掃除する	91	17	61	11	1	1	0
	100.0	18.7	67.0	12.1	1.1	1.1	0.0
ゴミ袋を出しに行く	91	54	12	17	6	1	1
	100.0	59.3	13.2	18.7	6.6	1.1	1.1

問3 親への生活費の支払い状況

SA

親への生活費の支払い状況は、「まったくしていない」が70.8%で最も多く、次いで「毎月入れている」24.5%、「ときどき入れている」4.4%となっている。

親との同居の状況別では、「同居している」の「毎月入れている」は62.6%となっている。

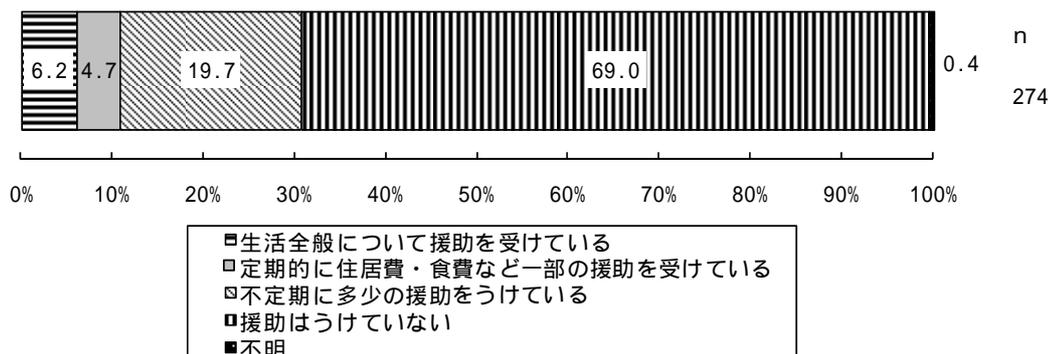


	全体	問1 親との同居					
		同居している	別居している (歩いて 行き来でき る距離)	別居している (歩いて 行き来でき ない距離)	親は居ない	不明	
合計	274 100.0	91 100.0	28 100.0	148 100.0	7 100.0	0 0.0	
問3 親への 仕送り	毎月入れている	67 24.5	57 62.6	2 7.1	7 4.7	1 14.3	0 0.0
	ときどき入れている	12 4.4	7 7.7	0 0.0	5 3.4	0 0.0	0 0.0
	まったくしていない	194 70.8	27 29.7	26 92.9	136 91.9	5 71.4	0 0.0
	不明	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0

問4 親からの生活費の援助状況

SA

親からの生活費の援助については、「援助はうけていない」が69.0%で最も多く、次いで「不定期に多少の援助を受けている」19.7%、「生活全般に援助を受けている」6.2%となっている。

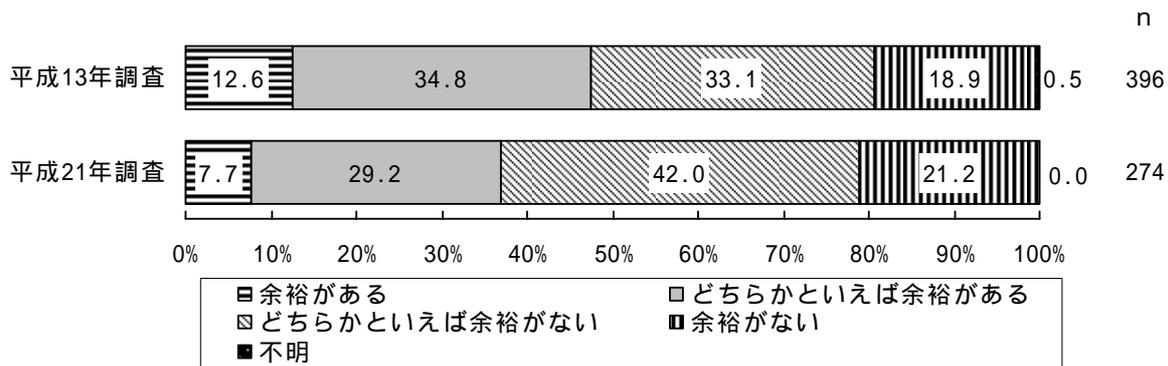


問5 経済的な余裕の有無

SA

経済的な余裕の有無については、「どちらかといえば余裕がない」が42.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば余裕がある」29.2%、「余裕がない」21.2%の順で、「余裕がない」と「どちらかといえば余裕がない」とを合わせると63.2%は余裕がないと回答している。

前回調査と比較すると、「どちらかといえば余裕がある」が34.8%で最も多かったのに比べ、今回の調査では5.6ポイントの減少、逆に「どちらかといえば余裕がない」が7.9ポイント増加しており、経済的に厳しい状況がうかがえる。



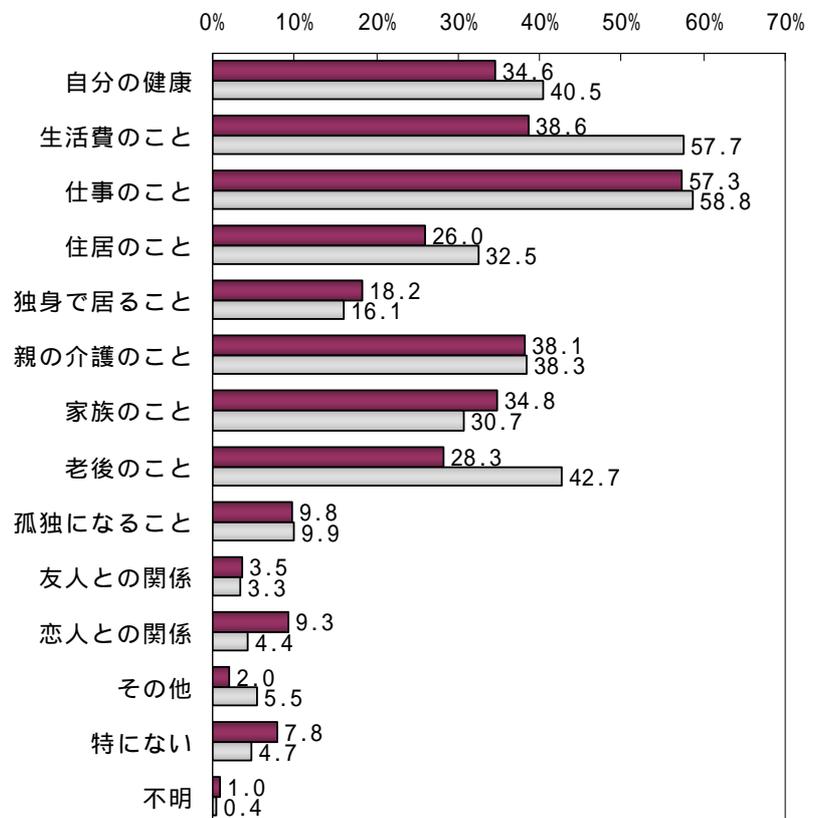
問6 将来への不安

MA

将来への不安については、「仕事のこと」58.8%と「生活費のこと」57.7%が過半数を占めて突出しており、次いで「老後のこと」42.7%、「自分の健康」40.5%の順となっている。

前回調査と比較すると、平成21年調査では「生活費のこと」(+19.1ポイント)と「老後のこと」(+14.4ポイント)が目立って高くなっている。

「恋人との関係」(-4.9ポイント)や「家族のこと」(-4.1ポイント)については、低くなっている。



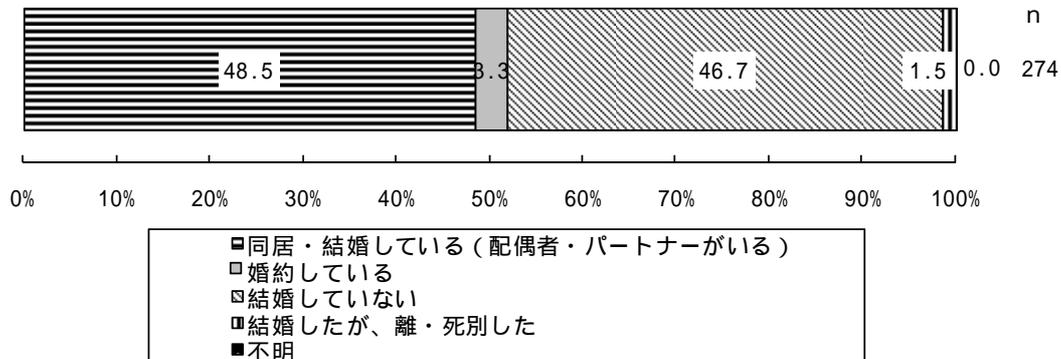
■ 平成13年調査 n=396
□ 平成21年調査 n=274

2 結婚のこと

問7 結婚しているか

SA

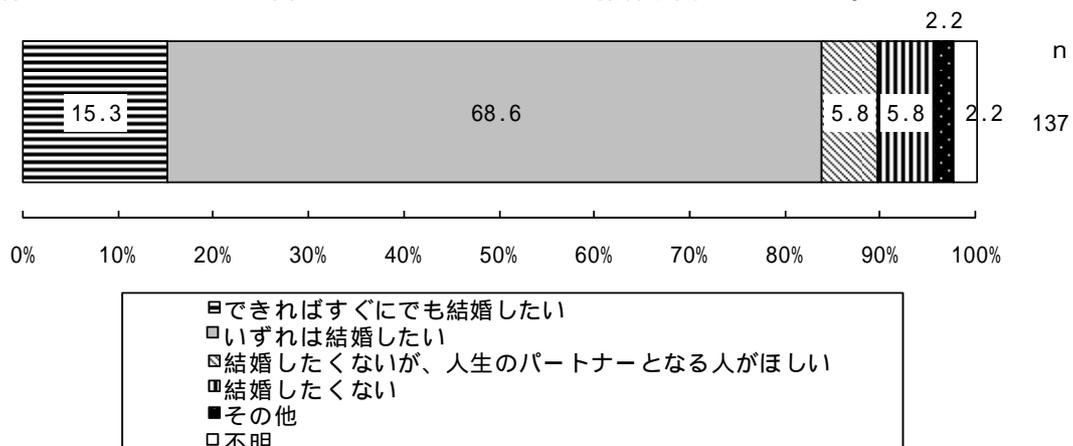
結婚しているかについては、「同居・結婚している(配偶者・パートナーがいる)」が48.5%で最も多く、次いで「結婚していない」46.7%となっている。



問7-1 結婚についての考え

SA

結婚については、「いずれは結婚したい」が68.6%で最も多く、次いで「できればすぐにも結婚したい」15.3%で合わせると83.9%には結婚意向がみられる。

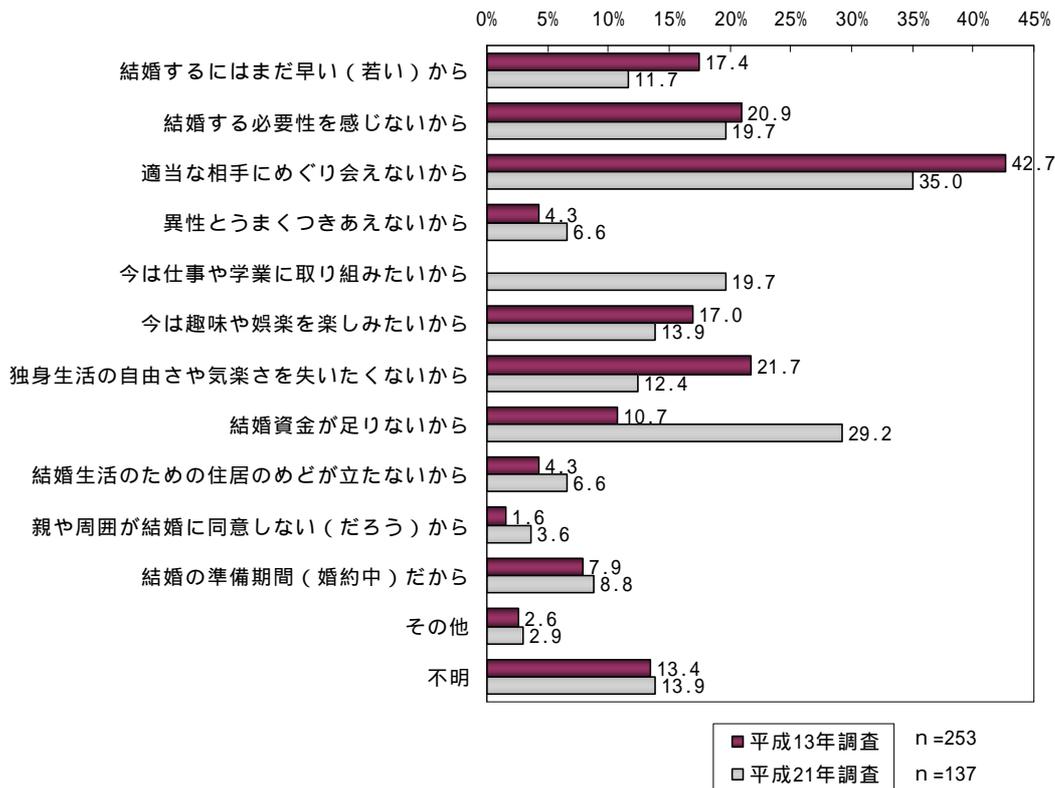


問7-2 結婚していない理由

問7「2」「3」 SA

結婚していない理由については、「適当な相手にめぐり会えないから」が35.0%で最も多く、次いで「結婚資金が足りないから」29.2%、「結婚する必要性を感じないから」と「今は仕事や学業に取り組みたいから」が同率の19.7%の順となっている。

前回調査と比較して、10ポイント以上増加しているのは、「今は仕事や学業に取り組みたいから」と「結婚資金が足りないから」の2項目となっている。



問8 配偶者・パートナーとの役割分担

問7「1」または問7-1「1~3」 SA

配偶者・パートナーとの役割分担については、「女性が中心に男性も行う」が最も多い項目は、「家事」59.9%と「家計の管理」46.4%、「女性も男性も同じ程度行う」が最も多い項目は、「子どもの教育」83.5%、「親の介護」75.5%、「育児や子育て」51.5%、「男性が中心に女性も行う」が最も多い項目は、「生計を立てるための仕事」が73.4%である。

「男性のみが行う」は「生計を立てるための仕事」の8.9%のみである。

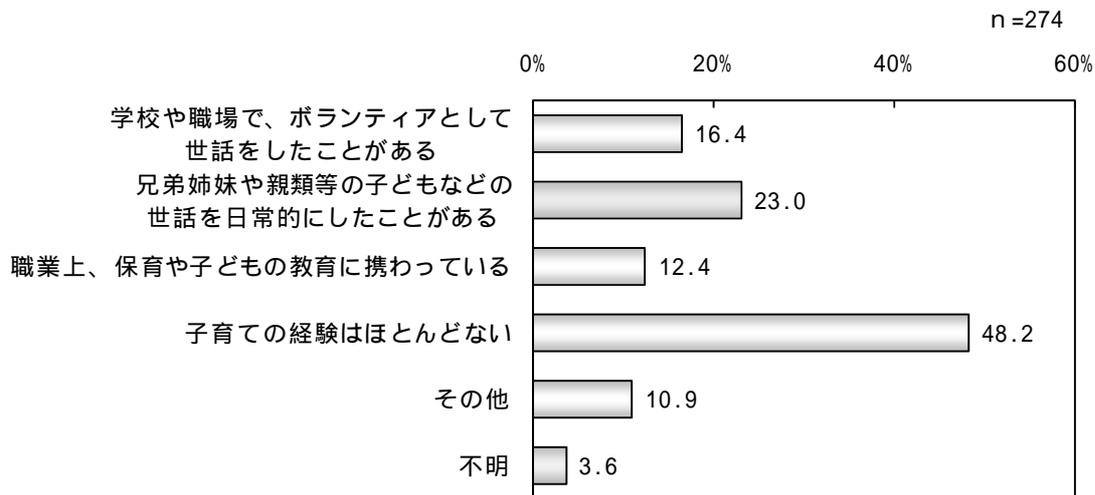
	全体	女性のみが行う	女性が中心に男性も行う	女性も男性も同じ程度行う	男性が中心に女性も行う	男性のみが行う	不明
生計を立てるための仕事	237	0	2	40	174	21	0
	100.0	0.0	0.8	16.9	73.4	8.9	0.0
家計の管理	237	33	110	87	7	0	0
	100.0	13.9	46.4	36.7	3.0	0.0	0.0
家事	237	11	142	82	2	0	0
	100.0	4.6	59.9	34.6	0.8	0.0	0.0
育児や子育て	237	1	112	122	2	0	0
	100.0	0.4	47.3	51.5	0.8	0.0	0.0
子どもの教育	237	1	34	198	4	0	0
	100.0	0.4	14.3	83.5	1.7	0.0	0.0
親の介護	237	1	51	179	6	0	0
	100.0	0.4	21.5	75.5	2.5	0.0	0.0

3 子育てのことについて

問9 子育てに関わった経験の有無

MA

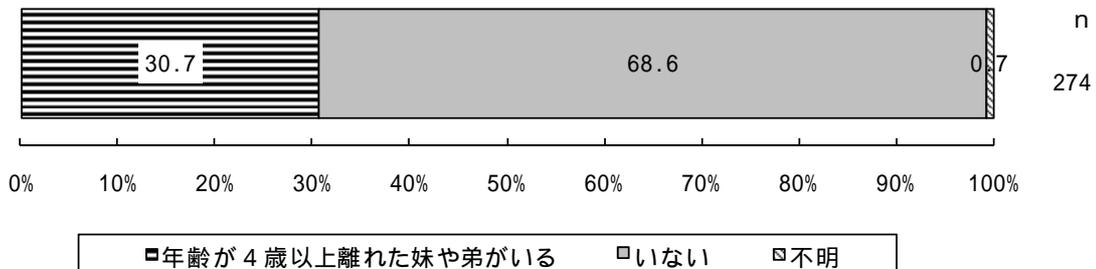
子育てに関わった経験については、「子育ての経験はほとんどない」が48.2%で最も多く、次いで「兄弟姉妹や親類等の子どもなどの世話を日常的にしたことがある」が23.0%、「学校や職場で、ボランティアとして世話をしたことがある」16.4%の順である。



問10 年齢が4歳以上離れた妹か弟の有無

SA

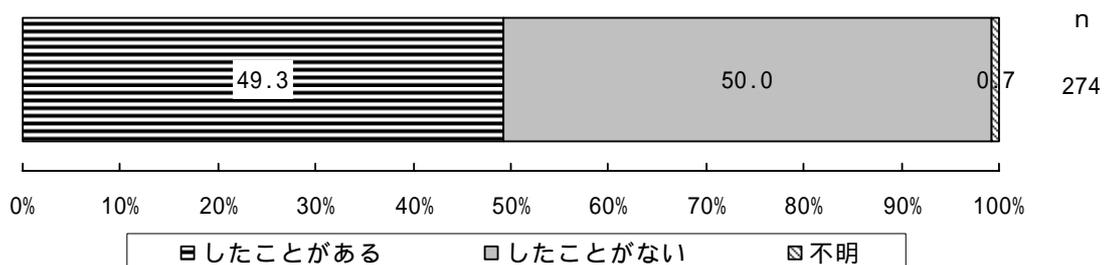
年齢が4歳以上離れた妹か弟の有無については、「いない」が68.6%、「いる」が30.7%となっている。



問11 赤ちゃんの世話の経験

SA

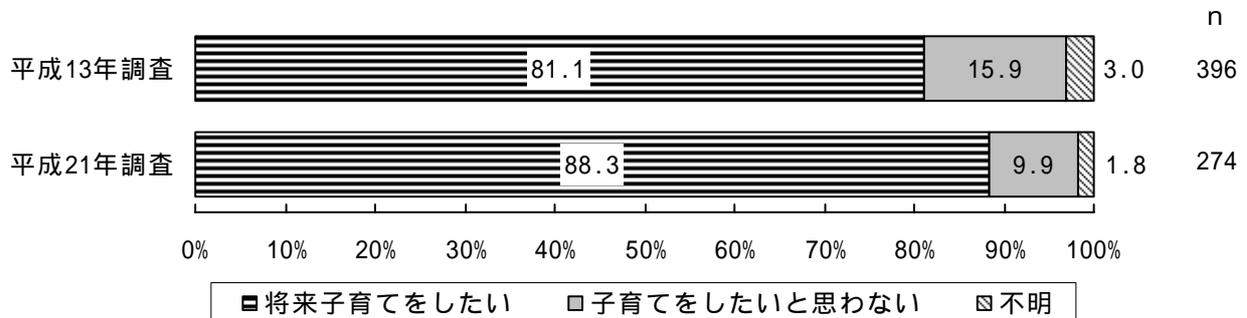
ミルクを飲ませたりオムツがえなどの赤ちゃんの世話の経験については、「したことがない」が50.0%、「したことがある」が49.3%となっている。



問 12 将来、子育てをしたいか SA

将来子育てをしたいかどうかについては、「将来子育てをしたい」が88.3%で圧倒的に多く、「子育てをしたいと思わない」は9.9%である。

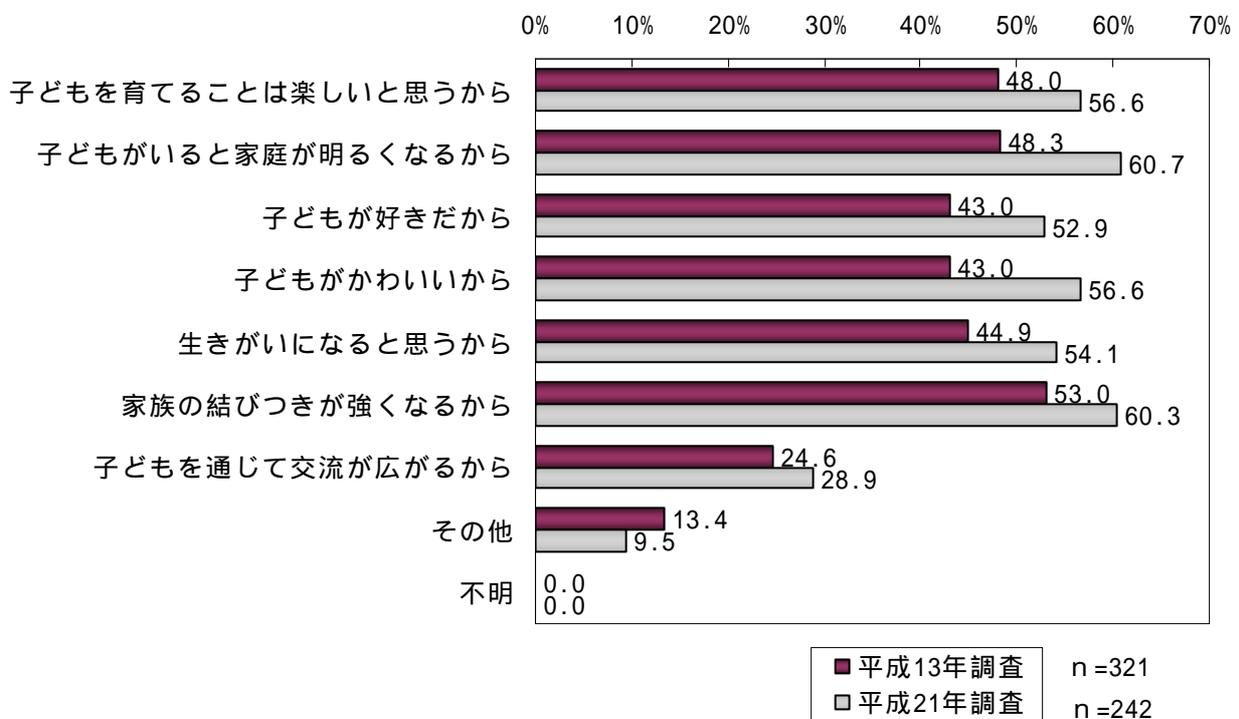
前回調査と比較すると、「将来子育てをしたい」は7.2ポイント増加している。



問 12-1 子育てをしたい理由 問 12「1」 MA

子育てをしたい理由については、「子どもがいると家庭が明るくなるから」が60.7%で最も多く、次いで「家族の結びつきが強くなるから」60.3%、「子どもを育てることは楽しいと思うから」と「子どもがかわいいから」が同率で56.6%である。

前回調査と比較すると、どの理由も高くなっており、特に「子どもがかわいいから」(+13.6ポイント)、「子どもがいると家庭が明るくなるから」(+12.4ポイント)が大きく増加している。



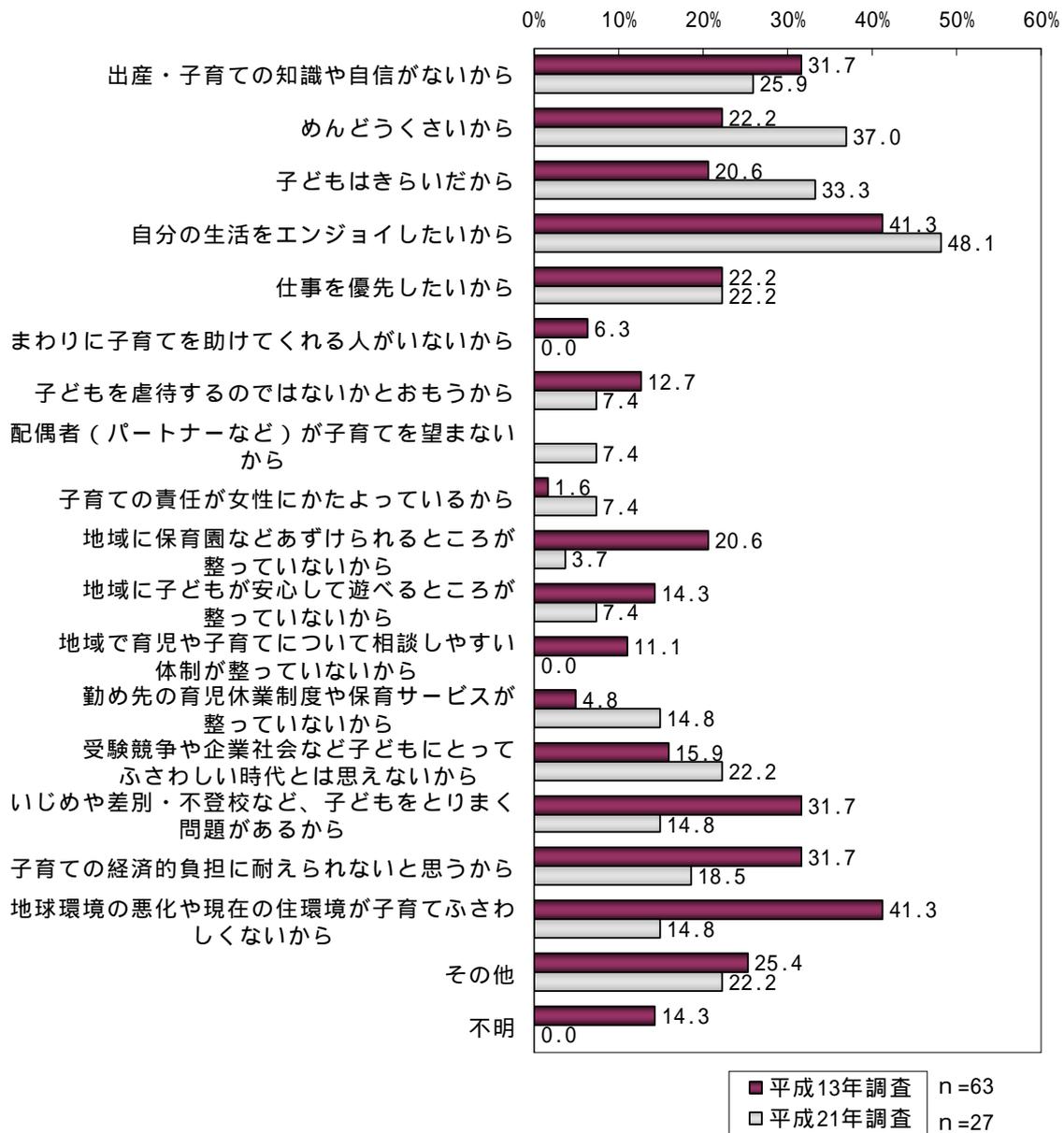
問 12-2 子育てをしたくない理由

問 12「2」 MA

子育てをしたくない理由については、「自分の生活をエンジョイしたいから」が48.1%で最も多く、次いで「めんどくさいから」37.0%、「子どもはきらいだから」33.3%となっている。

前回調査と比較すると、10ポイント以上増加しているのは、「めんどくさいから」(+14.8ポイント)と「子どもはきらいだから」(+12.7ポイント)、「勤め先の育児休業制度や保育サービスが整っていないから」(+10.0ポイント)の3項目となっている。

逆に減少した項目では、「地球環境の悪化や現在の住環境が子育てふさわしくないから」(-26.5ポイント)、「地域に保育園などあずけられるところが整っていないから」と「いじめや差別・不登校など、子どもをとりまく問題があるから」(-16.9ポイント)が大幅な減少で目立っている。

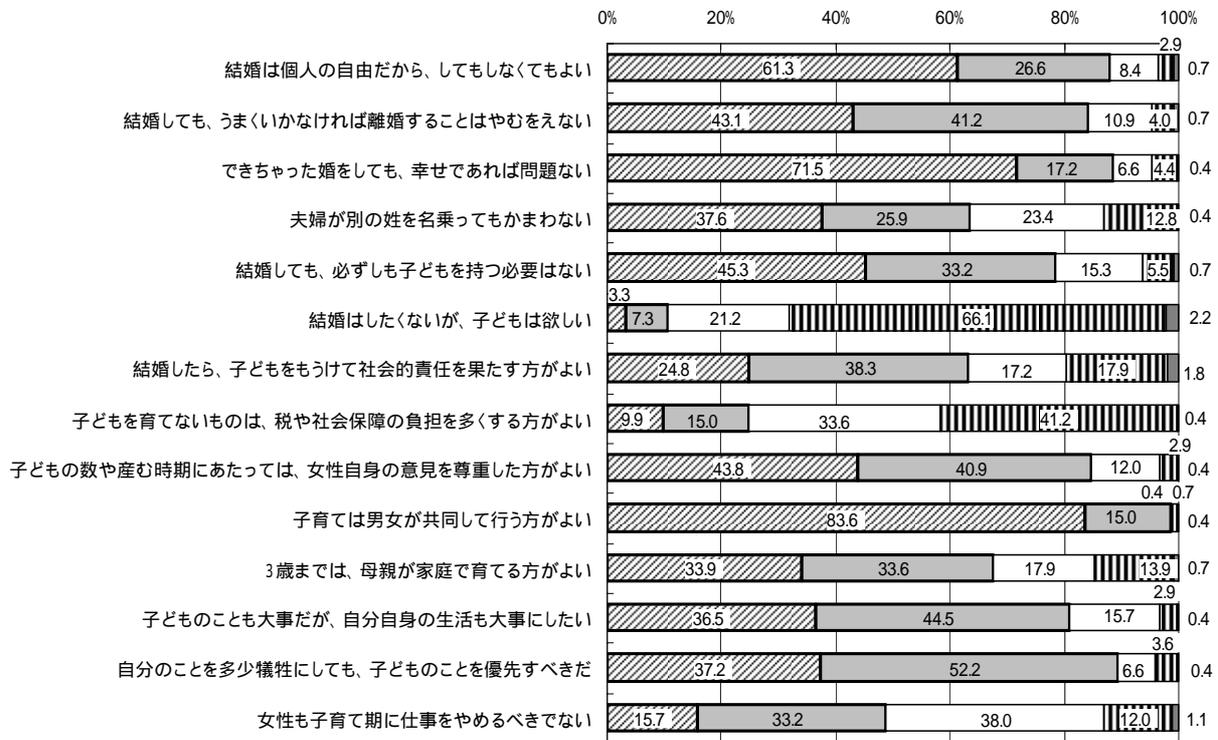


問 13 結婚や子育てに関する考え方

SA

結婚や子育てに関する考え方については、「子育ては男女が共同して行う方がよい」が「そう思う」83.6%と「どちらかといえばそう思う」15.0%を合わせた肯定的意見が98.5%と最も多くなっている。最も意見が分かれているのは、「女性も子育て期に仕事をやめるべきでない」で肯定的意見が48.9%、否定的意見が50.0%となっている。

n=274



肯定的意見
 ■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 不明

	全体	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	不明
結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい	274	168	73	23	8	2
結婚しても、うまくいかなければ離婚すること はやむをえない	274	118	113	30	11	2
できちゃった婚をしても、幸せであれば問題ない	274	196	47	18	12	1
夫婦が別の姓を名乗ってもかまわない	274	103	71	64	35	1
結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	274	124	91	42	15	2
結婚はしたくないが、子どもは欲しい	274	9	20	58	181	6
結婚したら、子どもをもうけて社会的責任(社会 保障などの負担)を果たす方がよい	274	68	105	47	49	5
子どもを育てないものは、税や社会保障の負担 を多くする方がよい	274	27	41	92	113	1
子どもの数や産む時期を決めるにあたっては、 女性(妻)自身の意見を尊重した方がよい	274	120	112	33	8	1
子育ては男女が共同して行う方がよい	274	229	41	1	2	1
3歳までは、母親が家庭で育てる方がよい	274	93	92	49	38	2
子どものことも大事だが、自分自身の生活も大 事にしたい	274	100	122	43	8	1
自分のことを多少犠牲にしても、子どものこと を優先すべきだ	274	102	143	18	10	1
女性も子育て期に仕事をやめるべきでない	274	43	91	104	33	3

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」とを合わせた肯定的意見について前回調査と比較すると、10ポイント以上の増加が「結婚したら、子どもをもうけて社会的責任(社会保障などの負担)を果たす方がよい」「自分のことを多少犠牲にしても、子どものことを優先すべきだ」の2項目、5~10ポイント減少が「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」「3歳までは、母親が家庭で育てる方がよい」「子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい」の3項目となっている。

前回調査との比較

肯定的意見の割合	前回 (平成13年)		今回 (平成21年)
結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい	94.2	↘	88.0
結婚しても、うまくいかなければ離婚することはやむをえない	88.1		84.3
できちゃった婚をしても、幸せであれば問題ない	92.2		88.7
夫婦が別の姓を名乗ってもかまわない	66.7		63.5
結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	82.3		78.5
結婚はしたくないが、子どもは欲しい	8.6		10.6
結婚したら、子どもをもうけて社会的責任(社会保障などの負担)を果たす方がよい	51.7	↗	63.1
子どもを育てないものは、税や社会保障の負担を多くする方がよい	24.5		24.8
子どもの数や産む時期を決めるにあたっては、女性(妻)自身の意見を尊重した方がよい	81.0		84.7
子育ては男女が共同して行う方がよい	97.2		98.5
3歳までは、母親が家庭で育てる方がよい	75.2	↘	67.5
子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい	87.9	↘	81.0
自分のことを多少犠牲にしても、子どものことを優先すべきだ	77.6	↗	89.4
女性も子育て期に仕事をやめるべきでない	53.8		48.9

表中の矢印は、前回調査からの変化の大小を示す。

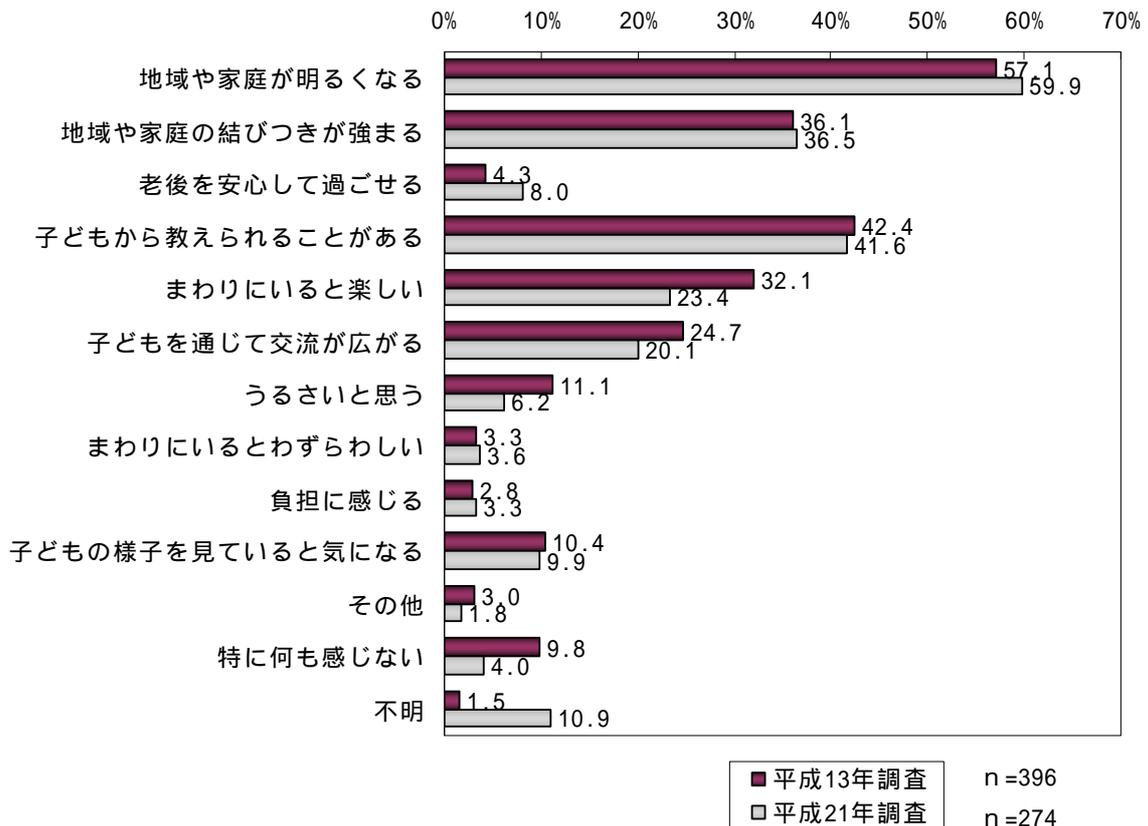
- ・ 5~10ポイント増加 (↗) 、 10ポイント以上増加 (↗)
- ・ 5~10ポイント減少 (↘) 、 10ポイント以上減少 (↘)

問14 家庭や地域の子どもの存在

MA

家庭や地域の子どもの存在については、「地域や家庭が明るくなる」が59.9%で最も多く、次いで「子どもから教えられることがある」41.6%、「地域や家庭の結びつきが強まる」が36.5%の順である。

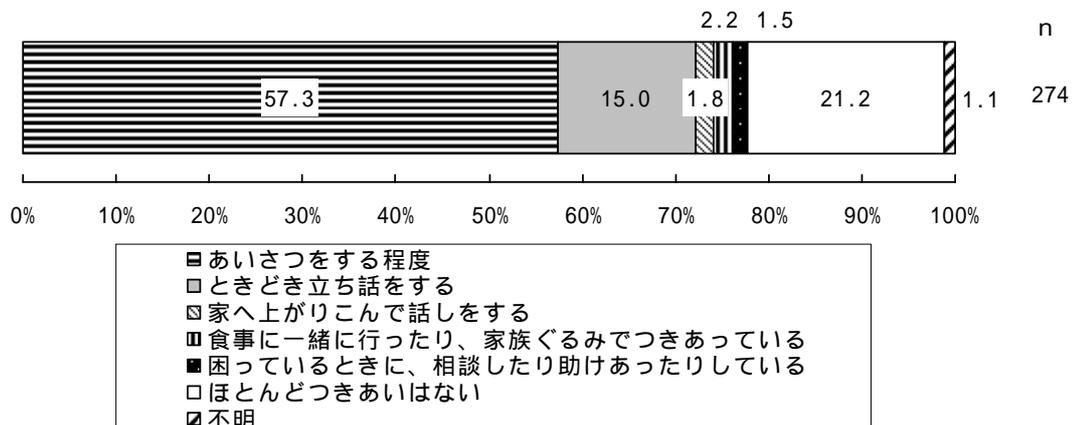
前回調査と比較して最も増加したのは、「老後を安心して過ごせる」(+3.7ポイント)、最も減少したのは、「まわりにいると楽しい」(-8.7ポイント)となっている。



問15 近所づきあい

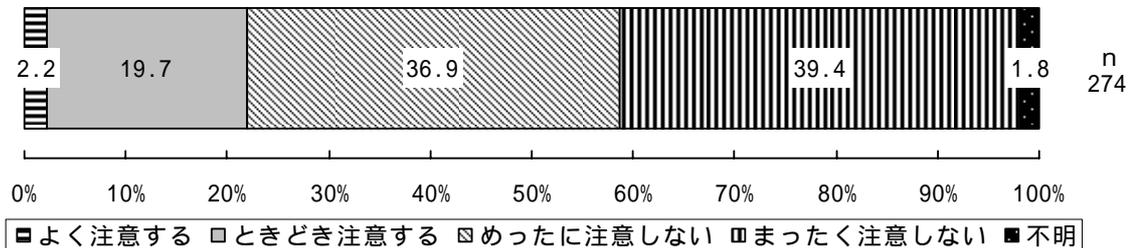
SA

近所づきあいについては、「あいさつをする程度」が57.3%で最も多く、次いで「ほとんどつきあいはない」21.2%、「ときどき立ち話をする」15.0%である。



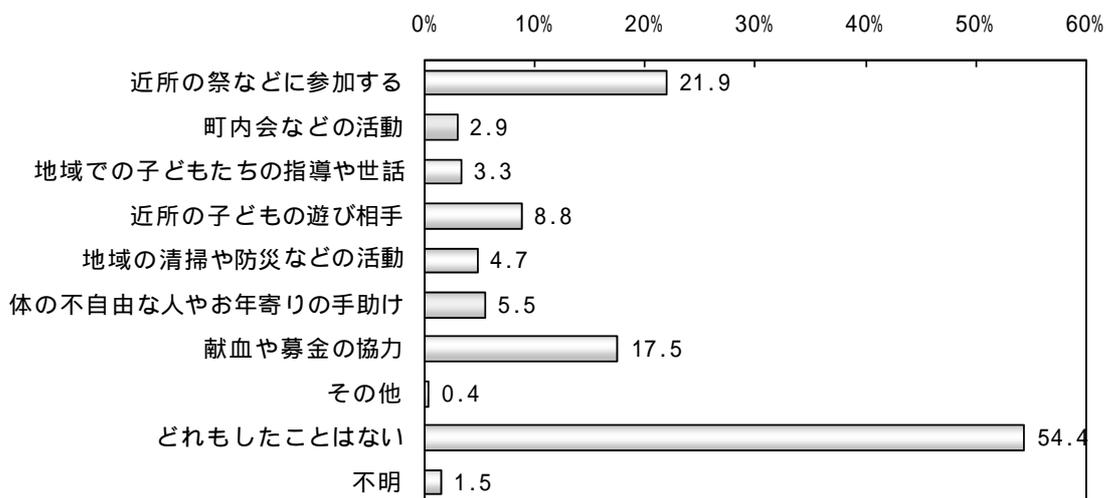
問 16 よその子どものいたずらやいじめに対する注意 SA

よその子どものいたずらやいじめに対しては、「まったく注意しない」が39.4%で最も多く、次いで「めったに注意しない」36.9%、「ときどき注意をする」19.7%である。



問 17 この1年間の地域活動 MA

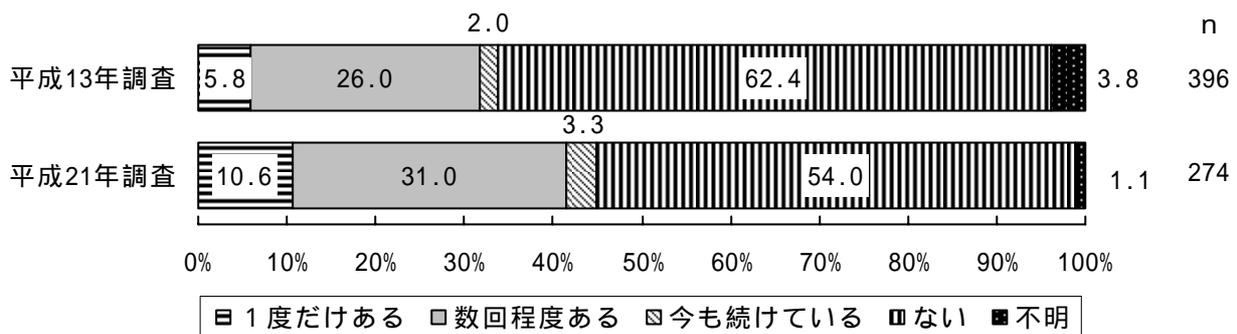
この1年間の地域活動については、「どれもしたことはない」が54.4%で最も多く、次いで「近所の祭などに参加する」21.9%、「献血や募金の協力」17.5%である。



問 18 ボランティア活動経験 SA

ボランティア活動経験については、「ない」が54.0%で最も多く、次いで「数回程度ある」31.0%、「1度だけある」10.6%の順である。

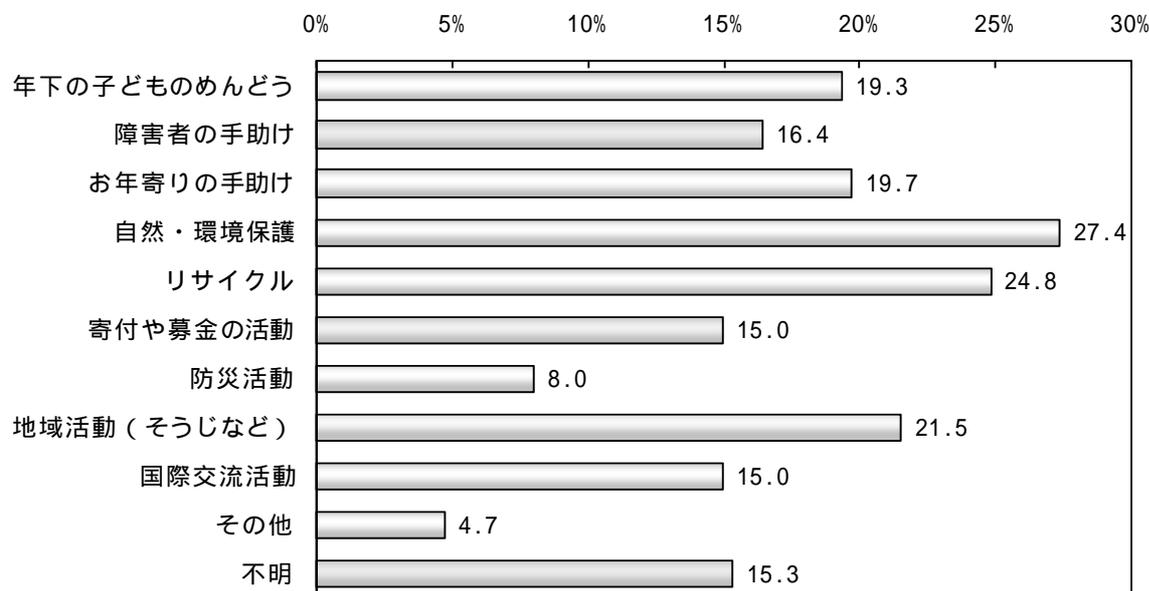
前回調査と比較すると、ボランティア活動経験のある人は増加している。



問 18-1 参加した・参加してみたいボランティアの種類 MA

参加した・参加してみたいボランティアの種類は、「自然・環境保護」が27.4%で最も多く、次いで「リサイクル」24.8%、「地域活動(そうじなど)」21.5%の順である。

n=274



問 18-2 ボランティア活動についての考え方 SA

ボランティア活動についての考え方は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」とを合わせた肯定的意見は、“ボランティア活動はあくまで個人で自主的にすべきだ”が85.0%で最も多く、次いで“ボランティア活動は、まだ日本では定着していない”79.6%、“自分の生活に忙しく、ボランティア活動に参加する余裕がない”73.0%の順である。

	全体	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	不明
ボランティア活動はあくまで個人で自主的にすべきだ	274	139	94	31	7	3
	100.0	50.7	34.3	11.3	2.6	1.1
ボランティア活動は自分自身のためにするものだ	274	30	77	101	63	3
	100.0	10.9	28.1	36.9	23.0	1.1
自分の生活に忙しく、ボランティア活動に参加する余裕がない	274	96	104	42	29	3
	100.0	35.0	38.0	15.3	10.6	1.1
ボランティア活動に謝礼が出るのはおかしい	274	61	89	83	37	4
	100.0	22.3	32.5	30.3	13.5	1.5
ボランティア活動は、まだ日本では定着していない	274	86	132	39	13	4
	100.0	31.4	48.2	14.2	4.7	1.5
ボランティア活動は社会の一員としての義務である	274	17	74	113	67	3
	100.0	6.2	27.0	41.2	24.5	1.1

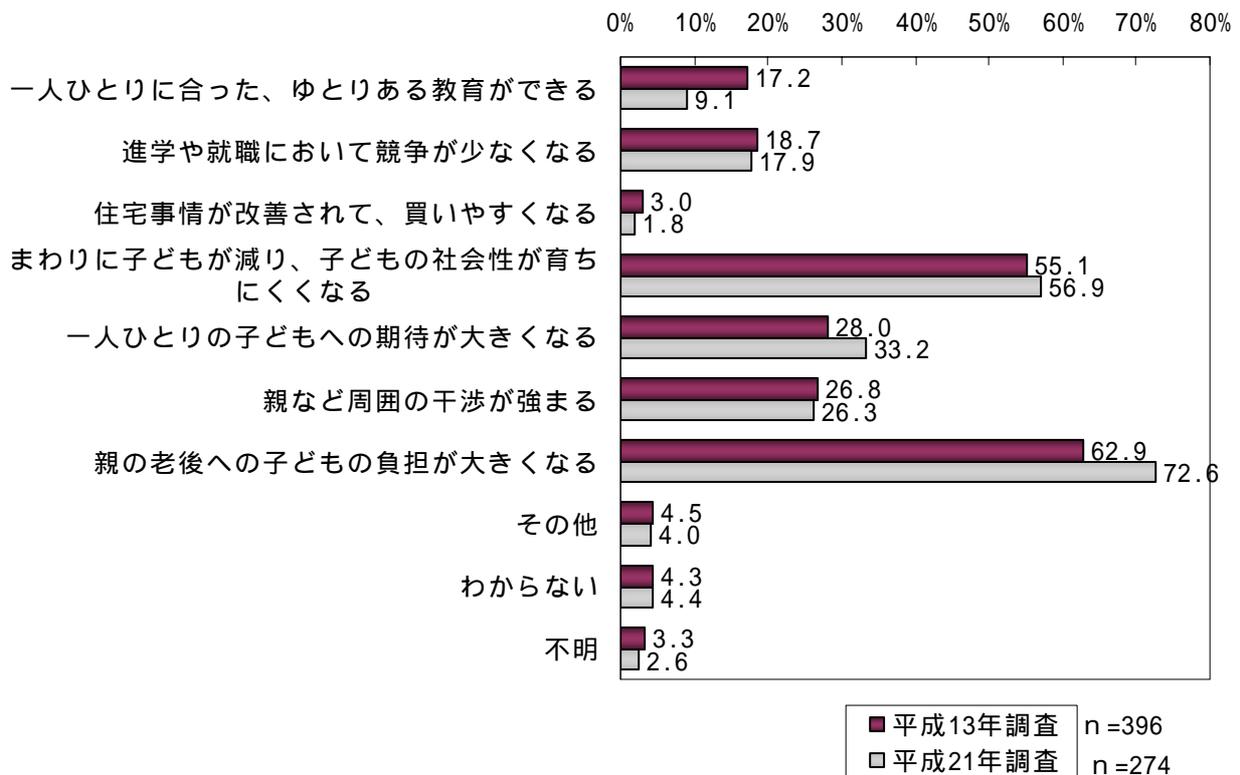
4 少子高齢化について

問 19 少子高齢化が生活に与える影響

MA

少子高齢化が生活に与える影響については、「親の老後への子どもの負担が大きくなる」が72.6%で最も多く、次いで「まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる」56.9%、「一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる」33.2%となっている。

前回調査と比較して最も増加したのは、「親の老後への子どもの負担が大きくなる」(+9.7ポイント)、最も減少したのは、「一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる」(-8.1ポイント)となっている。

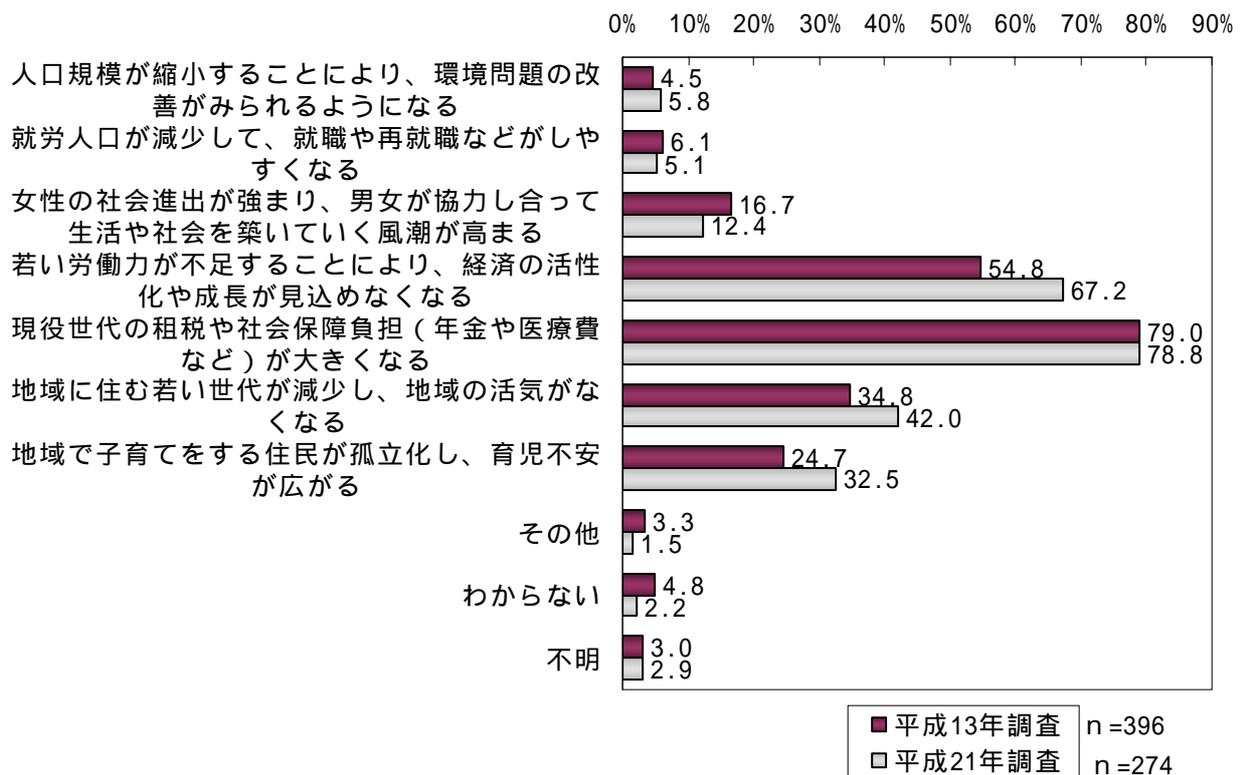


問20 少子高齢化が国や地域社会に与える影響

MA

少子高齢化が国や地域社会に与える影響については、「現役世代の租税や社会保障負担(年金や医療費など)が大きくなる」が78.8%で最も多く、次いで「若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる」67.2%、「地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる」42.0%となっている。

前回調査と比較して最も増加したのは、「若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる」(+12.4ポイント)、最も減少したのは、「女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる」(-4.3ポイント)となっている。



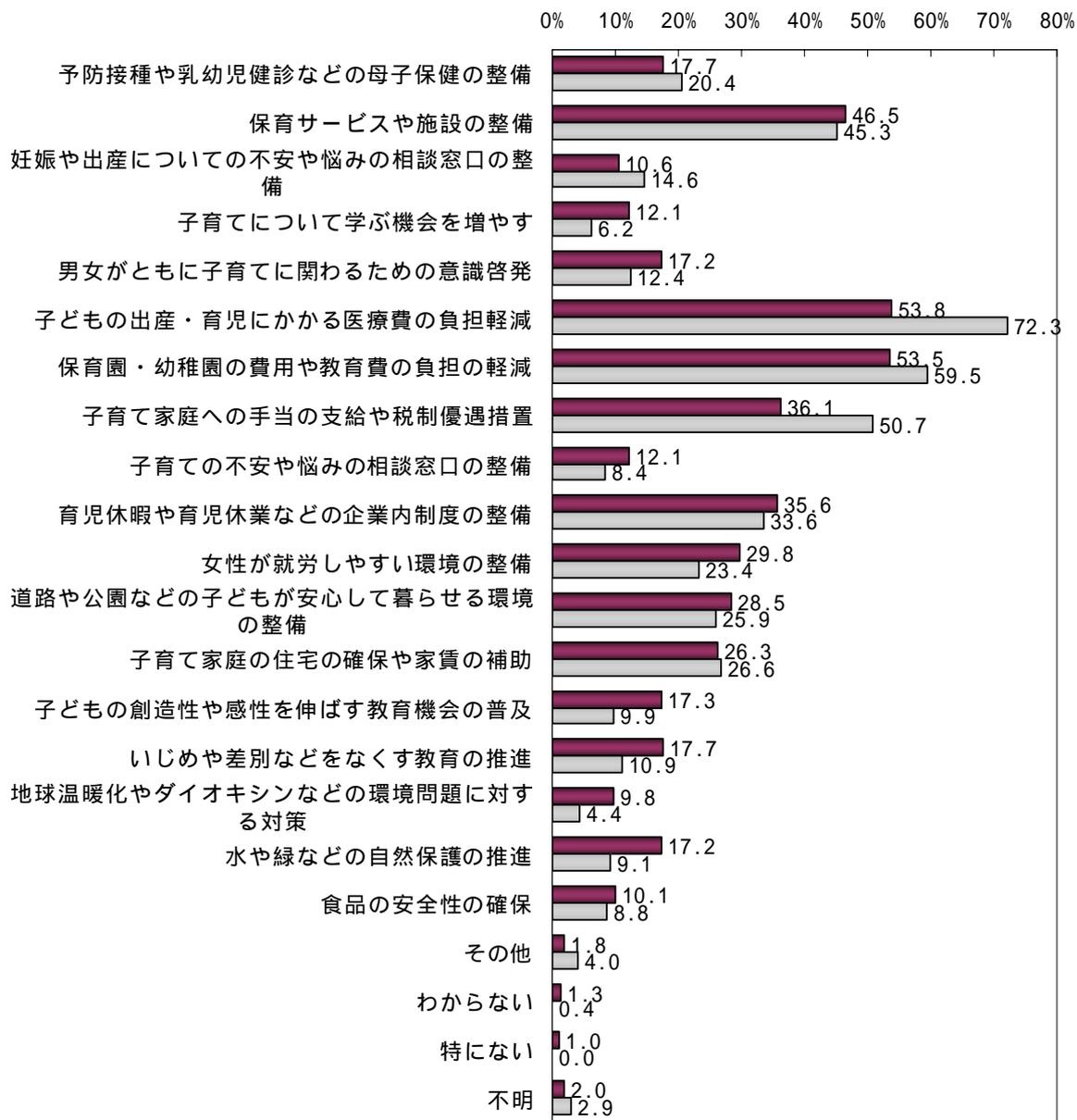
問21 市が子育てしやすい環境整備のためにすべきこと

MA

市が子育てしやすい環境整備のためにすべきことについては、「子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減」が72.3%で最も多く、次いで「保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減」59.5%、「子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置」50.7%で過半数を占めている。

前回調査と比較すると、10ポイント以上増加しているのは、「子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減」(+18.5ポイント)と「子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置」(+14.6ポイント)の2項目となっている。

逆に減少した項目では、「水や緑などの自然保護の推進」(-8.1ポイント)が最も大幅に減少している。



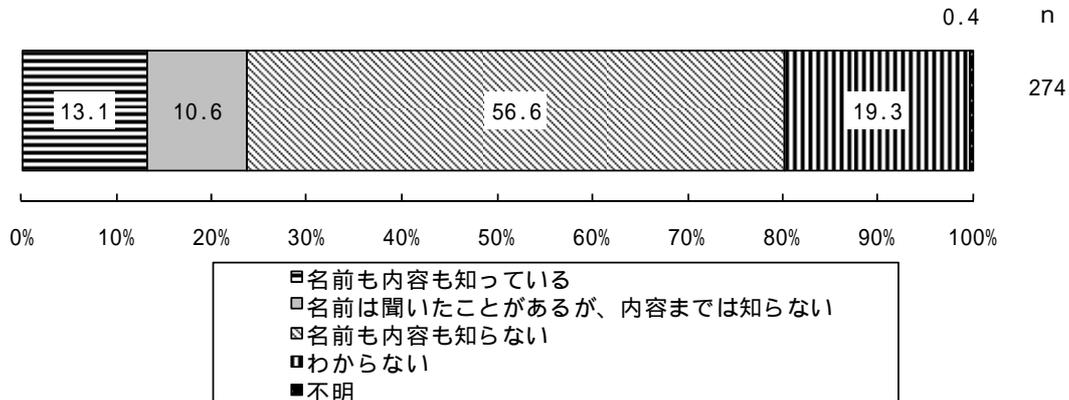
■ 平成13年調査 n=396
□ 平成21年調査 n=274

5 仕事や生活のこと

問 22 ワーク・ライフ・バランスの認知度

SA

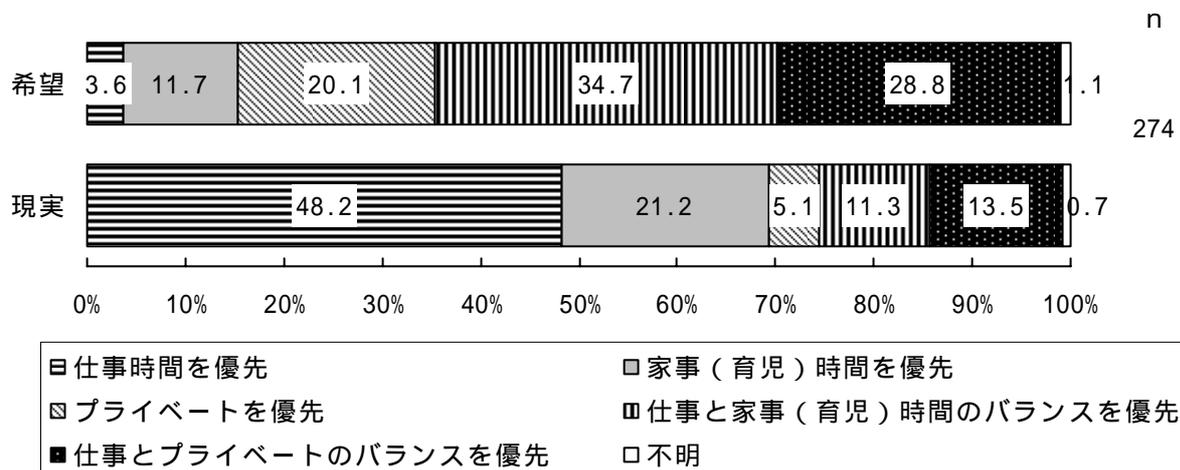
ワーク・ライフ・バランスについては、「名前も内容も知らない」が56.6%で過半数を占めて最も多く、次いで「わからない」19.3%、「名前も内容も知っている」13.1%である。



問 23 「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度

SA

「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度については、“希望”は「仕事と家事(育児)時間のバランスを優先」が34.7%で最も多く、“現実”は「仕事時間を優先」が48.2%で約半数を占めている。

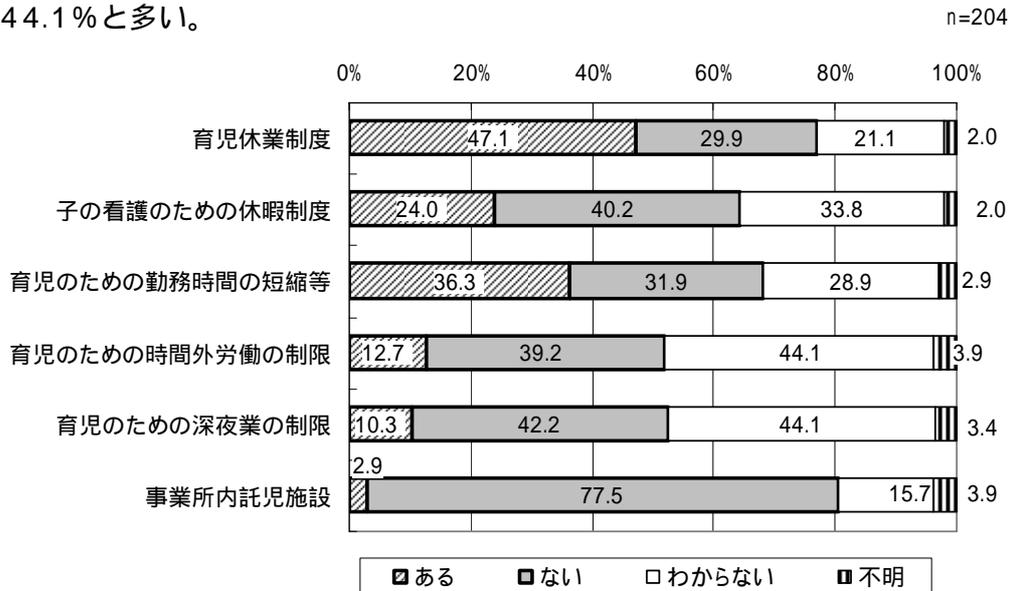


問24 勤務先の仕事と子育ての両立のための制度について

制度の有無(問32「2~7」 SA)

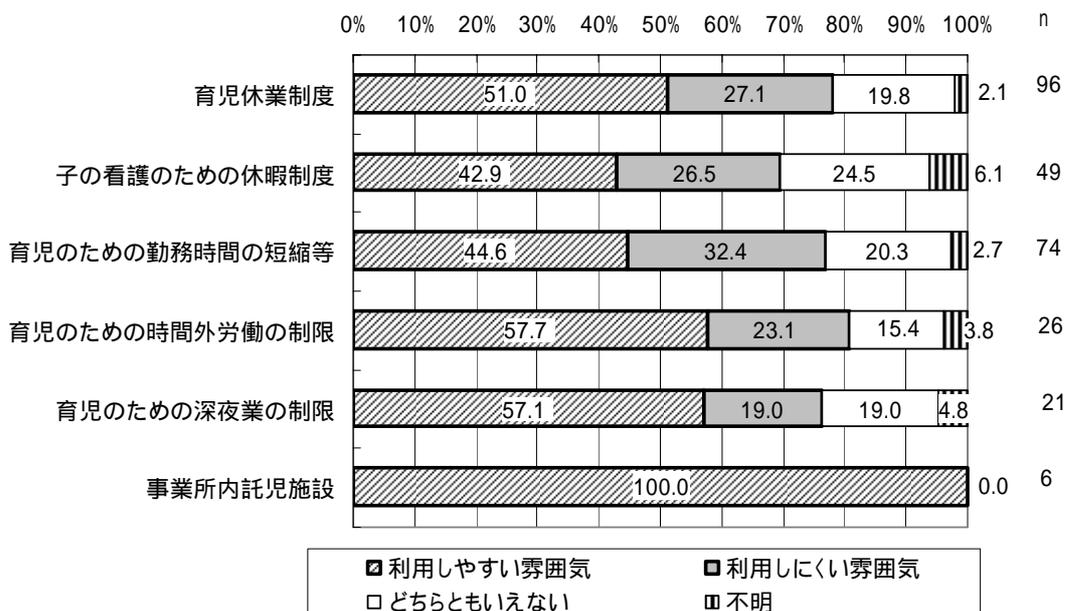
仕事と子育ての両立のための制度については、「ある」は“育児休業制度”が47.1%で最も多く、次いで「育児のための勤務時間の短縮等」36.3%、「子の看護のための休暇制度」24.0%の順である。

“育児のための時間外労働の制限”や“育児のための深夜業の制限”は、「わからない」が44.1%と多い。



制度の利用しやすさ(問24「1」 SA)

制度の利用しやすさについては、「利用しやすい雰囲気」は回答者が少ない“事業所内託児施設”が100.0%で最も多く、その他では“育児のための時間外労働の制限”57.7%、“育児のための深夜業の制限”57.1%、“育児休業制度”51.0%の順で過半数を占めている。

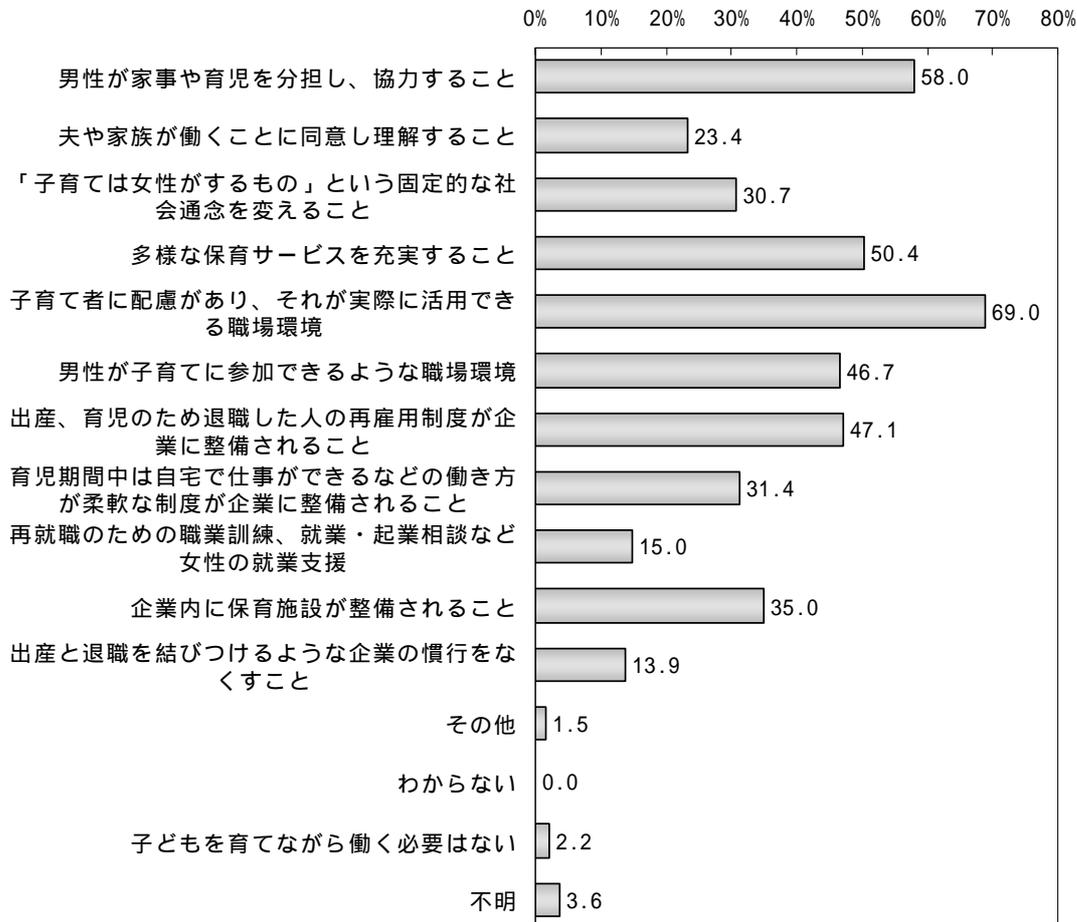


問25 共働きの子育て家庭に必要なこと

MA

共働きの子育て家庭に必要なことは、「子育て者に配慮があり、それが実際に活用できる職場環境」が69.0%で最も多く、次いで「男性が家事や育児を分担し、協力すること」58.0%、「多様な保育サービスを充実すること」50.4%の順で過半数を占めている。

n=274



6 あなた自身のこと

問26 性別

SA

No.	カテゴリー名	n	%
1	女性	176	64.2
2	男性	94	34.3
	不明	4	1.5
	全体	274	100.0

問27 年齢

SA

No.	カテゴリー名	n	%
1	25歳	20	7.3
2	26歳	59	21.5
3	27歳	46	16.8
4	28歳	49	17.9
5	29歳	96	35.0
	不明	4	1.5
	全体	274	100.0

問28 居住地区

SA

No.	カテゴリー名	n	%
1	田無町	30	10.9
2	南町	14	5.1
3	西原町	9	3.3
4	緑町	5	1.8
5	谷戸町	15	5.5
6	北原町	9	3.3
7	向台町	14	5.1
8	芝久保町	26	9.5
9	新町	10	3.6
10	柳沢	15	5.5
11	東伏見	12	4.4
12	保谷町	18	6.6
13	富士町	15	5.5
14	中町	10	3.6
15	東町	10	3.6
16	泉町	6	2.2
17	住吉町	9	3.3
18	ひばりが丘	6	2.2
19	ひばりが丘北	6	2.2
20	栄町	4	1.5
21	北町	6	2.2
22	下保谷	16	5.8
	不明	9	3.3
	全体	274	100.0

問29 居住年数

SA

No.	カテゴリー名	n	%
1	1年未満	38	13.9
2	1年~5年	107	39.1
3	6~10年	30	10.9
4	11年~15年	14	5.1
5	16年~20年	9	3.3
6	21年以上	72	26.3
	不明	4	1.5
	全体	274	100.0

問30 同居者

MA

No.	カテゴリー名	n	%
1	同居者はいない(一人暮らし)	40	14.6
2	配偶者・パートナー(単身赴任などで別居も含む)	138	50.4
3	自分または配偶者・パートナーの親	71	25.9
4	自分または配偶者・パートナーの祖母・祖父	13	4.7
5	兄弟姉妹	47	17.2
6	その他の親類	13	4.7
7	その他	33	12.0
	不明	4	1.5
	全体	274	100.0

問31 同居者数

SA

No.	カテゴリー名	n	%
1	1人暮らし	40	14.6
2	2人	78	28.5
3	3人	82	29.9
4	4人	51	18.6
5	5人	14	5.1
6	6人	5	1.8
7	7人以上	4	1.5
	不明	0	0.0
	全体	274	100.0

問32 職業

SA

No.	カテゴリー名	n	%
1	学生	3	1.1
2	民間企業の会社員(正社員)	117	42.7
3	公務員	11	4.0
4	自営業・自由業	14	5.1
5	パート・アルバイト	37	13.5
6	嘱託	3	1.1
7	派遣	22	8.0
8	無職	40	14.6
9	その他	25	9.1
	不明	2	0.7
	全体	274	100.0

第 5 章 自由意見

自由記述については意見数が多いため、ここでは各アンケート種類の意見内容ごとに主な意見を分類しまとめている。なお、各調査の意見数は以下のとおりである。

・就学前児童調査	494 件
・小学生児童調査	391 件
・一般市民調査	169 件

就学前児童調査

地域における子育て支援の充実

- ・子育てに関する情報をどうやって手に入れるのかわかりません。このアンケートのように郵送していただくと助かります。市の発行する情報誌では案内が不十分な気がします。利用の対象者がどうかもわかりづらいです。
- ・出産前の母親学級、出産後の育児相談、講習会等、充実していて子育てに力を入れている市だと思っている。
- ・ファミリーサポートのお金の受け渡しが面倒なので、まとめて振込む、又は他の手段を検討して欲しい。
- ・金銭的な負担・利用条件などにより、ファミリーサポートセンターが利用しにくい。手当てや助成制度が全て児童手当の取得制限を適用している事に不満。かたや全て受給される世帯と一切受けられない世帯に分けられるのはあまりに不平等。

保育サービスの充実

- ・保育園の受け入れ人数を増やして欲しい。延長保育時間をもう少し長くして欲しい。
- ・とにかく保育園を増やして欲しい。女性に働く機会を与えて欲しい。入園に関して条件を設けず誰でも子どもを預けられる状態が望ましいと思う。
- ・一時保育をもっと利用しやすくして欲しい。実施している園が少なく定員も少ない。自分が病気や怪我で育児が出来なくなった時を考えると不安な為、保育園の新設・拡大等の援助を真剣に検討して頂きたい。
- ・上の子が保育園に在園中で1歳半までに復帰しないと上の子が退園になると言うのはおかしいと思う。

子育て支援のネットワークづくり

- ・子育てネットワークの充実。サークル活動の情報公開。海外などの国際交流の情報が欲しい。
- ・働きながら子育てをするお母さん向けに講演会やサークルがあって、そういうものに参加しやすい告知があれば良いと思います。
- ・児童館のサークル活動を隔週ではなく毎週して欲しい。

地域における子供の活動拠点の充実

- ・学童が終了してしまった後の子どもの居場所（特に休み中）を作って欲しい。
- ・子ども達が安心・安全な公園を沢山作って欲しい。
- ・小学校で夕方まで預かってくれるような、子どもクラブ等の活動を作って欲しい。

妊娠・出産や母親・乳児の健康に対する支援

- ・市内に産婦人科がとてもすくなく、今あるところも医師が減って、対応してくれるのか不安です。第二子以降は子連れでの通院になるので出来るだけ近くがいいです。
- ・医療費（出産・妊婦健診）を無料にして欲しい。
- ・産後の健康診断をしてほしい。
- ・早めの対応が日常的に出来る様な小児科の診察時間がもう少し長くなると良いと思う。
- ・健診をもっとスムーズにして欲しい。

子どもの教育環境

- ・小学校はとても楽しそうですが、中学校に給食施設を希望します。食育が大切になってきている今、中学生にバランスの良い温かい給食を教育の場で皆で学びながら食べる事は必須です。
- ・幼稚園（保育園）と小学校の連携が必要だと思う。小学校低学年までは色々な面で幼児から抜け切れていないので細かいケアが必要と思う。
- ・現在利用したい学童クラブは18時までとなっており、迎えに行く必要があります。有料の19時半頃までの延長保育サービスがあったら心強いと感じる。

子育てしやすい住居・まちの環境面での充実

- ・公園が少ない。あっても小さく物足りない。遊具が古く、整備が行き届いていない。
- ・子ども・高齢者に対して社会全体が冷たい。公共交通機関はベビーカー等を使い難く、子ども二人を連れて利用するのはとても大変。誰も助けてくれない。
- ・上の子（5歳）が自転車に乗れるようになったので、歩道（自転車用の道）の整備をしっかりとって欲しい。具体的にもう少し広い歩道の確保。

仕事と家庭生活の両立

- ・未だに子どもの体調で急に休む事になったり残業が出来ずにいる。保育園のお迎え時間や手助けを見ると、本当の弱者には厳しいシステムではないでしょうか。本当に必要な人達をサポート出来なければ格差が広がるだけだと思う。
- ・育児休業のお休みを貰える人はかりではないので、出産で辞めなければならなくなった時、産休後半年くらいは仕事を探す・体を休めるなどの時間を取る為に子どもが継続して保育園に通える様にして欲しい。
- ・職場の育児支援体制が不完全である。

子どもを対象にした犯罪・事故の軽減

- ・不審者情報を時々耳にします。登下校時や夕方の見回りがあると良い。
- ・市から事故や事件のメール配信はないのでしょうか
- ・犯罪面で気になる事もありますが、皆が声を掛け合い子ども達の成長を見守っていける『街』であって欲しい。

要保護児童に対する支援

- ・母子家庭の支援が足りない。民間の住居だと家賃が高く、小さい子どもが居るだけで拒否される。
- ・障害児でも集団生活に適応出来れば就労条件で保育園へ入れる制度には感謝している。しかし、訓練等が出来る施設は平日のみだったり、送迎が必要だったり、その様な子どもを持

つ親は働くなと言う事なのだろうかと思う。

- ・まだまだ発達障害に対する理解や支援に関する課題は大きいという事はよく認識しているので、皆がきちんと勉強していく事と地域のネットワーク作りの重要性を非常に感じている。

小学生児童調査

地域における子育て支援の充実

- ・友人がいない人はやっぱり子育てしていくのは不安なような気がします。友達づくりのできる場をもっと市で提供してあげて欲しいと思います。地域のおせっかいおばちゃんみたいな人を紹介してあげるといいかもしれません。
- ・子育てするすべての方が、周囲と助け合うことが出来たら良いなあと思います。
- ・子育て支援の支給が小学校で終わってしまうのは厳しい。3人の子供がいるので経済的にも負担が大きいのでせめて中学まで続けて欲しい。就学免除給付金も子どもが多い家庭の年収基準を上げて欲しい。
- ・「入所希望の児童はすべて学童で受け入れる」という西東京のシステムは素晴らしいと思います。あとは学童クラブで一日の開所の開所時間を早くする。閉所時間を延長するなどできればと思う。

保育サービスの充実

- ・保育園、学童（児童館）などを専業主婦でもお願いしたい時に利用できるとうれしい。（せめて病院（婦人科）、具合の悪い時に幼児を連れて病院へ行くのはとてもつらい事です）
- ・保育園になかなか入れないので働くのをあきらめている人が多いです。半日程度の預かりを安くお願いできる保育園が増えるとパートで働くこともできると思います。
- ・当時は気軽に一時保育ができず、病院や買い物に行くにも小さな子を連れて歩かなくてはならなかったのが毎日大変だった。保護者の精神的な負担をかるくするためのサービスを今後行ってほしいと思います。

子育て支援のネットワークづくり

- ・親子で遊べるサークル活動などの場がもっとあるとよかった。
- ・同じ悩みを持つお母さん方と話し合う機会が欲しい。スクールケアの先生に相談に乗ってもらい少し気持ちが楽になりますがなかなか本音を話すことが出来ないのが本音を話せるサークルが欲しい。
- ・転入した場合、子どもの年に合わせたサークルなど紹介して頂けるとありがたいです。

地域における子どもの活動拠点の充実

- ・放課後残って遊ぶ（武蔵野市風でいう）"あそべえ"の様なものはないのでしょうか？是非西東京市も取り組んでください。
- ・子ども達が思いきり遊ぶことができる場所があれば良いと思います。公園はボール遊び等ができず、学校の校庭開放も利用していますが、校庭開放は時間が短いため平日はほとんど利用せずにいます。

妊娠・出産や母親・乳児の健康に対する支援

- ・悩みなどがある時はここから電話ができる相談窓口があったり保健婦さんが個別訪問してくれたらよかったと思う。
- ・実は私は2人目不妊で悩み8年が過ぎています。治療するのは経済的に大変です。西東京市は何か支援して下さっているのでしょうか。何もしなかったらして頂きたいです。
- ・産後の健診に使えるはなバスの無料券とかあればいいです。
- ・初産の後の最初の一か月はうつ病になりやすく周囲に手助けがない人は大変です。この間に助産婦とか保健婦とかの資格のない人でも、子育て経験がある人で充分なので週1～2回家に訪問するような形の支援が切実に欲しかったです。

子どもの教育環境

- ・公立中学生への補助の分を私立中学生へも同様に補助をして平等にして欲しい。
- ・子どもの教育環境の充実をはかりよりよい教育を受けられること。
- ・学校の設備をしっかりと整えてほしい。
- ・中学校での弁当を給食にしてほしい。仕事をしている親がふえた為そういった事に対する助けなどがあると良い。

子育てしやすい住居・まちの環境面での充実

- ・道路が狭い、歩道が狭いです。ベビーカーが押しづらく自転車も走りづらい、危ないです(ふみきりも)整備をお願いします。
 - ・親が見ていなくても家の周りを遊べる安全な町づくりしていただきたいし、子どもが野球、サッカー遊具など体を使った遊びができる広い公園をたくさん増やしていただきたいです。
- 仕事と家庭生活の両立

- ・これからは女性も働く時代となり保育の充実した町づくりが求められていると思います。
- ・保育園の先生や児童の先生に支えていただきながら働けている今は大変幸せだと感謝しております。

子どもを対象にした犯罪・事故の軽減

- ・子どもが犯罪に巻き込まれないよう事故防止など安全性の高い町づくりをして欲しい。
- ・市の対策として子ども達の放課後パトロールを対策として行ってほしいと願います。

要保護児童に対する支援

- ・私は外国人で日本で子育てをする時の情報、さみしさなどもあったのですが、それは夫の支えでなんとかのりきれましたが、外国人の方の子育ては何倍も大変なことがあると思います。このような方への支援もよろしくおねがいします。
- ・障害のある子どももなるべく居住地の近くで親子ともども知人が一番多く出来る状況での生活が可能になる様に支援して頂けたらと思います。

意識調査（25～29歳）

地域における子育て支援の充実

- ・積極的な、出産、子育て支援を強く願います。
- ・低所得でも安心できる、育児・出産の優遇措置。
- ・育児不安を抱えている親御さんたちにとって、受け皿となる支援センター等の場合は、とても貴重な場だと思います。地域に根付いた支援をするためにも、出来るだけ多くの『場』を作って欲しいと思います。

保育サービスの充実

- ・保育園や学童保育の施設やサービスの充実を望んでいます。私たちのような、祖父母と同居しない家庭にとって、保育サービスの充実は、育児のみならず、生活を送るためにとても重要な部分を占めていると思います。現実には一時保育は市内で空きがなかったり、学童も定員オーバーで困っています。妻が就労したくても預ける場所が無いです。
- ・子どもの保育園に空きが無く、市外の認可へ預けています。これからは共働き夫婦が増えると思うので、少子化とはいえ、保育園の需要が増すと思うので、充実を図って欲しい。

子育て支援のネットワークづくり

- ・1歳児・2歳児の集まれる場所・機会をもっとつくってほしい。例えば、ひがし保育園のこちゃんに行けない子どもや親はどこで交流しているのかと思う。

妊娠・出産に対する支援

- ・子育て支援もとても大切な事だと思いますが、その前に、不妊に対することをもっと考えて欲しいです。何人産んだら援助が受けられるではなく、産める様な治療が十分にできるようなお金の使い方と環境を整えてほしいです。
- ・子どもはまだまだ欲しいのですが、妊婦検診や出産の費用を考えると、一人でいいかと思ってしまう。
- ・今子どもがたくさん欲しいと思う一方、金銭的なことを考えると多くても二人だと思う。出産費用に対する支援を考えてほしい。

母親・乳児の健康に対する支援

- ・医療費免除の対象年齢を引き上げて欲しい。児童手当の増額。もう一人子どもが欲しくても、毎月の育児費用を考えると産みづらい。

子どもの教育環境

- ・小家庭の教育力（躰）の低下が心配。核家族化で親の負担も大きい。行政、学校、市民が連携し、地域で子育てが出来る制度、雰囲気づくりが必要。

子育てしやすい住居・まちの環境面での充実

- ・より安全に、楽しく、笑顔になる、まちづくりを続けてください。
- ・子育てをするうえで、まず環境が整っている事が大切です。子育てしやすい環境作り。例えば、子どもたちが伸び伸びと自由に遊べる公園や緑を増やす。
- ・道が狭いのを何とかして欲しい。
- ・もっと助成金（育児・住宅）の整備をしてほしい。

仕事と家庭生活の両立

- ・ 仕事のために子どもを保育園へ預けるときに、希望する園に100%入れるような環境に整えて欲しい。復帰意欲があったとしても、待機児童の数で不安になったり、復帰の明確な時期を決定できないため、仕事への影響を懸念して、退職を決断するひと多いと思う。少子化にもつながると思う。
- ・ 制度を整備したところで、現実的に子育ての為に支援制度を利用しづらい風潮はまだ根強く残っているように思います。（例えば男性が育児休暇をとる等）未来を担う子どもたちがよりよい環境で過ごせるように、せっきくの新しい制度をもっと当たり前誰かが利用できるようになってほしいと願います。

子どもを対象にした犯罪・事故の軽減

- ・ 保育園、幼稚園、学校のセキュリティー強化など費用を投資すべきことはたくさんあるはずです。事故が発生してからでは遅いのに、行政の動きの無さには毎度「またか」と思わされてしまいます。

結婚・子育てについて

- ・ 不景気の中、結婚したくても出来ない人たちが大勢いると思います。安心して子どもを育てられる環境・経済力が欲しい。このアンケートを生かして、子どもの育てやすい、住みやすい環境を実現させてください。
- ・ 今後、結婚・子育て等をしていく予定ではあるが、子育てに必要な資金がどれくらいかかるかなど、もっと知れるといいとおもう。

行政

- ・ 市役所の受付時間を、会社帰りでも行ける様に延ばしてほしい。
- ・ 市民税、住民税が高すぎて、不満です。

その他

- ・ 若者の就職難を一刻も早くなんとかしなければならない。
- ・ 今、就職活動に悩んでいる若者が増えているから、今の若者が就職できるようにしてもらいたい。

資料編

用語解説

一時保育

断続的、短期的就労等や保護者の社会活動への参加、冠婚葬祭、育児疲れのリフレッシュ等さまざまな理由で家庭での育児が困難になったとき、一時的にお子さんをお預かりする制度。

園庭開放

園庭を開放し地域のお子さんと園児と一緒に遊べる場を提供している。公立保育園全園、田無北原保育園、柳橋保育園、和泉保育園において開放（園により開放時間が異なる）。

学童クラブ

小学校等に就学しているおおむね10歳未満の児童が、保護者の就労や疾病等により昼間家庭にいられない場合、保護者に代わって学童クラブにおいて生活の場を確保し、適切な遊びや指導をおこなうことで、心身の健全な育成を図ることを目的としている。

緊急一時保育

保護者の急な病気や出産のための入院、家族の急な入院による介護等により家庭で保育が困難になったときなどの緊急時に、一時的にお子さんをお預かりする制度。

公立・私立保育園（認可保育所）

認可保育所とは、児童福祉法に基づく児童福祉施設で、国が定めた設置基準（施設の広さ、保育士等の職員数、給食設備、防災管理、衛生管理等）をクリアして都道府県知事に認可された施設。保護者が就労や疾病等の理由で、0歳～小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。

子育て支援ショートステイ事業

保護者が病気や出産、介護など、やむを得ない事情で一時的にお子さんの世話ができないとき、市が委託している児童養護施設でお預かりする事業。

子育て相談

育児や子育てに関わる悩みや不安について、保育園の職員が相談を受ける。

子ども家庭支援センターのどか

子どもと子育て家庭に関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携、子どもと家庭を支援する施設。子どもや家庭に関する相談、子育てひろば事業、子育て講座の開催などを実施。

子ども家庭相談

子育てに関する不安や悩みごとをお持ちの方に電話、面接で相談をお受けし、ご要望があれば心理専門相談やさまざまな専門相談機関を紹介する。

事業所内保育施設

企業等が従業員の子どもを対象として、事業所内または隣接地に設置する保育施設のこと。

児童館・児童センター

児童館とは児童福祉法に基づく児童厚生施設で、0歳から18歳までを対象とし、年齢の異なる子どもたちが一緒に遊んだり、様々な体験をしながら、共に育っていくことを目的とした地域の遊び場。児童センターには、子どもたちの体力増進を図る設備があり、体力増進指導委員という専門の職員が配置されている。

子育てひろば（乳幼児交流施設）

0歳から3歳までの乳幼児とその保護者が自由に遊べる交流広場。のどかひろばとピッコロひろばの2箇所がある。

地域活動事業

公立保育園全園、私立保育園全園で、地域のお子さんと園児が交流できる環境づくりのお手伝いをしている。夏祭りなど季節ごとにいろいろな行事等を行っている。

地域子育て支援センター事業

施設内の一室に集いの部屋があり、就学前までのお子さんと家族、これから親になる方に子育て相談、子育て講座等の各種子育て支援を行っている。市内では、市立なかまち保育園内 地域子育て支援センター「なかまち」、市立けやき保育園内 地域子育て支援センター「けやき」、市立ひがし保育園内 地域子育て支援センター「ひがし」の3箇所を実施している。

認証保育所

認証保育所は、東京都の認証を受けた保育所で、A型とB型の2種類がある。A型は駅前基本型（20から120人定員）、B型は小規模・家庭的保育所（6から29人定員）。

認定こども園

保育所及び幼稚園等における小学校就学前の子どもに対する保育及び教育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う施設であり、都道府県知事が認定する。保育に欠ける子どもも欠けない子どもも受け入れて教育及び保育を一体的に提供する。また、子育て不安に対応した相談や親子のつどいの場を提供する。

認可外保育室

定員29人以下の小規模な民間の保育施設。東京都や市の補助対象基準を満たしている施設。

病後児保育室

病気回復期にあって、保育園・幼稚園・小学校などに通えないお子さんを一時的にお預かりする施設。また、保育園などに通っていなくても、保護者の都合により看護できない病後児もお預かりする。西東京市が医療機関へ実施運営を委託している。

ファミリー・サポート・センター

地域での子育て支援を目的として、子どもを預けたい方（ファミリー会員）と子どもを預けたい方（サポート会員）がお互いに会員となり助け合う組織。その会員間で「子どもを預かる」という有償の相互援助活動を行う。

保育ママ（家庭福祉員）

保育士等の資格を持ち保育経験がある方を市が認定し、その家庭の中で3歳未満のお子さんをお預かりして保育する通称「保育ママ」と呼ばれている制度。東京都や市の補助対象基準を満たしている施設。

子育て支援ニーズ調査 アンケート調査 ご協力のお願い

西東京市では、次代を担う子どもの健やかな成長と子育てを支える新しい地域社会の形成を目指して、平成17年3月に「西東京市次世代育成支援行動計画（前期計画=平成17～21年度）」を策定し、これに基づき、さまざまな子育て支援事業を実施いたしております。

このたび、同計画の後期計画（平成22～26年度）の策定に先立ち、市民の皆様のご意見などに関する生活実態やご要望・ご意見を把握するために、「ニーズ調査」を実施することといたしました。

このニーズ調査は、住民基本台帳の中から小学校就学前（0歳～5歳）のお子さん1,500名を無作為に選び、その保護者の方を対象にお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本ニーズ調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【回答にあたってのお願い】

- 1 封筒の宛名のお子さんについてお答えください。
- 2 アンケートは、お子さんの保護者の方にお答えください。「あなた」とは、アンケートに回答される方を表します。
- 3 お答えは、選択肢の番号（1 2 3）に○をつけて選ぶ場合と、数字を記入する場合があります。
- 4 「1つに○」、「あてはまるものすべてに○」など、○をつける数が設問によって異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
- 5 設問によって、回答する方が限られている場合があります。ことわり書きや矢印に沿ってご記入ください。
- 6 ご記入いただいた調査票は1月26日（月）までに、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。
- 7 ご記入いただいた内容につきましては、調査の目的以外に使用いたしません。
- 8 この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<お願い> 子育て支援ニーズ調査は、0歳から小学生をお持ちの保護者を対象に実施しています。このため、対象となるお子さんが複数いるときは、同様の調査票が届く場合があります。その場合には、年齢が一番低いお子さんの調査票をお書きください。

■ニーズ調査(アンケート調査)の実施者 西東京市

■【お問い合わせ】 西東京市子育て支援部子育て支援課調整係(田無庁舎1階)

電話:042-464-1311(内線 1521・1522)

FAX:042-466-9666

Eメール: kosodate@city.nishitokyo.lg.jp

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成 年 月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、おさんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

人 末子の年齢 歳

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------|----------------|----------------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居（ひとり親家庭） | 3. 母同居（ひとり親家庭） |
| 4. 祖父同居 | 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 |
| 7. 祖母近居 | 8. その他 | |

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

問4-1は、問4で「1」または「2」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他

問4-2は、問4で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。

1. 主に父親 2. 主に母親 3. 主に祖父母 4. その他

問6 お住まいのまちはどこですか。

1. 田無町 2. 南町 3. 西原町 4. 緑町 5. 谷戸町 6. 北原町
 7. 向台町 8. 芝久保町 9. 新町 10. 柳沢 11. 東伏見 12. 保谷町
 13. 富士町 14. 中町 15. 東町 16. 泉町 17. 住吉町 18. ひばりが丘
 19. ひばりが丘北 20. 栄町 21. 北町 22. 下保谷

2. 封筒の宛名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

（1） 父親 【母子家庭の場合は記入不要】

1. 就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時刻についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時刻〔 〕時 】
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についてお伺いします。
【1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③希望はない】
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

（2） 母親 【父子家庭の場合は記入不要】

1. 就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時刻についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時刻〔 〕時 】
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についてお伺いします。
【1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③希望はない】
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

問8は、問7の「（2）母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は、問9へお進みください。

問8 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 有（すぐにでも、若しくは1年以内に希望がある） (→ 問8-1へ)
2. 有（1年以上先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）
..... (→ 問8-1へ)
3. 無 (→ 問9へ)

問8-1及び問8-2は、問8で「1.有（すぐにでも、若しくは1年以内に希望がある）」、「2.有（1年以上先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

問8-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。（パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。）

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労
(週当たり〔 〕日・一日当たり〔 〕時間)

問8-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保育サービス（*）が利用できれば就労したい
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない

問10-3 保育サービスを利用されている理由についてお伺いします。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 現在就労している	
2. 就労予定がある／求職中である	
3. 家族・親族などを介護しなければならない	
4. 病気や障害を持っている	
5. 学生である	
6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育のため	
7. その他 ()	

問10-4 利用された保育サービスについての満足度はいかがですか。あてはまる答えの番号を1つだけ○をつけてください。

1. 満足	2. まあまあ満足
3. やや不満	4. 不満

問10-5は、問10で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

問10-5 保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1. (子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さいため。 (_____歳くらいになったら預けようと考えている)
9. その他 ()

すべての方に、サービスの利用希望について、お伺いします。

問11 封筒の宛名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間)が足りていないと思うサービスはどれですか。

現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。次の中からあてはまる答えの番号を選んで○をつけてください。

1. 公立・私立保育園(認可保育所) (国が定める最低基準に適合した施設)	8. 幼稚園(通常の就園時間)
2. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、東京都が認証・認定した施設)	9. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間で都道府県等の認可を受けたもの) 間延長して預かるサービス
3. 家庭的な保育 (保育ママ:保育者の家庭等で子どもを預かるサービス)	10. 延長保育
4. 事業所内保育施設 (企業が従業員用に運営する施設)	11. ベビーシッター
5. 認定こども園 【共通利用時間のみの保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)	12. ファミリーサポートセンター (地域住民による子どもの預かりサービス)
6. 認定こども園 【共通利用時間(4時間程度)以上の保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)	13. 一時預かり(一時保育)
7. その他の保育施設	14. 病児・病後児保育 (子どもの病時・回復期の保育)
	15. 特になし

問11-1及び問11-2は、問11で「1」～「12」の選択肢を選んだ方にお伺いします。選択されたサービスそれぞれについてお答えください。

問11-1 今後の利用希望についてお伺いします。

1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)保育サービス(延長保育なども含めず)を希望しますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず9:00～18:00(例)のように24時間制でご記入ください。

選択したサービス番号

→ 1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～時)

選択したサービス番号

→ 1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～時)

選択したサービス番号

→ 1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～時)

問13-5 西東京市内の病後児保育室を利用されたかたに伺います。利用されたサービスの満足度はいかがですか。

1. 満足	2. まあまあ満足
3. やや不満	4. 不満

問13-6 今は利用していないが、今後利用したいと思いますか。希望がある方は枠内に○をご記入ください。

1. 利用したい	2. 利用する予定はない
----------	--------------

5. すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりの件についてお伺いします。

問14 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

1. ある → 年間 <input type="text"/> 日	(理由別)
	① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的 <input type="text"/> 日 ② 冠婚葬祭、子どもの親の病気 <input type="text"/> 日 ③ 就労 <input type="text"/> 日
2. ない	

問14-1 西東京市の子どもの一時預かり（一時保育事業）を知っていますか。
【一時預かり（一時保育事業）……1歳から就学前の子どもを対象に、さまざまな理由で、一時的に家庭で保育ができなくなったときに、昼間、保育園で預かる事業。現在、ほうやちょう保育園、しもほうや保育園、西原保育園、みどり保育園、田無保育園で実施。有料。】

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問14-2 西東京市の子どもの一時預かりサービス（一時保育）を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある (⇒問14-3へ)
2. 利用したことはない (⇒問14-4へ)

問14-3 西東京市の子どもの一時預かりサービス（一時保育）を利用された方にお伺いします。利用されたサービスの満足度はいかがですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 満足	2. まあまあ満足
3. やや不満	4. 不満

問14-4 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に <input type="text"/> 日くらい

6. すべての方に、宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりの件についてお伺いします。

問15 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む） (→ 問15-1,2へ)
2. なかった (→ 問15-3へ)

問15-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

問15-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。）

1. (同居者を 含む) 親族・知人 に預けた <input type="text"/> 泊	→	1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
------------------------------------------------------	---	----------	--------------	-------------

2. 保育サービス（※右横注）を利用した	<input type="text"/> 日	※ショートステイ事業を実施している施設、ベビーシッター、ベビーホテルなど
3. 仕方なく子どもも同行させた	<input type="text"/> 日	
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日	
5. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 日	

問15-3 西東京市の宿泊を伴う子どもの一時預かり（ショートステイ事業）を知っていますか。
【ショートステイ事業……保護者が病気等で一時的に子どもの面倒を見ることができないとき、西東京市の委託する児童養護施設で子どもを預かる事業。有料。】

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問15-4 西東京市の宿泊を伴う子どもの一時預かり（ショートステイ事業）を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある (⇒問15-5へ)
2. 利用したことはない

問15-5 西東京市の宿泊を伴う一時預かり（ショートステイ）を利用された方にお伺いします。利用されたサービスの満足度はいかがですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 満足	2. まあまあ満足
3. やや不満	4. 不満

7. 来年度就学予定の児童を持つ保護者の方にお伺いします。

問16 宛名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、学童クラブを利用したいと思いませんか。

【学童クラブ……放課後帰宅しても保護者の労働、疾病等の理由により、適切な監視を受けられない児童を、一定時間組織的に指導することにより、児童の放課後の危険防止及び健全育成を図るために設置。西東京市内の学童クラブは28箇所。】

1. 利用したい	⇒ 週 <input type="text"/> 日くらい
2. 利用予定はない	

8. すべての方に、ベビーシッターの利用についてお伺いします。

問17 ベビーシッターを知っていますか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

ベビーシッターを利用していらっしゃる方にお伺いします。

問17-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. その他の目的で利用している

問17-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますが、枠内に数字をご記入ください。

月に <input type="text"/> 日くらい	1回あたり <input type="text"/> 時間程度
------------------------------	---------------------------------

問17-3 ベビーシッターを利用された方にお伺いします。利用されたサービスの満足度はいかがですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 満足	2. まあまあ満足
3. やや不満	4. 不満

9. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問18 ファミリーサポートセンターを知っていますか。

【ファミリーサポートセンター……地域での子育て支援を目的として、子どもを預けたい人（ファミリー会員）と子どもを預かりたい人（サポート会員）が互いに会員になり、その会員間で「子どもを預かる」という有償の相互援助活動を行うもの。西東京市では社会福祉協議会に運営を委託。】

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問18-1 ファミリーサポートセンターを利用していますか

1. 利用している	(→ 問18-2~5へ)
2. 利用していない	(→ 問18-6へ)

問18-2 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. 保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他の目的で利用している

問18-3 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に <input type="text"/> 日くらい	1回あたり <input type="text"/> 時間程度
------------------------------	---------------------------------

問18-4 利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に <input type="text"/> 時間くらい

問18-5 ファミリーサポートセンターのサービスを利用された方にお伺いします。利用されたサービスの満足度はいかがですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 満足	2. まあまあ満足
3. やや不満	4. 不満

問18-6 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に <input type="text"/> 時間くらい

14. すべての方に、子育てについての相談状況についてお伺いします。

問24 あなたは、子育てについて、気軽に相談できる人(場所)がいる(ある)と思いますか。
「1 いる(ある)」と回答した方は、当てはまるものを選択肢の中から選んで○をつけてください。(○はいくつでも)

1. いる(ある)	2. いない	
1. 配偶者	2. 子どもの祖父母	3. 自分または配偶者の兄弟姉妹
4. 親類	5. 友人・知人	6. 近所の人
7. 職場の人	8. 子育て中の仲間	9. 認可保育所
10. 認証保育所・保育室	11. 幼稚園	
12. 学童クラブ	13. 民生・児童委員	14. 病院・診療所
15. 子ども家庭支援センターのどか・保健福祉総合センター		
16. 保健所・保健相談所	17. 児童館	
18. 児童相談所	19. 教育相談室	20. 市役所
21. 民間の相談サービス	22. 子育てセミナーや育児教室	
23. 育児書・育児雑誌・新聞	24. テレビやラジオ	
25. 電話相談サービス	26. インターネット	
27. その他 ()		
28. 相談する人(場所)がなかった		

問25 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度について「希望」するものと、「現実」での優先度はどのようになっていますか。
「希望」と「現実」、それぞれにあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

	希望(1つに○)	現実(1つに○)
1. 仕事時間を優先	1	1
2. 家事(育児)時間を優先	2	2
3. プライベートを優先	3	3
4. その他	4	4
	()	()

15. 妊娠・出産・子育ての流れの中での感想についてお伺いします。

問26 妊娠期から今までをふりかえって、その時々のお気持ち等についてお伺いします。

問26-1 出産前のことについて

① お母さんはその時、どのようなお気持ちでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても楽しかった	2. やや楽しかった
3. ややつらかった	4. とてもつらかった

② 大変だったことは何ですか。具体的にご記入ください。

③ そのとき、誰が一番支えになってくれましたか。具体的にご記入ください。

④ 誰に支えてほしかったですか。具体的にご記入ください。

⑤ どういう支援があるとよかったですか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 一時保育	2. 個別訪問
3. 家事援助	4. 相談
5. その他 ()	

問26-2 出産後1ヶ月頃のことについて

① お母さんはその時、どのようなお気持ちでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても楽しかった	2. やや楽しかった
3. ややつらかった	4. とてもつらかった

② 大変だったことは何ですか。具体的にご記入ください。

③ そのとき、誰が一番支えになってくれましたか。具体的にご記入ください。

④ 誰に支えてほしかったですか。具体的にご記入ください。

⑤ どういう支援があるとよかったですか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 一時保育	2. 個別訪問
3. 家事援助	4. 相談
5. その他 ()	

問26-3 出産後1歳までについて

① お母さんはその時、どのようなお気持ちでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても楽しかった	2. やや楽しかった
3. ややつらかった	4. とてもつらかった

② 大変だったことは何ですか。具体的にご記入ください。

--

③ そのとき、誰が一番支えになってくれましたか。具体的にご記入ください。

--

④ 誰に支えてほしかったですか。具体的にご記入ください。

--

⑤ どういう支援があるとよかったですか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 一時保育	2. 個別訪問
3. 家事援助	4. 相談
5. その他 ()	

問26-4 1歳～2歳の頃について

① お母さんはその時、どのようなお気持ちでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても楽しかった	2. やや楽しかった
3. ややつらかった	4. とてもつらかった

② 大変だったことは何ですか。具体的にご記入ください。

--

③ そのとき、誰が一番支えになってくれましたか。具体的にご記入ください。

--

④ 誰に支えてほしかったですか。具体的にご記入ください。

--

⑤ どういう支援があるとよかったですか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 一時保育	2. 個別訪問
3. 家事援助	4. 相談
5. その他 ()	

問26-5 3歳以降について

① お母さんはその時、どのようなお気持ちでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても楽しかった	2. やや楽しかった
3. ややつらかった	4. とてもつらかった

② 大変だったことは何ですか。具体的にご記入ください。

--

③ そのとき、誰が一番支えになってくれましたか。具体的にご記入ください。

--

④ 誰に支えてほしかったですか。具体的にご記入ください。

--

⑤ どういう支援があるとよかったですか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 一時保育	2. 個別訪問
3. 家事援助	4. 相談
5. その他 ()	

問27 これからの子どもの育ち方についてどう考えていますか。それぞれについてあてはまる
 答えの番号に1つだけ○をつけてください。

	① 子ども同士の喧嘩	② ひっかき傷、噛み跡	③ 他の子と違うことをする	④ 友達と遊んでいる物を奪う	⑤ 言い聞かせてもわからない
1. 当然	1	1	1	1	1
2. やむをえない	2	2	2	2	2
3. 受け入れられない	3	3	3	3	3
4. 絶対受け入れられない	4	4	4	4	4

その他、子育てに関して日頃お感じになっていることや悩み事、あるいは西東京市への要望事項
 等ありましたら、ご自由にお書きください。

～ 以上で、アンケートを終わります。ご協力ありがとうございました。～

同封の返信用封筒で、1月26日（月）までにご投函ください。

子育て支援ニーズ調査 アンケート調査 ご協力をお願い

西東京市では、次代を担う子どもの健やかな成長と子育てを支える新しい地域社会の形成を目指して、平成17年3月に「西東京市次世代育成支援行動計画（前期計画=平成17～21年度）」を策定し、これに基づき、さまざまな子育て支援事業を実施いたしております。

このたび、同計画の後期計画（平成22～26年度）の策定に先立ち、市民の皆様の子ども・子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するために、「ニーズ調査」を実施することといたしました。

このニーズ調査は、住民基本台帳の中から小学生（1年生～6年生）のお子さん1,500名を無作為に選び、その保護者の方を対象にお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のことは存じますが、本ニーズ調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【回答にあたってのお願い】

- 1 封筒の宛名のお子さんについてお答えください。
- 2 アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。「あなた」とは、アンケートに回答される方を表します。
- 3 お答えは、選択肢の番号（1 2 3）に○をつけて選ぶ場合と、数字を記入する場合があります。
- 4 「1つに○」、「あてはまるものすべてに○」など、○をつける数が設問によって異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
- 5 設問によって、回答する方が限られている場合があります。ことわり書きや矢印に沿ってご記入ください。
- 6 ご記入いただいた調査票は1月26日（月）までに、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。
- 7 ご記入いただいた内容につきましては、調査の目的以外に使用いたしません。
- 8 この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<お願い>子育て支援ニーズ調査は、0歳から小学生をお持ちの保護者を対象に実施いたします。このため、対象となるお子さんが複数いるときは、同様の調査票が届く場合があります。その場合には、年齢が一番低いお子さんの調査票をお書きください。

■ニーズ調査(アンケート調査)の実施者 西東京市

■【お問い合わせ】西東京市子育て支援部子育て支援課調整係(田無庁舎1階)

電話:042-464-1311(内線1521・1522)

FAX:042-466-9666

Eメール: kosodate@city.nishitokyo.lg.jp

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月月をお伺いします。

平成	年	月	生まれ
----	---	---	-----

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

人	末子の年齢	歳
---	-------	---

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------|----------------|----------------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居（ひとり親家庭） | 3. 母同居（ひとり親家庭） |
| 4. 祖父同居 | 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 |
| 7. 祖母近居 | 8. その他 | |

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問4-1は、問4で「1」または「2」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない |
| 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他 |

問4-2は、問4で「3」または「4」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話を主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。

1. 主に父親
2. 主に母親
3. 主に祖父母
4. その他

問6 お住まいのまちはどこですか。

- | | | | | | |
|------------|---------|--------|---------|---------|-----------|
| 1. 田無町 | 2. 南町 | 3. 西原町 | 4. 緑町 | 5. 谷戸町 | 6. 北原町 |
| 7. 向台町 | 8. 芝久保町 | 9. 新町 | 10. 柳沢 | 11. 東伏見 | 12. 保谷町 |
| 13. 富士町 | 14. 中町 | 15. 東町 | 16. 泉町 | 17. 住吉町 | 18. ひばりが丘 |
| 19. ひばりが丘北 | 20. 栄町 | 21. 北町 | 22. 下保谷 | | |

2. 封筒の宛名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問7 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

(1) 父親 【母子家庭の場合は記入不要】

1. 就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時刻についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時刻〔 〕時 】
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 】
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【① 希望がある ② 希望はあるが予定はない ③ 希望はない】
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

(2) 母親 【父子家庭の場合は記入不要】

1. 就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時刻についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時刻〔 〕時 】
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 就労時間についてお伺いします。
【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 】
→ フルタイムへの転換希望がありますか。
【① 希望がある ② 希望はあるが予定はない ③ 希望はない】
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

問8は、問7の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は、問9へお進みください。

問8 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 有（すぐにも、若しくは1年以内に希望がある） (→ 問8-1へ)
2. 有（1年以上先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい） (→ 問8-1へ)
3. 無 (→ 問9へ)

問8-1及び問8-2は、問8で「1. 有（すぐにも、若しくは1年以内に希望がある）」、「2. 有（1年以上先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

問8-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。（パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。）

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労
(週当たり〔 〕日・一日当たり〔 〕時間)

問8-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 学童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
5. その他 ()

問10 宛名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

1. 学童クラブを利用したい (1.を選ばれた方) →小学 <input type="checkbox"/> 年生まで利用したい
2. 「放課後子ども教室」を利用したい
3. クラブ活動など習い事をさせたい
4. 利用を希望するサービスは特にない
5. その他()

4. すべての方に、宛名のお子さんの病児・病後児保育についてお伺いします。

問11 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった (⇒問11-1・11-2へ)
2. なかった (⇒問11-3へ)

この1年間の、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童クラブなどのサービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問11-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

1. 父親が休んだ	<input type="text"/> 日
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> 日
3. (同居者を含む)親族・知人に預けた	<input type="text"/> 日

問11-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

できれば施設等に預けたい 日

4. 就労していない保護者がみた	<input type="text"/> 日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (市外で実施しているサービスを含む)	<input type="text"/> 日
6. ベビーシッターを頼んだ	<input type="text"/> 日
7. ファミリーサポートセンターにお願いした	<input type="text"/> 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日
9. その他()	

問11-3 西東京市内に病後児保育室があることを知っていますか。

【病後児保育室……病気回復期であるが、保育園や幼稚園に通園できない子どもや保護者に用事があるため看病する人がいない子どもを預かる事業。生後6か月～小学4年生までの子どもが対象。西東京市は、医療機関(2箇所)へ実施運営を委託。有料。】

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問11-4 西東京市内の病後児保育室を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある (⇒問11-5へ)
2. 利用したことはない (⇒問11-6へ)

問11-5 西東京市内の病後児保育室を利用されたかたに伺います。利用されたサービスの満足度はいかがですか。

1. 満足	2. まあまあ満足
3. やや不満	4. 不満

問11-6 今は利用していないが、今後利用したいと思いますか。希望がある方は枠内に○をご記入ください。

1. 利用したい	2. 利用する予定はない
----------	--------------

5. すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問12 この1年間で、私用(買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など)やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

1. ある	年間 <input type="text"/> 日
(理由別)	
① 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日
② 冠婚葬祭、子どもの親の病気	<input type="text"/> 日
③ 就労	<input type="text"/> 日
2. ない	

問12-1 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい

6. すべての方に、宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします。

問13 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）（⇒問13-1・13-2へ）
 2. なかった（⇒問13-3へ）

問13-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

1. (同居者を含む)親族・知人に預けた 泊

→ 1.非常に困難 2.どちらかという困難 3.特に困難ではない

2. 保育サービス（※右横注）を利用した	<input type="text"/> 日	※ショートステイ事業を実施している施設、ベビーシッター、ベビーホテルなど
3. 仕方なく子どもも同行させた	<input type="text"/> 日	
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日	
5. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 日	

問13-3 西東京市の宿泊を伴う子どもの一時預かり（ショートステイ事業）を知っていますか。
 【ショートステイ事業……保護者が病気等で一時的に子どもの面倒を見ることができないとき、西東京市の委託する児童養護施設で子どもを預かる事業。有料。】

1. 知っている 2. 知らない

問13-4 西東京市の宿泊を伴う子どもの一時預かり（ショートステイ事業）を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある（⇒問13-5へ）
 2. 利用したことはない

問13-5 西東京市の宿泊を伴う一時預かり（ショートステイ）を利用された方にお伺いします。利用されたサービスの満足度はいかがですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 満足 2. まあまあ満足
 3. やや不満 4. 不満

7. すべての方に、ベビーシッターの利用についてお伺いします。

問14 ベビーシッターを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

ベビーシッターを利用していらっしゃる方にお伺いします。

問14-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
 2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
 3. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
 4. その他の目的で利用している

問14-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい 1回あたり 時間程度

問14-3 ベビーシッターを利用された方にお伺いします。利用されたサービスの満足度はいかがですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 満足 2. まあまあ満足
 3. やや不満 4. 不満

問15 今は利用していないが、出来れば利用したい、あるいは、利用回数・日数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい

8. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問16 ファミリーサポートセンターを知っていますか。

【ファミリーサポートセンター……地域での子育て支援を目的として、子どもを預けたい人（ファミリー会員）と子どもを預かりたい人（サポート会員）が互いに会員になり、その会員間で「子どもを預かる」という有償の相互援助活動を行うもの。西東京市では社会福祉協議会に運営を委託。】

1. 知っている 2. 知らない

問16-1 ファミリーサポートセンターを利用していますか

1. 利用している（→ 問16-2～5へ）
 2. 利用していない（→ 問16-6へ）

問16-2 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. 保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他の目的で利用している

問16-3 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい 1回あたり 時間程度

問16-4 利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に 時間くらい

問16-5 ファミリーサポートセンターのサービスを利用された方にお伺いします。利用されたサービスの満足度はいかがですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 満足 | 2. まあまあ満足 |
| 3. やや不満 | 4. 不満 |

問16-6 今は利用していないが、できれば利用した方は、枠内に数字をご記入ください。

月に 時間くらい

9. すべての方に、児童館・児童センターの利用についてお伺いします。

問17 西東京市内に児童館・児童センターがあるのを知っていますか。

【児童館・児童センター……児童福祉法に基づく児童厚生施設で、主に乳幼児から高校生年代（0歳～18歳）までを対象とし、年齢の異なる子どもたちが一緒に遊んだり、様々な体験をしながら、共に育っていくことを目的とした「地域の遊び場」とも言えます。児童センターには、体力増進を図る設備があり、体力増進指導委員という専門の職員が配置されています。】

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問17-1 宛名のお子さんは、ふだん児童館・児童センターを利用していますか。

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 利用している | (← 問17-2・問17-3へ) |
| 2. 利用していない | (→ 問17-4・問17-5へ) |

問17-2 問17-1で「1 利用している」に○をした方にお聞きします。児童館・児童センターへの要望を次の中から選びください。（○は3つまで）

1. 施設の拡大や魅力的な遊具の充実
2. 子育て相談や講座の充実
3. 親同士の情報交換や交流の場を設ける
4. 職員の専門性を高める
5. 子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う
6. 地域の老人や障害者と交流できる行事を行う
7. 利用時間を 時 分頃まで延長する
8. 日曜日の施設利用を進める
9. その他（ ）
10. 特にない

問17-3 西東京市内の児童館・児童センターを利用されたかたに伺います。満足度はいかがですか。

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 満足 | 2. まあまあ満足 |
| 3. やや不満 | 4. 不満 |

問17-4 問17-1で「2 利用していない」に○をした方にお聞きします。児童館・児童センターを利用していない理由を次の中から選びください。（○はいつでも）

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. どこにあるか知らないから | 8. 親同士の関係がわずらわしいから |
| 2. 児童館が遠いから | 9. 職員が遊びを指導してくれない |
| 3. 遊具が少ない・つまらないから | 10. 施設が狭い・古い（汚い） |
| 4. 遊びの種類が少ない・つまらない | 11. 利用できる曜日や時間が合わない |
| 5. 外で遊びたいから | 12. その他（ <input type="text"/> ） |
| 6. 友だちが児童館にいないから | 13. 特にない |
| 7. 上級生が児童館にいるから | |

問17-5 今は利用していないが、今後利用したいと思いますか。枠内に○をご記入ください。

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用する予定はない |
|----------|--------------|

10. すべての方に、子育てに関する不安感や負担感等についてお伺いします。

問18 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- 1. 楽しいと感じることの方が多い
- 2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
- 3. 辛いと感じることの方が多い
- 4. その他 ()
- 5. わからない。

問18-1 上記で「1」を選んだ方は子育てをやる中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。また、上記で「2」「3」を選んだ方は、自分にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは何ですか。あてはまるもの番号の上位3つまでに○をつけてください。

- 1. 地域における子育て支援の充実
- 2. 保育サービスの充実
- 3. 子育て支援のネットワークづくり
- 4. 地域における子供の活動拠点の充実
- 5. 妊娠・出産に対する支援
- 6. 母親・乳児の健康に対する安心
- 7. 子どもの教育環境
- 8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
- 9. 仕事と家庭生活の両立
- 10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
- 11. 要保護児童に対する支援
- 12. その他 ()

11. すべての方に、保育サービスの利便性についてお伺いします。

問19 お子さんが小学校に入学する以前に、希望した時期に、希望した保育サービス(*)を利用することができましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。また、「2」を選んだ方はどのように調整したか内容をお答え下さい。

- 1. 利用できた
- 2. 育児休業を切り上げるなど調整して利用できた
- 3. 利用できなかった
- 4. その他 ()

【具体的な内容】

(*)この調査において「保育サービス」とは、【認可保育園、認証保育所、保育室、家庭的な保育（いわゆる保育ママ）、事業所内保育施設、認定こども園（共通利用時間みの保育の利用）、認定こども園（共通利用時間以上の保育の利用）、その他の保育施設、幼稚園（通常の就園時間）、幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）、ベビーシッター、ファミリーサポートセンターで、定期的に受けているサービス】としています。

12. すべての方に、子育てについての相談状況についてお伺いします。

問20 あなたは、子育てについて、気軽に相談できる人（場所）がいる（ある）と思いますか。「1 いる（ある）」と回答した方は、当てはまるものを選択肢の中から選んで○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------|--------|
| 1. いる（ある） | 2. いない |
|-----------|--------|
-
- | | | |
|-------------------------------|------------------|------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子どもの祖父母 | 3. 自分または配偶者の兄弟姉妹 |
| 4. 親類 | 5. 友人・知人 | 6. 近所の人 |
| 7. 職場の人 | 8. 子育て中の仲間 | 9. 認可保育所 |
| 10. 認証保育所・保育室 | 11. 幼稚園 | |
| 12. 学童クラブ | 13. 民生・児童委員 | 14. 病院・診療所 |
| 15. 子ども家庭支援センターのどか・保健福祉総合センター | | |
| 16. 保健所・保健相談所 | 17. 児童館 | |
| 18. 児童相談所 | 19. 教育相談室 | 20. 市役所 |
| 21. 民間の相談サービス | 22. 子育てセミナーや育児教室 | |
| 23. 育児書・育児雑誌・新聞 | 24. テレビやラジオ | |
| 25. 電話相談サービス | 26. インターネット | |
| 27. その他 () | | |
| 28. 相談する人（場所）がなかった | | |

問21 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度について「希望」するものと、「現実」での優先度はどのようになっていますか。「希望」と「現実」、それぞれにあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

	希望（1つに○）	現実（1つに○）
1. 仕事時間を優先	1	1
2. 家事(育児)時間を優先	2	2
3. プライベートを優先	3	3
4. その他	4	4
	()	()

13.妊娠・出産・子育ての流れの中での感想についてお伺いします。

問22 妊娠期から今までをふりかえって、その時々のお気持ち等についてお伺いします。

問22-1 出産前のことについて

- ① お母さんはその時、どのようなお気持ちでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても楽しかった	2. やや楽しかった
3. ややつらかった	4. とてもつらかった

- ② 大変だったことは何ですか。具体的にご記入ください。

--

- ③ そのとき、誰が一番支えになってくれましたか。具体的にご記入ください。

--

- ④ 誰に支えてほしかったですか。具体的にご記入ください。

--

- ⑤ どういう支援があるとよかったですか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 一時保育	2. 個別訪問
3. 家事援助	4. 相談
5. その他 ()	

問22-2 出産後1ヶ月頃のことについて

- ① お母さんはその時、どのようなお気持ちでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても楽しかった	2. やや楽しかった
3. ややつらかった	4. とてもつらかった

- ② 大変だったことは何ですか。具体的にご記入ください。

--

- ③ そのとき、誰が一番支えになってくれましたか。具体的にご記入ください。

--

- ④ 誰に支えてほしかったですか。具体的にご記入ください。

--

- ⑤ どういう支援があるとよかったですか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 一時保育	2. 個別訪問
3. 家事援助	4. 相談
5. その他 ()	

問22-3 出産後1歳までについて

- ① お母さんはその時、どのようなお気持ちでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても楽しかった	2. やや楽しかった
3. ややつらかった	4. とてもつらかった

- ② 大変だったことは何ですか。具体的にご記入ください。

--

- ③ そのとき、誰が一番支えになってくれましたか。具体的にご記入ください。

--

- ④ 誰に支えてほしかったですか。具体的にご記入ください。

--

- ⑤ どういう支援があるとよかったですか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 一時保育	2. 個別訪問
3. 家事援助	4. 相談
5. その他 ()	

問22-4 1歳～2歳の頃について

- ① お母さんはその時、どのようなお気持ちでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても楽しかった	2. やや楽しかった
3. ややつらかった	4. とてもつらかった

- ② 大変だったことは何ですか。具体的にご記入ください。

--

- ③ そのとき、誰が一番支えになってくれましたか。具体的にご記入ください。

--

- ④ 誰に支えてほしかったですか。具体的にご記入ください。

--

- ⑤ どういう支援があるとよかったですか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 一時保育	2. 個別訪問
3. 家事援助	4. 相談
5. その他 ()	

問22-5 3歳以降について

- ① お母さんはその時、どのようなお気持ちでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても楽しかった	2. やや楽しかった
3. ややつらかった	4. とてもつらかった

- ② 大変だったことは何ですか。具体的にご記入ください。

--

- ③ そのとき、誰が一番支えになってくれましたか。具体的にご記入ください。

--

- ④ 誰に支えてほしかったですか。具体的にご記入ください。

--

- ⑤ どういう支援があるとよかったですか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 一時保育	2. 個別訪問
3. 家事援助	4. 相談
5. その他 ()	

その他、子育てに関して日頃お感じになっていることや悩み事、あるいは市への要望事項等ありましたら、ご自由にお書きください。

--

～ 以上で、アンケートを終わります。ご協力ありがとうございました。～

同封の返信用封筒で、1月26日（月）までにご投函ください。

西東京市 子育て支援に関する意識調査 アンケート調査 ご協力をお願い

西東京市では、次代を担う子どもの健やかな成長と子育てを支える新しい地域社会の形成を目指して、平成 17 年 3 月に「西東京市次世代育成支援行動計画（前期計画=平成 17～21 年度）」を策定し、これに基づき、さまざまな子育て支援事業を実施いたしております。

このたび、同計画の後期計画（平成 22～26 年度）の策定に先立ち、市民の皆様の子ども・子育てに関する生活実態や、結婚と子育てに関する意識などを把握するために、アンケート調査を実施することいたしました。

この調査は、住民基本台帳の中から 25 歳から 29 歳までの 1,000 名を無作為に選ばせていただきお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【回答にあたってのお願い】

1. この調査表は、**宛名のご本人**がご記入ください。
2. ご記入は、鉛筆か黒または青のボールペンなどをお願いします。
3. ご回答は、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。ご回答の○の数は、各設問文に（○は1つ）（○は3つまで）（○はいくつでも）などと指定してありますので、それに沿ってご記入ください。
4. 「その他」とお答えの場合は、（ ）内に具体的な内容をお書きください。
5. 設問によっては、ある条件の方だけに答えいただくものがありますので、その説明に沿ってご記入ください。
6. この調査票のご記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒で **1月26日（月）まで**にご投函ください。

■本アンケート調査の実施者 西東京市

■【お問い合わせ】西東京市子育て支援部子育て支援課調整係(田無庁舎1階)

電話:042-464-1311(内線 1521・1522)

FAX:042-466-9666

Eメール: kosodate@city.nishitokyo.lg.jp

はじめに、生活のことについてお聞きします。

問1 親と同居していますか。（○は1つ）

- | |
|------------------------|
| 1 同居している |
| 2 別居している（歩いて行き来できる距離） |
| 3 別居している（歩いて行き来できない距離） |
| 4 親は居ない |

問2 問1で「同居している」と答えた方にお聞きします。次のようなことについて、家庭内では誰がしていますか。以下の項目それぞれについてあてはまるものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

	主に親	主に自分	親と自分の分担で	同居の家族	その他
1 食事をつくる	1	2	3	4	5
2 食事のあとかたづけをする	1	2	3	4	5
3 トイレを掃除する	1	2	3	4	5
4 おふろを掃除する	1	2	3	4	5
5 洗濯をする	1	2	3	4	5
6 買物をする	1	2	3	4	5
7 自分の部屋を掃除する	1	2	3	4	5
8 ごみ袋を出しに行く	1	2	3	4	5

問3 親へ生活費（仕送り）を入れていますか。（○は1つ）

- | |
|--------------|
| 1 毎月入れている |
| 2 とときどき入れている |
| 3 まったくしていない |

問4 親から生活費の援助を受けていますか。（○は1つ）

- | |
|---------------------------|
| 1 生活全般について援助を受けている |
| 2 定期的に住居費・食費など一部の援助を受けている |
| 3 不定期に多少の援助をうけている |
| 4 援助はうけていない |

問5 今のあなたの生活は、経済的に余裕がありますか。(○は1つ)

- 1 余裕がある
- 2 どちらかといえば余裕がある
- 3 どちらかといえば余裕がない
- 4 余裕がない

問6 将来への不安にはどんなものがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 自分の健康 | 8 老後のこと |
| 2 生活費のこと | 9 孤独になること |
| 3 仕事のこと | 10 友人との関係 |
| 4 住居のこと | 11 恋人との関係 |
| 5 独身で居ること | 12 その他 () |
| 6 親の介護のこと | 13 特にない |
| 7 家族のこと | |

結婚のことについてお聞きします。

問7 あなたは結婚していますか。(○は1つ)

- 1 同居・結婚している(配偶者・パートナーがいる)
- 2 婚約している
- 3 結婚していない
- 4 結婚したが、離・死別した

問7-1 問7で「2」または「3」に○をした方にお聞きします。
「結婚」については、どのようなお考えをおもちですか。(○は1つ)

- 1 できればすぐにでも結婚したい
- 2 いずれは結婚したい
- 3 結婚したくないが、人生のパートナーとなる人がほしい
- 4 結婚したくない
- 5 その他 ()

問7-2 問7で「2」または「3」に○をした方にお聞きします。
結婚していないのはどうしてですか。(○は3つまで)

- 1 結婚するにはまだ早い(若い)から
- 2 結婚する必要性を感じないから
- 3 適当な相手にめぐり会えないから
- 4 異性とうまくつきあえないから
- 5 今は仕事や学業に取り組みたいから
- 6 今は趣味や娯楽を楽しみたいから
- 7 独身生活の自由さや気楽さを失いたくないから
- 8 結婚資金が足りないから
- 9 結婚生活のための住居のめどが立たないから
- 10 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
- 11 結婚の準備期間(婚約中)だから
- 12 その他 ()

問8は、配偶者・パートナーがいらっしゃる方、また今後持ちたいとお考えの方にお聞きします。他の方は問9へお進みください。

問8 あなたは配偶者・パートナーとはどのような役割分担をする方がよいと思いますか。
次の項目それぞれについて、最も近いと思うものを選んでください。

(○はそれぞれ1つずつ)

	女性のみが行う	女性が中心に男性も行う	女性も男性も同じ程度行う	男性が中心に女性も行う	男性のみが行う
1 生計を立てるための仕事	1	2	3	4	5
2 家計の管理	1	2	3	4	5
3 家事	1	2	3	4	5
4 育児や子育て	1	2	3	4	5
5 子どもの教育	1	2	3	4	5
6 親の介護	1	2	3	4	5

子育てのことについてお聞きします。

問9 これまでに、子育てなどに関わったことがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 学校や職場で、ボランティアとして子どもの世話をしたことがある
- 2 兄弟姉妹や親類の子ども、近所の子どもなどの世話を日常的にしたことがある
- 3 職業上、保育や子どもの教育に携わっている(携わったことがある)
- 4 子育ての経験はほとんどない
- 5 その他()

問10 あなたには、年齢が4歳以上離れた妹か弟はいますか。(〇は1つ)

- 1 年齢が4歳以上離れた妹や弟がいる
- 2 いない

問11 あなたは、赤ちゃんにミルクを飲ませたり、オムツがえなどをしたことがありますか。(〇は1つ)

- 1 したことがある
- 2 したことがない

問12 あなたは、将来子育てをしたいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 将来子育てをしたい ⇒ 問12-1へ進む
- 2 子育てをしたいと思わない ⇒ 問12-2へ進む

問12-1 問12で将来子育てをしたいと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 子どもを育てることは楽しいと思うから
- 2 子どもがいると家庭が明るくなるから
- 3 子どもが好きだから
- 4 子どもがかわいいから
- 5 生きがいになると思うから
- 6 家族の結びつきが強くなるから
- 7 子どもを通じて交流が広がるから
- 8 その他()

問12-2 問12で子育てをしないとしない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 出産・子育ての知識や自信がないから
- 2 子育てはめんどくさいから
- 3 子どもはきらいだから
- 4 自分の生活をエンジョイしたいから
- 5 仕事を優先したいから
- 6 自分のまわりに子育てを助けてくれる人がいないから
- 7 自分が子どもを虐待するのではないかとおもうから
- 8 配偶者(パートナーなど)が子育てを望まないから
- 9 子育ての責任が女性にかたよっているから
- 10 地域の中に保育園など子どもをあずけられるところが整っていないから
- 11 地域の中に子どもが安心して遊べるところが整っていないから
- 12 地域の中で育児や子育てについて相談しやすい体制が整っていないから
- 13 勤め先の育児休業制度や保育サービスが整っていないから
- 14 受験競争や企業社会など、今の世の中では、子どもにとってふさわしい時代とは思えないから
- 15 いじめや差別・不登校など、子どもをとりまく問題があるから
- 16 子育ての経済的負担に耐えられないと思うから
- 17 地球環境の悪化や現在の住環境が子育てにふさわしくないから
- 18 その他()

問13 結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。次の項目それぞれについて、最も近いと思うものを選んでください。(〇はそれぞれ1ずつ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1 結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい	1	2	3	4
2 結婚しても、うまくいかなければ離婚することはやむをえない	1	2	3	4
3 できちゃった婚をしても、幸せであれば問題ない	1	2	3	4
4 夫婦が別の姓を名乗ってもかまわない	1	2	3	4
5 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4
6 結婚はしたくないが、子どもは欲しい	1	2	3	4

問18-2 ボランティア活動に関する次のような考え方についてどう思いますか。
次の項目それぞれについて、最も近いと思うものを選んでください。
(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない
1 ボランティア活動はあくまで個人で自主的にすべきだ	1	2	3	4
2 ボランティア活動は自分自身のためにするものだ	1	2	3	4
3 自分の生活に忙しく、ボランティア活動に参加する余裕がない	1	2	3	4
4 ボランティア活動に謝礼が出るのはおかしい	1	2	3	4
5 ボランティア活動は、まだ日本では定着していない	1	2	3	4
6 ボランティア活動は社会の一員としての義務である	1	2	3	4

少子化社会についてのお考えをお聞きます。

問19 少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）は、個人の生活にどのような影響を与えますか。次の中からあてはまるものを選んでください。
(○は3つまで)

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる 2 進学や就職において競争が少なくなる 3 住宅事情が改善されて、買いやすくなる 4 まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる 5 一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる 6 親など周囲の干渉が強まる 7 親の老後への子どもの負担が大きくなる 8 その他 () 9 わからない |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問20 少子社会は、国や地域社会にはどのような影響を与えますか。次の中からあてはまるものを選んでください。(○は3つまで)

- | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる 2 就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる 3 女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる 4 若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる 5 現役世代の租税や社会保障負担（年金や医療費など）が大きくなる 6 地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる 7 地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる 8 その他 () 9 わからない |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問21 子育てしやすい環境を整備するために、市はどうしていくのがよいと思いますか。次の中からあてはまるものを選んでください。(○は5つまで)

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 予防接種や乳幼児健診などの母子保健の整備 2 保育サービスや施設の整備 3 妊娠や出産についての不安や悩みの相談窓口の整備 4 子育てについて学ぶ機会を増やす 5 男女がともに子育てに関わるための意識啓発 6 子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減 7 保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減 8 子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置 9 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備 10 育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備 11 女性が就労しやすい環境の整備（職場の意識改革や協力など） 12 道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備 13 子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助 14 子どもの創造性や感性を伸ばす教育機会の普及 15 いじめや差別などをなくす教育の推進 16 地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題に対する対策 17 水や緑などの自然保護の推進 18 食品の安全性の確保 19 その他 () 20 わからない 21 特にない |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

仕事や生活のことについてお聞きします。

問22 国では「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス※）憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」を策定し、推進しています。あなたは「ワーク・ライフ・バランス」をご存知ですか（○は1つ）。

- | |
|--------------------------|
| 1 名前も内容も知っている |
| 2 名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない |
| 3 名前も内容も知らない |
| 4 わからない |

※ 個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加など、個人や多様なライフスタイルの家族がライフステージに応じた希望を実現できるようにすることをいいます。

問23 生活の中で「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてお聞きします。「希望」と「現実」それぞれのあなたに最も近いものを選んでください。（○それぞれ1つ）

希望（1つに○）	現実（1つに○）
1 仕事時間を優先	1 仕事時間を優先
2 家事（育児）時間を優先	2 家事（育児）時間を優先
3 プライベートを優先	3 プライベートを優先
4 仕事と家事（育児）時間のバランスを優先	4 仕事と家事（育児）時間のバランスを優先
5 仕事とプライベートのバランスを優先	5 仕事とプライベートのバランスを優先

問24 あなたの勤務先には次のような仕事と子育ての両立のための制度等で、あなたの就業形態で利用可能なものはありますか。（1つに○）。

	(1) あなたの就業形態で利用可能か	(2) (1)で「ある」と答えた人に 利用しやすい雰囲気か
①育児休業制度 (ある場合は有給・無給の別もお答えください)	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 その他・わからない
②子の看護のための休暇制度 (ある場合は有給・無給の別もお答えください)	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 その他・わからない

	(1) あなたの就業形態で利用可能か	(2) (1)で「ある」と答えた人に 利用しやすい雰囲気か
③育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除はこちらに含まれます)	1 ある 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気 2 利用しにくい雰囲気 3 どちらともいえない
④育児のための時間外労働の制限 (1か月24時間、1年150時間を超える時間外労働の制限)	1 ある 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気 2 利用しにくい雰囲気 3 どちらともいえない
⑤育児のための深夜業の制限	1 ある 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気 2 利用しにくい雰囲気 3 どちらともいえない
⑥事業所内託児施設	1 ある 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気 2 利用しにくい雰囲気 3 どちらともいえない

問25 近年、女性の就労が増え、両親ともに働いている家庭が増えています。こうした家庭が子育てをしやすくするためには、どのような事が特に必要だと思いますか（5つまでに○）。

- | |
|----------------------------------------------------------------------|
| 1 男性が家事や育児を分担し、協力すること |
| 2 夫や家族が働くことに同意し理解すること |
| 3 「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること |
| 4 多様な保育サービスを充実すること |
| 5 勤務時間の短縮やフレックスタイムの導入、育児休業、子の看護休暇制度等の整備など、子育て者に配慮があり、それが実際に活用できる職場環境 |
| 6 男性が子育てに参加できるような勤務時間や制度などを実際に活用できる職場環境 |
| 7 出産、育児のため退職した人が仕事に復帰できる再雇用制度が企業に整備されること |
| 8 育児期間中は自宅で仕事ができるなどの働き方が柔軟な制度が企業に整備されること |
| 9 再就職のための職業訓練、就業・起業相談など女性の就業支援 |
| 10 企業内に保育施設が整備されること |
| 11 出産と退職を結びつけるような企業の慣行をなくすこと |
| 12 その他（) |
| 13 わからない |
| 14 子どもを育てながら働く必要はない |

西東京市次世代育成支援行動計画ニーズ調査報告書

平成 21 年 3 月

発行 西東京市子育て支援部子育て支援課

〒188-8666 西東京市南町 5 丁目 6 番 13 号 (田無庁舎)

TEL : 042-464-1311 (内線 1522)

042-460-9841 (ダイヤルイン)

E メール kosodate@city.nishitokyo.lg.jp